

平成25年度  
広島県立美術館年報



平成25年度  
広島県立美術館年報





## 目 次

I. 沿革	2
II. 展覧会	
展覧会一覧	4
特別展	
1. 夏目漱石の美術世界展	5
2. ピース・ミーツ・アート!	8
3. 尊厳の芸術展	13
4. ゴッホ展	15
5. 江戸の広島をめぐる名品展	21
6. シャガール展	22
7. 印象派を超えて展	26
8. 第60回日本伝統工芸展広島展	28
所蔵作品展	32
III. 普及活動	
1. ネットワーク美術館展 「平山郁夫と文化勲章受章者」	46
2. 第1回新県美展 (第65回広島県美術展)	47
3. 第2回広島県ジュニア美術展	48
4. 博物館実習	50
5. 学校との連携事業 「美術作品鑑賞教室」	51
6. 新規作成ワークシート・リスト	53
7. 学校等による利用状況	54
8. 県民ギャラリー利用状況	56
9. 友の会事業報告	59
IV. 事業実施状況	63
V. 業務一覧	72
VI. 入館者数一覧	80
VII. 美術品等収集状況	82
VIII. 美術品等の貸出し	93
IX. 関係法規	98
X. 名簿	109

# I 沿革

昭和31年	美術館建設の募金運動はじまる		
昭和38年4月	調査費計上	昭和53年10月	開館10周年記念展開催
昭和39年4月	設計委託料計上	昭和54年3月	開館10周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊
10月	建設促進委員会開催	12月	収蔵庫拡張工事着工
昭和40年4月	整地費など計上	昭和55年2月	収蔵庫拡張工事完了
昭和41年5月	文部省社会教育施設整備費補助金の交付内定	4月	定宗一宏館長（非常勤）任命
12月	建設募金委員会発足	10月	広島県立美術館条例一部改正（昭和55年広島県条例第19号）施設使用料
昭和42年1月	起工式挙行	昭和56年4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭和55年 広島県教育委員会規則第10号）
昭和43年3月	旧館竣工		広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭和56年 広島県教育委員会規則第5号）課の名称変更・入館料の免除
4月	広島県立美術館条例施行（昭和43年 広島県条例第20号）		広島県立美術館美術品等取得基金条例施行（昭和56年 広島県条例第5号 基金額1億円）
	広島県立美術館管理運営規則施行（昭和43年 広島県教育委員会規則第1号）	10月	広島県美術品等取得基金運用規定制定
6月	加藤豊館長（常勤）任命		美術品等収集委員会設置要領制定
	広島県立美術館協議会条例施行（昭和43年 広島県条例第38号）	昭和57年3月	定宗館長辞職
7月	広島県立美術館協力会結成	4月	広島県立美術館条例一部改正（昭和57年広島県条例第10号）入館料・施設使用料
9月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭和43年 広島県教育委員会規則第13号）分掌事務		阿川静明館長（非常勤）任命
21日	落成式挙行	9月	縮景園窓口入園窓口を設置
22日	旧館開館	昭和60年3月	阿川館長辞職
10月	広島県立美術館美術品収集要領制定	4月	赤木博典館長（常勤）任命
12月	広島県立美術館展示施設運営要領制定	昭和61年10月	事務局職員による県立美術館整備計画検討会議を設置
昭和44年4月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭和44年 広島県教育委員会規則第2号）	昭和62年2月	渋谷文庫開設
	職員の職・職員の仕事	3月	県立美術館整備計画検討会議、整備構想案をまとめる
	館藏品常設展開設	4月	赤木館長辞職
昭和46年4月	宮地貫一館長事務取扱任命	11月	吉岡典成館長（兼務）任命
昭和47年1月	広島県立美術館友の会発足		県教育委員会、広島県立美術館整備構想検討委員会を設置、委員8名を委嘱
5月	浜本正弘館長事務取扱任命	昭和63年4月	菅川健二館長（兼務）任命
6月	佐々木司郎館長事務取扱任命		広島県立美術館条例一部改正（昭和63年広島県条例第7号）入館料・施設使用料
8月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭和47年 広島県教育委員会規則第11号）職員の職	11月	広島県立美術館美術品等取得基金、1億円を増額（基金額2億円）
	羽白幸雄館長（非常勤）任命		広島県立美術館整備構想検討委員会、整備構想をまとめ県教育委員会に答申
11月	開館5周年記念「広島県立美術館所蔵作品集」発刊	平成元年3月	さところ文庫開設
昭和48年6月	広島県立美術館条例一部改正（昭和48年広島県条例第30号）	5月	広島県立美術館整備基本計画検討委員会を設置、委員14名を委嘱（座長 橋口収県商工会議所連合会会頭）
	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭和48年 広島県教育委員会規則第14号）補助職員の職及び職務	7月	広島県立美術館美術品等収集評価委員会を設置、委員6名を委嘱
10月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭和48年 広島県教育委員会規則第19号）職員の職等	平成2年4月	広島県立美術館美術品など取得基金、5億円を増額（基金額7億円）
昭和49年3月	広島県立美術館管理運営規則一部改正（昭和49年 広島県教育委員会規則第4号）その他の職員の職	12月	知事、県議会本会議において「新美術館は隣接する縮景園の景観を損なうことなく、両施設の一体化を図った文化ゾーンの一環として一体的に整備する必要がある」と答弁
昭和50年4月	広島県立美術館条例一部改正（昭和50年広島県条例第25号）施設使用料	平成3年2月	知事、県議会本会議において「基金設計に
昭和51年4月	広島県立美術館条例一部改正（昭和51年広島県条例第9号）入館料		
昭和52年2月	広島県美術展開催運営規則施行（昭和52年		

	着手する」ことを提案		成12年 広島県教育委員会規則第5号) 入館料等の減免
3月	県議会、平成3年度予算案(基本設計予算)を可決	7月10日	常盤豊館長(兼務)就任
	広島県立美術館整備基本計画をまとめる	10月22日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成13年 広島県教育委員会規則第7号)入館料の減免
4月	美術品等特別収集に着手		
	広島県立美術館美術品等取得基金、3億円を増額(基金額10億円)	12月20日	平山郁夫名誉館長辞任
平成4年7月	施設利用業務休止。館藏品常設展示室休室	平成14年3月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成14年 広島県条例第18号)小・中・高校生の無料化
9月	閉館記念式典挙行		
10月	事務所を広島市西区観音新町四丁目9-43に移転、仮事務所とする	4月1日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成14年 広島県教育委員会規則第10号)開館時間の変更
	旧県立図書館及び旧県立美術館の解体工事に着手	平成16年7月1日	関靖直館長(兼務)就任
	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額20億円)	平成17年12月20日	広島県立美術館条例一部改正(平成17年 広島県条例第57号)展示施設等の利用許可の条件、取消し等及び制限
平成5年3月	解体工事、整地完了		広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成17年 広島県教育委員会規則第16号)開館時間表記の改正及び条例改正に伴う改正
	新館建設工事安全祈願祭が挙行され、工事に着手	平成19年4月1日	榎田好一館長(兼務)就任
4月	久保信保館長(兼務)任命	6月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成19年 広島県教育委員会規則第9号)休館日の変更及び条例改正に伴う改正
12月	寺脇研館長(兼務)任命		
	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額30億円)	12月25日	広島県立美術館条例一部改正(平成19年 広島県条例第56号)学校教育法等の一部改正に伴う改正
平成6年5月	事務所を西区観音新町から広島市中区八丁堀3-2職会館(2階)に移転		
	広島県立美術館美術品等取得基金、10億円を増額(基金額40億円)	平成20年4月1日	指定管理者制度導入
平成7年4月	常廣泰登館長(専任)任命	平成21年4月1日	所管先が広島県教育委員会生涯学習部文化課から広島県環境県民局総務管理部文化芸術課へ移行
	広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額45億円)		広島県立美術館の入館料に関する規則施行(平成21年 広島県規則第33号)
	12月		広島県美術展開催運営規則(平成21年 広島県規則第34号)
	新館竣工		藤田雄山館長(兼務)就任
	新館鍵引渡し式を挙行	平成21年12月1日	平田光章館長(兼務)就任
平成8年1月	事務所を新館に移転	平成22年4月1日	抹香尊文館長(兼務)就任
4月1日	木曾功館長(兼務)就任	平成22年6月1日	広島県美術品等取得基金条例を廃止する条例の施行(平成22年 広島県条例第22号)
7月1日	平山郁夫名誉館長就任		
5日	広島県立美術館条例施行(平成8年 広島県条例第16号)入館料・施設使用料	平成22年6月28日	広島県立美術館条例一部改正(平成22年 広島県条例第31号)施設使用料額の下限撤廃に伴う改正
22日	広島県立美術館管理運営規則一部改定(平成8年 広島県教育委員会規則第9号)施設使用料		
10月5日	新館開館記念式挙行	平成23年4月1日	越智裕二郎館長就任
6日	新館開館	6月29日	広島県立美術館評価委員会設置
	広島県立美術館美術品等取得基金、5億円を増額(基金額50億円)	平成23年7月11日	広島県立美術館条例一部改正(平成23年 広島県条例第31号)指定管理者による管理、入館料の納付等および減免、利用料金の納付等・減免及び収入
平成9年3月26日	広島県立美術館条例施行(平成9年 広島県条例第3号)入館料・施設使用料		
4月1日	広島県立美術館管理運営規則(平成9年 広島県教育委員会規則第6号)全面改定	平成25年2月18日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成25年 教育委員会規則第1号)講堂の利用申込期間の変更
平成10年3月24日	広島県立美術館条例施行(平成10年 広島県条例第5号)入館料等の納付		
	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平成10年 広島県教育委員会規則第4号)	平成25年3月14日	広島県立美術館の特別展の観覧に係る入館料に関する規則一部改正(平成24年 広島県規則第13号)広島県立美術館条例一部改正に伴う改正
7月1日	辰野裕一館長(兼務)就任		
平成12年2月1日	広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領一部改正	平成26年3月26日	広島県立美術館条例施行(平成26年 広島県条例第17号、第23号)入館料・施設使用料及び開館時間
平成13年3月26日	広島県博物館協議会条例施行(平成13年 広島県条例第3号)広島県美術館協議会条例廃止		
29日	広島県立美術館管理運営規則一部改正(平		

## Ⅱ 展覧会

### 展覧会一覧

#### 特別展

No.	展覧会名	会期
1	夏目漱石の美術世界	平成25年3月26日(火)～5月6日(月・振休)
2	アート・アーチ・ひろしま2013 ピース・ミーツ・アート!	平成25年7月20日(土)～10月14日(月・祝)
3	尊厳の芸術展	平成25年7月20日(土)～9月1日(日)
4	ゴッホ展 -空白のパリを追う	平成25年7月22日(月)～9月23日(月・祝)
5	江戸の広島をめぐる名品展	平成25年10月5日(土)～20日(日)
6	シャガール展	平成25年11月3日(日・祝)～12月25日(水)
7	印象派を超えて -点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで	平成26年1月2日(木)～2月16日(日)
8	第60回日本伝統工芸展広島展	平成26年2月26日(水)～3月16日(日)

#### 所蔵作品展

	展覧会名	会期	
第1期	彫刻展示スペース 第1室	夏目漱石とその時代に思いを馳せて 恋は宇宙的な活力である	平成25年4月17日(水)～7月15日(月・祝) 前期：平成25年4月17日(水)～5月26日(日) 後期：平成25年5月28日(火)～7月15日(日)
	第2室		
	第3室	ひろしま菓子博2013 勝手に応援企画 和菓子の色彩	
	第4室		
第2期	第4室	美術館の子ども部屋ver.1 「ケンピの宝物。名作って何だろう？」	平成25年9月5日(木)～12月25日(水) 前期：平成25年9月5日(木)～11月4日(月) 後期：平成25年11月5日(火)～12月25日(水)
第3期	平成24年度新収蔵作品を中心に 紹介します。広島県立美術館の新しい仲間たち		平成25年10月19日(土)～12月25日(水) 前期：平成25年10月19日(土)～11月24日(日) 後期：平成25年11月25日(火)～12月25日(水)
	彫刻展示スペース 第1室	新収蔵・鯉江良二の“やきもの”たち	
	第2室	日本洋画の新収蔵品 フランスで学び、活躍した作家たち	
	第3室	近世絵画と日本画の新収蔵作品 日本画に描かれたアジアの歴史と文化	
第4期	大好きっ！-学芸員が愛する作品たち		平成26年1月2日(木)～4月13日(日) 前期：平成26年1月2日(木)～2月23日(日) 後期：平成26年2月25日(火)～4月13日(日)
	彫刻展示スペース 第1室	カタチ×タイトル。立体の妙味 西洋美術を「観るっ！」	
	第2室	明治・大正期の広島の洋画 霞光と交友の画家たち -作品にみる暗色の魅力 二つの故郷を持つ作家	
	第3室	海外の息吹き 思い出の作品たち -広島の日本画家編	
	第4室	古今東西つながる世界～ヒトとヒト・ヒトとモノ つなぐ・つながる-模様(文様)でつなぐ、アジアの心	

# 1 夏目漱石の美術世界

会 期／平成25(2013)年3月26日(火)～平成25年5月6日(月)

主 催／広島県立美術館、広島テレビ

後 援／ブリティッシュ・カウンシル、愛媛県、  
愛媛県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、  
松山市、松山市教育委員会、朝日新聞広島総局、  
産経新聞社、日本経済新聞社広島支局、  
読売新聞広島総局、愛媛新聞社、中国放送、  
広島ホームテレビ、テレビ新広島、南海放送、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、  
エフエムふくやま、尾道エフエム放送、  
エフエムはつかいち76.1MHz、FMハムスター

協 賛／リベラ、広島県信用組合

協 力／岩波書店、神奈川近代文学館、  
KLMオランダ航空、日本航空

入 館 料／一般 1,200(1,000)円 高・大学生 900(700)円 小・中学生 600(400)円

※ ( ) 内は前売・20人以上の団体料金

入館者数／11,389人 (42日間)



近代日本を代表する文豪・夏目漱石(1867～1916)は、『坊ちゃん』『こゝろ』など多くの名作により、国内外で親しまれている国民作家である。少年時代から絵を見るのが好きだった漱石は、英文学者としてロンドン留学中も何度も美術館を訪問。帰国後に小説家として活躍をはじめますが、日本やイギリスの美術に対する見識と豊かな鑑賞体験は、さまざまな文学作品や美術批評の中で花開いている。

本展覧会は、漱石が目撃し、小説や日記、美術批評の中などで語った作家や作品を可能な限り集めて一堂に展示することで、漱石がもっていた絵画イメージを実際の美術作品から視覚的に読み解く本格的な機会となった。ターナーやラファエル前派などの19世紀のイギリス美術や、伊藤若冲、長沢蘆雪らの近世絵画、岸田劉生、黒田清輝、松岡映丘、南薫造といった近代を代表する作家の作品とともに、ブックデザインの分野において今なお高く評価される漱石本の装幀や挿画、さらには漱石自筆の山水画などもあわせた計218件により、文豪の豊かな美術世界を一堂に展覧。漱石文学と美術との深いつながりを多角的に紹介した。

(本展担当者：藤崎 綾)

## 関連事業

(1) 鼎談(広島県立美術館友の会共催)

日 時：3月26日(火) 13:30～

講 師：芳賀 徹(静岡県立美術館館長)

古田 亮(東京藝術大学大学美術館准教授)

越智裕二郎(当館館長)

演 題：「夏目漱石の美術愛」

参加者：151人



- (2) 講演会  
 日 時：4月21日(日) 14:00～  
 講 師：竹田 美喜(松山市立子規記念博物館館長)  
 演 題：「明治28年の子規と漱石」  
 参加者：145人
- (3) 美術講座
- ①日 時：3月31日(日)・4月14日(日) 各日10:30～/13:30～  
 講 師：藤村 直己(広島テレビ)  
 演 題：「Love Soseki ～夏目漱石が愛したモノ～」  
 参加者：計50人
- ②日 時：4月7日(日) 13:30～  
 講 師：越智裕二郎(当館館長)  
 演 題：「夏目漱石の眼力」  
 参加者：70人
- ③日 時：4月28日(日) 13:30～  
 講 師：藤崎 綾(当館主任学芸員)  
 演 題：「『夏目漱石の美術世界』 散策」  
 参加者：80人
- (4) ギャラリートーク  
 日 時：3月29日(金)、4月5日(金)、4月12日(金)、  
 4月19日(金)、4月26日(金)、5月3日(金) 各回11:00～  
 4月5日(金)、4月26日(金) 各回18:00～  
 講 師：藤崎 綾(当館主任学芸員)  
 参加者：計126人
- (5) ウェブレポーター  
 日 時：3月29日(金) 17:00～  
 参加者：7人



## 主要関連番組

- (1) テレビ
- 広島テレビ スポット放映(2月21日～)(※4月8日～第二弾/5月4日～第三弾を放映)  
 春の新番組宣伝『ピッピーでピDX』(3月19日)、『エンタ広テレビじゃん』(3月23日)、『テレビ派』  
 中継(3月26日)、『街角伝言板』(4月1日・2日・3日・19日)、『朝エンタ特別編』(2分15秒)  
 (4月7日、9日、11日)、『テレビ派』「松山の旅特集」(4月23日)、『るんるんカフェ』「街角クイ  
 ズ」(4月25日、5月2日)、『テレビ派』ニュース(5月1日)、『土曜エンタ』(5月4日)
- 南海放送 スポット放映(3月8日～)
- NHK 『ひろもり』(4月12日)、昼ニュース(4月23日)
- (2) ラジオ
- 南海放送(展覧会PR3月13日～)、南海放送ラジオインタビュー(3月26日)、エフエムふくやま(4月4日)、  
 鹿児島MBCラジオ(4月18日)、エフエムはつかいち(4月23日)・RCCラジオ(4月25日)、南海放送(ラジオ  
 CM)

## 主要関連記事

- (1) 新聞
- 読売新聞 記事：3月26日(「『夏目漱石の美術世界』開幕」)  
 広告：3月18日(7段)、27日(5段)、29日(5段)
- 中日新聞 記事：3月26日(文化面)
- 産経新聞(愛媛版) 記事：1月11日(「漱石展 観光連携促進へ」)、4月4日(「漱石文学、深く味わう」)
- 朝日新聞 記事：3月22日(「夏目漱石の美術世界」)
- 中国新聞 広告：3月26日、4月20日(「ミュージアムで会いましょう」)
- 愛媛新聞 記事：4月9日(文化面)(「漱石の美術鑑賞眼 体感」)  
 広告：3月26日

日本経済新聞 記事：4月9日（夕刊）（「漱石と美術、新研究相次ぐ」）

毎日新聞（備後版）記事：4月11日（「毎日美術館『文豪の心に触れた作品群』」）

(2) 雑誌等

『Art Collection + Design 藝術收藏 + 設計（台湾発行）』、「今年の展覧会 BEST200」『美術の窓』（2月発行）、『旅のアトリエ』（2月号）、『パスポート』（3月号）、『tomato』（3月号）、『Cue』（3月8日発行）、『ウエンディ』（3月号・4月号）、『TJ Hiroshima』（4月号）、『ジパング倶楽部』（4月号）、『(財) くれ勤労者福祉サービスセンター（会員向け広報誌）』、『ゆめプレス』（4月号）、『Day Art』（vol.7）、『色絵馬（広島県立美術館友の会会報）』（63号・4月発行）、『ホットベッパ』（4月号）、『to you』（4月号）、『CHIC』（4月号）、『生協広報』（4月号）、『arch（アートコレクションハウス発行会報誌）』（4月号）、『KURE：BAN』（4月号）、『くれフレンドリーニュース』（4月号）、『福山リビング新聞』（4月6日発行）、『広響コンサートプログラム』（4月17日発行）、『HUG HUG』（4・5月号）

(3) ウェブ

『広島県立美術館ブログ』（4月5日、16日、23日、28日）、『広島県立美術館メールマガジン』（3月22日、25日、4月2日、9日、11日、16日、22日、26日）、『全国美術館ネット（NHKエデュケーショナル）』、『インターネットミュージアム』、『ひろしまナビゲーター』、メールマガジン『ひろしまファンクラブ』、『長尾さんの観光案内所』、『日本博物館協会』、『マイナビニュース』、『artgene』、『net TAM』、『イベント情報（イベスタ）』、『こどものための博物館情報』、『あそぼうcom』、『アートニュースリリース』、『チケットぴあ』、『全国イベントガイド』、『ひろしま文化・芸術情報ネット（ブンカッキーネットひろしま）』、『イベントナビ』、『eventcast』

カタログ内容

漱石のなかの絵－王若水の「懸物」をめぐって 芳賀 徹

夏目漱石の美術世界 古田 亮

夏目漱石『文展と芸術』－漱石の「自己の表現」と黒田清輝、高村光太郎 泰井 良

図版

出品作家略歴

関連年表

関連文献

出品作品目録

展覧会巡回先

東京藝術大学大学美術館 平成25年5月14日～平成25年7月7日

静岡県立美術館 平成25年7月13日～平成25年8月25日

## 2 アート・アーチ・ひろしま2013 ピース・ミーツ・アート！

---

- 会 期／平成25(2013)年7月20日(土)～平成25年10月14日(月・祝)
- 主 催／広島県美術館活性化対策事業実行委員会（広島県立美術館、公益財団法人ひろしま美術館、広島市現代美術館、社団法人広島県観光連盟、公益財団法人ひろしま文化振興財団、NPO法人セトラひろしま）、中国新聞社
- 後 援／NHK広島放送局、中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz
- 協 賛／広島県信用組合、公益財団法人福武財団、資生堂
- 助 成／平成25年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業）
- 入 館 料／一般 800(600)円、高・大学生 400(300)円、一般／3館共通券 1,900(1,700)円  
高・大学生／3館共通券 1,200(1,000)円、中学生以下無料  
※( )内は前売・20人以上の団体料金
- 入館者数／16,622人（87日間）

広島市内にある3つの美術館（広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館）とNPO法人セトラひろしまが中心となり、「アート・アーチ・ひろしま2013」という枠組みのもと、平和を共通のテーマとした展覧会・イベントを実施した。とりわけ3館では、広島ともゆかりの深い彫刻家イサム・ノグチをキー・アーティストとして各館独自の切り口で構成した。

本展においては、「平和」、「再生」、「対話」をキー・コンセプトに掲げた。時代やジャンルを限定せず、石内都、内藤礼、平山郁夫、丸木位里・俊、山本基など広島ゆかりの作家を多く取り上げながら、美術作品を通して平和のメッセージを鑑賞者に伝えることを試みた。

（本展担当者：山下 寿水）

### 関連事業

- (1) 記念シンポジウム  
日 時：8月4日(日) 13:30～  
演 題：ひろしまの3つの美術館が架けるアーチ  
パネリスト：越智裕二郎（当館館長）、角廣 勲（ひろしま美術館長）、福永 治（広島市現代美術館長）  
司 会：古谷 可由（ひろしま美術館学芸部長）  
会 場：地階講堂  
聴講者：54名
- (2) 講演会  
日 時：8月10日(土) 13:30～  
演 題：ピカソが描いた永遠のいまーゲルニカのアイコンが語り継ぐもの  
講 師：森川絏一郎（造形表現史研究、広島女学院大学非常勤講師）  
会 場：地階講堂  
共 催：広島県立美術館友の会  
聴講者：68名
- (3) 記念対談  
日 時：9月28日(土) 13:30～  
演 題：“ひろしま”との出会い  
講 師：石内 都（写真家）、梯 久美子（ノンフィクション作家）

会 場：地階講堂  
共 催：広島県立美術館友の会  
聴講者：91名

(4) 美術講座

①日 時：8月16日(金) 13:30～  
演 題：ノグチを再考するーいまの広島とつながるアート  
講 師：山下 寿水(当館学芸員)  
会 場：地階講堂  
聴講者：24名

②日 時：9月23日(月・祝) 13:30～  
演 題：穏やかなる情景ー美術が描く平和のかたち  
講 師：山下 寿水(当館学芸員)  
会 場：地階講堂  
聴講者：13名

(5) ワークショップ

①日 時：8月30日(金) 11:30～、14:30～  
演 題：あなただけの思い出のコラージュをつくろう！  
講 師：戸川幸一郎(絵本絵画造形作家)  
会 場：1階ロビー  
対 象：中学生以下  
参加者：18名

②日 時：10月6日(日) 13:00～15:00  
演 題：2000年後のひろしまを発掘しよう！  
講 師：柴川 敏之(美術家、就実短期大学教授)  
会 場：1階ロビー  
対 象：全年齢  
参加者：50名

③日 時：10月14日(月・祝) 17:00～  
演 題：海に還るプロジェクト  
講 師：山本 基(美術家、本展出品作家)  
会 場：2階展示室  
対 象：全年齢  
参加者：81名

(6) ギャラリートーク

日 時：7月25日(木)、8月8日(木)、8月22日(木)、9月5日(木)、9月19日(木)、10月3日(木)  
各日11:00～11:45

講 師：山下 寿水(当館学芸員)、周々木朝香(当館主任学芸員)  
会 場：2階展示室  
参加者：63人

(7) ウェブ・レポーター募集

日 時：8月2日(金) 17:00～  
会 場：2階展示室内

対 象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックにて情報発信をされている一般の方  
参加者：6人



主要関連番組等

○テレビ番組

- 7/19 テレビ朝日「モーニングバード」
- 8/4 NHK「昼ニュース」(Transformation of Target関連)
- 8/4 広島テレビ「ニュース」(Transformation of Target関連)
- 8/6 テレビ新広島「ひろしまボイス」
- 8/8 NHK「おはよう日本」

- 8/12 ホームテレビ「広島発ケンTV」
- 8/12 TSSニュース
- 8/14 ホームテレビニュース
- 8/15 NHKニュース
- 8月中旬 ふれあいチャンネル「ミュージアム・レター」
- 8月中旬 TVスポットCM (RCC)
- 8/19~25 ひろしまケーブルテレビ「元気発信！まるごと広島市政」
- 8/25 NHK「日曜美術館 アートシーン」
- 8/28 RCCニュース（建物の生態関連）
- 8/28 広島テレビ「テレビ派」
- 9/6 広島テレビ「テレビ派」
- 9/8 広島テレビ「週間テレビ派」（9/6と同内容）
- 10/4 ヒカリTV「初音ミクの ミクミクメイクミク！」

○ラジオ番組

- 5/16 FMちゅーピー
- 6/5 FMはつかいち7/2 尾道エフエム7/4 MBCラジオ
- 7/8 エフエムふくやま
- 7/23 広島エフエム番組出演（山下）
- 8/30 RCCラジオ番組出演（渡辺）
- 9/5 RCCラジオ番組出演（山下）
- 9/11 FMはつかいち番組出演（山下）
- 9/12 RCCラジオ番組出演（神谷）

主要関連記事

- ・12/21 開催概要発表（3館館長）
- ・12/22 中国新聞記事「広島県立・ひろしま・市現代 3美術館「平和」を発信」
- ・1/1 中国新聞「広島にアートの架け橋」
- ・1/3 中国新聞「今年の主な主催行事」
- ・1/12 産経新聞記事「イサム・ノグチが架ける橋 広島市の3美術館 初の共通展」
- ・4/8 中国新聞記事「原爆ドーム背景「平和」撮る」（サテライト展紹介）
- ・4/10 読売新聞記事「広島市内3美術館手携え 平和メッセージ 7月から企画展」
- ・5/10 中国新聞 社告
- ・5/10 前売券発売情報 県政記者クラブ投げ込み、5/10市政記者クラブ投げ込み
- ・7/21 中国新聞「ヒロシマアート 平和の美」
- ・7/27 中国新聞「ミュージアムで会いましょう」
- ・8/3 中国新聞 シンポジウム告知記事
- ・8/4 朝日新聞（Transformation of Target関連）
- ・8/4 読売新聞（Transformation of Target関連）
- ・8/4 中国新聞（Transformation of Target関連）
- ・8/4 時事通信（Transformation of Target関連）
- ・8/6 中国新聞 サテライト展示1期記事
- ・8/7 中国新聞 ふれあい面
- ・8/8 中国新聞 シンポジウム報告記事
- ・8/15 中国新聞 特集紙面
- ・8/30 読売新聞（全国版）
- ・9/6 読売新聞 サテライト展示3期記事
- ・9/8 しんぶん赤旗 日曜版
- ・9/14 毎日新聞「アート・アーチにあわせ写真展」
- ・9/18 読売新聞「ひろしま県民情報」（石内都講演会関連）
- ・9/28 日経新聞「NIKKEIプラス1」
- ・10/5 中国新聞「時空超えつながる記憶」
- ・10/9 中国新聞「表現通し広島とつながり」

- ・12/26 中国新聞「中国地方2013回顧 美術」
- ・12/27 毎日新聞「この1年 美術 社会を揺さぶる表現」

情報誌等

- 「月刊ギャラリー」4月号（ギャラリーステーション）
- 「新美術新聞」（美術年鑑社）
- 「美術の窓」（生活の友社）
- 「ARCH」（アートコレクションハウス）アートファンのための会員制クラブ
- 「ジパング倶楽部」（交通新聞社）
- 「50+」（JR東海ツアーズ）
- 「デスティネーションキャンペーン公式ガイド 別冊旅の手帳・広島」（JR）
- 「マリソル」8月号（集英社）
- 「SPUR」7月号（集英社）
- 「Wink」7月号（株式会社アスコン）
- 「arch」6月号（アートコレクションハウス）
- 「るるぶ広島14」（JTBパブリッシング）
- 「美術屋百兵衛」（麗人社）
- 「広島銀行 会社情報誌」（広島銀行）
- 「月刊ピアノ」7月号（ヤマハミュージックメディア）
- 「市民と市政」7月1日号（広島市）
- 「旬遊+」7月1日号（グリーンブリーズ）
- 「季刊Qdas」7月発行（テレビ新広島）
- 「西Navi」7月号（JR西日本）
- 「Axis」7月号（アクシス）
- 「muto」6月20日発行号（ディップ・アンド・エス）
- 「Cue」7月19日号（メディア中国）
- 「to you」7月号（広島市未来都市創造財団）
- 「地域創造レター」7月号（財団法人地域創造）
- 「広島県医師会速報」7月15日号（広島県医師会）
- 「ジャパントゥタイムズ」7月18日号（ジャパントゥタイムズ）
- 「addo」7月号（中国新聞社）
- 「オズマガジン」8月号（スターツ出版）
- 「リビングひろしま（広島まちなかアート特集）」7/13発行（リビング広島）
- 「お元気ですか」8月号（ビスタ）
- 「美術の窓」8月号（生活の友社）
- 「JR時刻表（JRニュース）」8月号（JR西日本）
- 「Wendy広島」8月号（Wendy-net）
- 「tomato」8月号（トマトコーポレーション）
- 「トライアングル」8月号（ふじたプリント）
- 「MEN'S JOKER」（KKベストセラーズ）
- 「メープルニュース」（広島銀行）
- 「新美術新聞」（美術年鑑社）
- 「arch」（アートコレクションハウス）
- 「TJ Hiroshima」9月号
- 「7びあ」8月号－9月号（セブンドリーム・ドットコム）
- 「地域創造レター」9月号（財団法人地域創造）
- 「美術手帖」9月号（美術出版社）
- 「WINK」9月号（株式会社アスコン）
- 「Casa Brutus」9月号（マガジンハウス）
- 「Numero TOKYO」10月号（扶桑社）
- 「mumu」10月号（mumu hiroshima）

## カタログ内容

ごあいさつ

「平和」を軸に、美術の未来を探る（永井 明生）

広島に架かるアート・アーチ（山下 寿水）

いま、深い亀裂の向こう側に、思いをめぐらせる（岡村 幸宣）

第1章 破壊から再生へ

第2章 対話

第3章 未来へのアート・アーチ

作家解説

作品リスト

謝辞



### 3 尊厳の芸術展-The Art of Gaman-

会 期／平成25(2013)年7月20日(土)～平成25年9月1日(日)  
会 場／2階展示室(展示室4)  
主 催／広島県立美術館、NHK広島放送局  
後 援／外務省、広島市、広島市教育委員会  
特別協力／アメリカ大使館  
入 館 料／無料  
入館者数／21,596人(44日間)



太平洋戦争中、アメリカで強制収容された日系アメリカ人は、厳しい収容所生活の中でも人間の尊厳を失わず、限られた材料と道具をもとに数々の美術工芸品や日用品を制作し、不安や苦悩をのりこえ未来へと希望をつないだ。この展覧会では、困難の中で作られた日系アメリカ人の99件の作品を通じて、彼らの“不屈の精神”や“創造力”を紹介した。

(本展担当者：宮本真希子)

#### 関連行事

- (1) オープニングフォーラム  
日 時：7月20日(土) 13:30～15:30  
演 題：“GAMAN”の芸術とは何か  
講 師：薩摩 雅登(東京藝術大学教授・本展監修者)、石内 都(写真家)  
会 場：地階講堂  
参加者：170人
  - (2) いちだい知のトリアスロン出張講座&芸術鑑賞(広島市立大学共催)  
日 時：7月28日(日) 13:30～  
内 容：講座「米国日系人強制収容所における芸術と工芸」  
講 師：[講座] 加治屋健司(広島市立大学芸術学部准教授)  
[鑑賞] 宮本真希子(当館主任学芸員)  
会 場：地階講堂/2階展示室(本展会場)  
参加者：51人
  - (3) ギャラリートーク  
日 時：8月2日(金)・9日(金)・16日(金)・23日(金) 18:00～  
講 師：宮本真希子(当館主任学芸員)  
参加者：8～15人/日
  - (4) 学校出前授業ワークショップ「本当の“ものづくり”って何だろう」  
場 所：広島市立袋町小学校  
参加者：6年生33人
- ① プレ学習  
日 時：6月28日(金) 14:50～15:35

内 容：尊厳の芸術展に関するスライドレクチャー

講 師：宮本真希子（当館主任学芸員）、相原 健作（金工作家）

②ワークショップ

日 時：7月5日(金) 14:00～15:35

内 容：家庭内の廃品など限られた材料や道具により創意・工夫して行う作品づくり

講 師：宮田 亮平（金工作家、東京藝術大学学長）、相原 健作（金工作家）ほか

主要関連記事

中国新聞 7月16日「憤り昇華 収容所アート 米国の日系人に焦点『尊厳の芸術展』」（文化欄）

中国新聞 8月21日「強制収容 日系人の希望 戦中耐えた『尊厳の芸術展』」（文化欄）

主要関連番組

NHK（テレビ） 7月5日「お好みワイドひろしま」、7月19日「ひろもり」、7月21日「ローカルニュース」、7月27日「The Art of Gaman 日系人の強制収容所で生まれた尊厳の芸術」（再放送）、「ミニ番組（2分）」7回、30秒スポット19回

NHK（ラジオ） 7月26日「金曜夕方どお～かいの」、「ラジオおしらせ」随時

展覧会巡回先

東京藝術大学大学美術館	平成24年11月3日～12月9日
こむこむ館（福島県福島市）	平成25年2月9日～3月11日
せんだいメディアアーク（宮城県仙台市）	平成25年5月5日～5月18日
浦添市美術館（沖縄県浦添市）	平成25年6月1日～6月30日

## 4 ゴッホ展 空白のパリを追う

会 期／平成25(2013)年7月22日(月)～平成25年9月23日(月・祝)

主 催／広島県、広島県立美術館、中国新聞社、中国放送

後 援／オランダ大使館、オランダ総領事館、

オランダ政府観光局、広島テレビ、広島ホームテレビ、

テレビ新広島、広島エフエム放送、

FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、

尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz

企画協力／ファン・ゴッホ美術館、財団ハタステフティング

協 賛／大日本印刷

補 助／文化庁(平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造  
発信イニシアチブ)

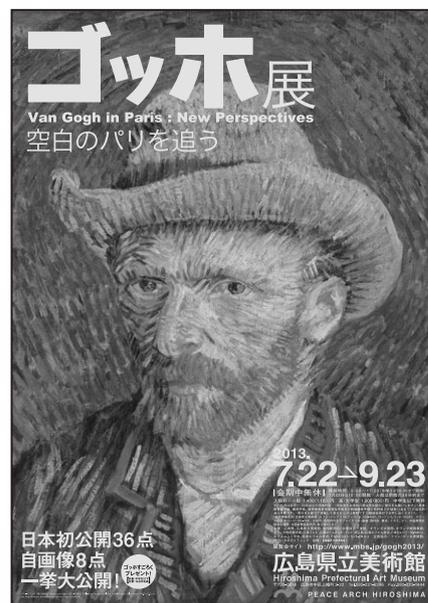
入 館 料／一 般：1,400円(1,100円)

高・大学生：1,000円(800円)

中学生以下無料

※( )内は前売り・20人以上の団体料金

入館者数／129,752人(64日間)



本展は、これまで抱かれてきたファン・ゴッホの作品や人物像に対する定説に対して、ファン・ゴッホ美術館の研究チームが7年の歳月をかけて取り組んできた研究成果を紹介したものである。今回の調査により、多くの新発見に基づいた新しい解釈や制作年代が示された。特に、今回焦点をあてた1886年から1888年のパリ時代は、ファン・ゴッホが次々に造形的な実験を試み、画家として大きく変貌を遂げた重要な時期であるにも関わらず、研究が遅れてきた部分であった。

展覧会では、従来ファン・ゴッホの自画像とみなされていたものの、今回の調査でモデルが弟テオであることが明らかにされた《テオ・ファン・ゴッホの肖像》をはじめとする、ファン・ゴッホ美術館所蔵作品を中心に、52点の絵画および資料を紹介した。

本展覧会は、ピース・アーチ・ひろしまプロジェクトの一環として開催された。また、ファン・ゴッホ作品を所蔵する、ひろしま美術館およびウッドワン美術館と連携し、「ファン・ゴッホ IN ひろしま」として互いの展覧会や所蔵作品のPRに努めた。

(本展担当者：石川 哲子)

### 関連事業

#### (1) シンポジウム

ゴッホ展開催記念国際シンポジウム「ファン・ゴッホ IN パリ」

日 時：7月23日(火) 13:30-16:30

基調講演：「ファン・ゴッホの自殺、《カラスの群れ飛ぶ麦畑》、そして最後の作品《木の根》」

ルイ・ファン・ティルボルフ Louis van Tilborgh

(オランダ国立ファン・ゴッホ美術館主任研究員、本展監修者)

「日本の夢」を超えて－ファン・ゴッホ最晩年のジャポニスム。浮世絵展、ルイ・デュムーラン、ウォルポール・ブルック－」

関府寺 司(大阪大学教授)

「ファン・ゴッホと日本:〈黄色い家〉の終焉以後」

コルネリア・ホンブルク Cornelia Homburg

(美術史家、インディペンデント・キュレーター、元セント・ルイス美術館キュレーター)

「1920年代、30年代、オーヴェールへファン・ゴッホの絵を見に訪れた日本人たち」

尾本 圭子 (ギメ東洋美術館 館長付顧問)

パネリスト: ルイ・ファン・ティルボルフ、

圀府寺 司、

コルネリア・ホンブルク、

尾本 圭子、

大原 秀之 (修復家、吉備国際大学教授)

進行: 越智裕二郎 (当館館長)

会場: 広島国際会議場 国際会議ホール「ヒマワリ」

(広島市中区中島町1-5 平和記念公園内)

参加者: 215名



(2) 美術講座「ファン・ゴッホ IN ひろしま」

ファン・ゴッホ作品を所蔵する、広島にある2つの美術館とのコラボ企画

①「ファン・ゴッホの最晩年～その色彩の魅力～」

講師: 古谷 可由 (ひろしま美術館学芸部長)

日時: 7月27日(土) 13:30-14:30

会場: 講堂 (聴講無料)

参加者: 138名

②「ファン・ゴッホの初期の画業～ニューネン時代の農民画を中心に～」

講師: 重藤 嘉代 (ウッドワン美術館学芸員)

日時: 8月11日(日) 13:30-14:30

会場: 講堂 (聴講無料)

参加者: 90名



③「空白のパリ時代」

講師: 石川 哲子 (当館主任学芸員)

日時: 9月8日(日) 13:30-14:30

会場: 講堂 (聴講無料)

参加者: 210名

④ゴッホ展プラス+

講演会&プラネタリウム上映『『ゴッホが描いた星空』に見るゴッホの足跡』

講師: 古谷 可由 (ひろしま美術館学芸部長)、重藤 嘉代 (ウッドワン美術館学芸員)、  
松本 佳也 (広島市こども文化科学館学芸員)、石川 哲子 (当館主任学芸員)

日時: 9月14日 17:30-20:00

会場: 広島市こども文化科学館プラネタリウム

参加者: 63名

⑤ゴッホ展プラス+「オランダ・ハーグ派展」の開催に合わせた3人のコラボ・トーク

「座談会 ゴッホを語る」

講師: 古谷 可由 (ひろしま美術館学芸部長)、重藤 嘉代 (ウッドワン美術館学芸員)、  
石川 哲子 (当館主任学芸員)

日時: 11月2日(土) 13:30-15:30

会場: ひろしま美術館 事務棟地下講堂

参加者: 70名

(3) 見どころ・トーク

講師: 石川 哲子 (当館主任学芸員)

日時と参加者: 8月9日 11:00~11:30 90名/18:00~18:30 25名

9月6日 11:00~11:30 90名/18:00~18:30 30名

9月13日 11:00~11:30 115名

会場: 講堂 (聴講無料)

- (4) ロビーコンサート  
 演奏：白井 朝香（フランスシター奏者）  
 日時：8月24日 12：00～  
 会場：1階ロビー 無料
- (5) ウェブ・レポーター  
 日時と参加者：7月26日 17：00～19：30 27名



## 主要関連番組

### (1) テレビ

#### □ニュース、PR番組など

- 中国放送 夕方ワイド番組「イマなま3チャンネル」(情報ボード) 7月19日  
 中国放送 昼ニュース、(イマなま内) ニュース、夕方ニュース「ニュース6」(開会) 7月22日  
 NHK広島放送局 夕方ニュース 7月25日  
 中国放送 夕方ワイド番組「イマなま3チャンネル」(ゴッホ展特集) 7月25日  
 中国放送 夕方ワイド番組「イマなま3チャンネル」(今週のふりかえり) 7月26日  
 中国放送 「ニュース6」(ホッと！ペ「ゴッホ展とランチ」) 7月29日  
 中国放送 「エンタがR」 7月31日  
 中国放送 昼ニュース、(イマなま内) ニュース(3万人) 8月8日  
 広島ホームテレビ 広島県広報番組「ひろしま発ケンTV」 8月12日(8月13日再放送)  
 NHK広島放送局 ニュース 8月19日  
 NHK広島放送局 昼ニュース、夜ニュース 8月21日  
 中国放送 (イマなま内) ニュース(5万人) 8月21日  
 NHK広島放送局 「ひろもり」(生放送) 8月29日  
 中国放送 「エンタがR」 9月4日  
 中国放送 昼ニュース、(イマなま内) ニュース(10万人) 9月17日  
 中国放送 「ニュース6」(ホッと！ペ「残り6日のゴッホ展、この謎を解け!」) 9月17日

#### □データ放送

- 中国放送 「タウンdボン」掲載  
 中国放送 「テレビdボンなび」(再放送) 7月20日・21日  
 中国放送 週間プレゼント掲載 7月20日～27日

#### □ケーブルテレビ

- 尾道ケーブルテレビ 「OCTVニュース」 7月29日  
 ふれあいチャンネル 「7月27日開催の美術講座」 8月12日～16日  
 ふれあいチャンネル 「8月11日開催の美術講座」 8月19日～23日  
 ふれあいチャンネル 「アミュージアムレター」 8月19日～9月15日

### (2) ラジオ

- 中国放送 「桜井弘規のおいくら万円」(明日から前売券販売開始) 5月19日  
 中国放送 「桜井弘規のおいくら万円」(明日から前売券販売開始) 5月19日  
 中国放送 「桜井弘規のおいくら万円」(前売券販売中) 6月2日  
 中国放送 「おいくら万円イブニング」(前売券販売中) 6月29日、7月13日  
 中国放送 「おいくら万円モーニング」(前売券販売中) 7月1日～5日、7月7日  
 南日本放送 「古山かおりのモーニングスマイル「明石屋 行ってみ大使・食べ大使」」 7月11日  
 中国放送 特番中四国ライブネット 2時間生放送  
 「広島発！ラジオでアート！？～あなたの知らないゴッホの世界～」 7月21日  
 ※中四国AM8局で上記番組告知 7月15日～21日全15回  
 中国放送 RCCラジオカー「ヒビカン 街頭ステーション 走れラジオカー」 7月22日  
 中国放送 「おいくら万円モーニング」(好評開催中) 7月22日～26日  
 FMふくやま 「おはようときめきタイム」 7月26日  
 FM東広島 「ハッピーモーニングサタデー」 8月3日  
 中国放送 「おいくら万円イブニング」(好評開催中) 8月10日  
 中国放送 「おいくら万円モーニング」(好評開催中) 8月12日～16日  
 FM尾道 「ユウガッタ・レディオ」 8月28日

## 主要関連記事

### (1) 新聞

- 中国新聞 今年の主な主催事業（朝刊一面） 1月3日  
中国新聞 社告（朝刊一面） 5月16日  
中国新聞 ちゅーピーくらぶ予習セット販売（朝刊ふれあい面） 5月22日  
毎日新聞 展覧会情報 6月13日  
中国新聞 事業ガイド予習セット販売（朝刊事業PR面） 6月22日  
中国新聞 ちゅーピーくらぶ コラボトーク募集（朝刊ふれあい面） 6月27日  
中国新聞 ちゅーピー子ども新聞「ゴッホ自画像募集」 7月7日  
中国新聞 ちぐハグ「きみもゴッホだ 自画像にトライ」（朝刊こども面） 7月9日  
中国新聞 特集（朝刊20段） 7月15日  
中国新聞 RCCラジオ特番告知（朝刊文化面） 7月19日  
中国新聞 「開梱」取材（朝刊一社面） 7月21日  
中国新聞 「開会式」（夕刊一面） 7月22日  
中国新聞 「開会式」（朝刊一面） 7月23日  
中国新聞 「天風録」（朝刊一面） 7月24日  
デイリースポーツ広島版 展覧会情報 7月25日  
中国新聞 作品解説①（朝刊一面） 7月26日  
中国新聞 作品解説②（朝刊一面） 7月27日  
中国新聞 「発言交差点「ゴッホ展」」（朝刊広場面） 7月27日  
中国新聞 作品解説③（朝刊一面） 7月28日  
中国新聞 作品解説④（朝刊一面） 7月30日  
中国新聞 作品解説⑤（朝刊一面） 7月31日  
毎日新聞備後版 寄稿「ゴッホ展 空白のパリを追う」 8月8日  
中国新聞 「3万人セレモニー」（朝刊二社面） 8月9日  
中国新聞 「炎の流転」①（朝刊文化面） 8月13日  
中国新聞 ちぐハグ「ゴッホ自画像発表（上）」（朝刊こども面） 8月13日  
中国新聞 ちゅーピー美術サロン開催記事（朝刊ふれあい面） 8月14日  
中国新聞 「炎の流転②」（朝刊文化面） 8月14日  
中国新聞 「ゴッホ自画像展示」（広島都市圏） 8月14日  
中国新聞 「炎の流転③」（朝刊文化面） 8月15日  
中国新聞 「ゴッホ研究興味深く」（朝刊広場面） 8月15日  
中国新聞 「炎の流転④」（朝刊文化面） 8月16日  
中国新聞 「炎の流転⑤」（朝刊文化面） 8月17日  
中国新聞 「5万人セレモニー」（夕刊三面） 8月21日  
中国新聞 「5万人セレモニー」（朝刊三社面） 8月22日  
読売新聞 「情報ナビ」 8月22日  
中国新聞 ちぐハグ「ゴッホ自画像発表（下）」（朝刊こども面） 8月28日  
日刊広島新聞 展覧会情報 8月28日  
中国新聞 ゴッホ展連続講演「『ヤマウズラの飛び立つ麦畑』の魅力」（朝刊文化面） 8月31日  
中国新聞 ちゅーピー子ども新聞「ゴッホってどんな人」 9月1日  
中国新聞 事業ガイドイベント紹介（朝刊事業PR面） 9月6日  
中国新聞 寄稿「ゴッホと日本文化」（朝刊文化面） 9月7日  
中国新聞 ちゅーピー子ども新聞「ちゅーピーリポーター」 9月15日  
中国新聞 「10万人セレモニー」（朝刊二社面） 9月18日  
中国新聞 「ゴッホ展「日本との絆 人気の背景」」（朝刊文化面） 9月19日



### (2) 雑誌、フリー・ペーパー等

- 『まいんど』5月号、日本フルハップ／『HUGHUG』6・7月号、株式会社HUGHUG／『日経おとなのOFF』5月号、株式会社日経BPマーケティング／『ゆこゆこ』6月号、株式会社ゆこゆこ／『月刊ローソンチケット』（中四国地区特集ページ）6月15日号 株式会社ローソンHMVエンタテイメント／『ニュースレター』vol.22、オランダ総領事館／『arch』6月号、アートコレクションハウス／『NHKテレビテキスト 趣味Do楽「城戸真亜子の油絵って楽しい!」』6・7月号、NHK出版／『7びあ』7月号、株式会社セブンドリーム・ドットコム

／『別冊 旅の手帖 広島』2013年6月25日／『JR西日本ジパング倶楽部 旅のアトリエ』6月25日、株式会社ひでみ企画／『ウエンディ広島』7月号、ウエンディ広島編集部／『CHIK』vol.12、株式会社トマトコーポレーション／『くれえばん』7月号、月刊くれえばん／『ゆめプレス』9月号、ゆめカード／『不動産ニュース』7月25日号、せとうち文化出版／『くれフレンドリーニュース』7月号、公益財団法人 呉市文化振興財団／『月刊タウン情報 トライアングル』7月号、プランニングルーム トライアングル／『OZ magazine (オズマガジン)』8月号、スターツ出版株式会社／『TJ Hiroshima』8月号、産興株式会社／『ホットペッパー』7月26日、リクルート／『月刊ino』8月号、株式会社KG情報広島支社／『色絵馬』no.64、広島県立美術館友の会／『Cue』(特集 広島ぶらりアート散歩) 7月19日、中国新聞社／『新美術新聞』7月21日、美術年鑑社／『HUGHUG』8・9月号、株式会社HUGHUG／『月刊誌ヘアモード』9月号、株式会社女性モード／『経済春秋』7月号、春秋社／『美術の窓』8月号、株式会社生活の友社／『くれえばん』8月号、月刊くれえばん／『広島県医師会速報』7月15日、広島県医師会／『mumu』8月号、CusCus／『瀬戸マーレ』7月末号、本州四国連絡高速道路株式会社／『つくりびと』16号、株式会社国民みらい出版／『リビングふくやま』8月24日 福山リビング新聞社編集部

(3) Web

「じゃらんご当地トピックス」株式会社リクルートライフスタイル／「ニュースポータルサイト「マイナビニュース」」株式会社マイナビ／「わくわくつくログ!」NPOひろしまインターネット美術館／「広島市観光情報サイト「ひろしまナビゲーター」公益財団法人広島観光コンベンションビューロー／「カロンズネット」一般社団法人知識環境研究会／楽天トラベル「おいしい!広島県特集ページ」(楽天トラベル全国会員対象メルマガ)

## 広告

(1) テレビ(スポット) 中国放送

レギュラースポット(15秒) 5月20日～9月23日  
応援スポット(メンテック)(15秒) 7月1日～  
「小・中学生無料編」(15秒) 8月12日～  
「土日混雑緩和編」9月2日～

(2) 新聞広告

中国新聞(朝刊・半5段) 9回

5月21日、6月7日・18日、7月17日・25日・28日・29日・30日、8月24日

中国新聞(朝刊・半5段)「予習セット」6回 6月16日・25日、7月2日・6日・8日・11日

中国新聞(朝刊・全3段) 13回

5月26日・27日・28日、6月2日・12日・22日、7月26日・30日、8月1日・15日・17日・28日、9月18日

中国新聞(朝刊・半3段) 23回

5月24日・31日、6月6日・11日・14日・18日・28日、7月10日・14日・17日・18日、

8月5日・7日・10日・11日・13日・18日・23日・29日、9月3日・8日・12日・15日

中国新聞(朝刊・カラー全5段) 1回 7月21日

中国新聞(夕刊・半5段) 1回 8月30日

中国新聞(夕刊・半5段)「予習セット」1回 6月20日

中国新聞(夕刊・全3段) 14回

5月21日・25日・29日、6月1日・5日・10日・13日・17日・26日、

7月26日、8月1日・23日・31日、9月20日

中国新聞(夕刊・半3段) 6回 7月1日・5日・11日・16日、8月17日、9月12日

中国新聞「掲示板ニュース」(全3段) 5月～9月号

中国新聞「カープタイムス」(全3段) 7月23日

中国新聞「コラボ・トーク」(全10段) 8月24日

(3) その他

小学館タイアップポスター(『ゴッホの夢』美術館)PR、巡回3館掲載)／『FF公式ガイドブック』(1段広告)／菓子博特報 4月19日・27日、5月1日・12日／『広島県観光ガイドブック 瀬戸内時間山なみ時間』7月1日～9月30日、広島県観光連盟・JR西日本／『広島県ディスプレイネーションキャンペーン ガイドブック』7月1日～9月30日、広島県観光連盟・JR西日本／金座街商店街懸垂幕 7月8日～9月23日／街頭ビジョン(紙屋町本通り交差点NABIA 5月20日～9月23日、八丁堀交差点 C-Vision 5月28日～)／生協 前売り券販売広告

## 図録内容

ごあいさつ

Greetings

ごあいさつ アクセル・リューガー

Foreword Axel Rüger

序文 エラ・ヘンドリクス、ルイ・ファン・ティルボルフ

Introduction Ella Hendriks, Louis van Tilborgh

目次

写実主義からモダニズムへーファン・ゴッホとパリのアヴァンギャルドとの出会い ルイ・ファン・ティルボルフ

### 1 写実主義からモダニズムへ

パリ時代以前

作品を売らなければ

もっと色彩を

古いものと新しいものとの結合

厚塗りから薄塗りへ

答えは一つではない

何よりも形式を

パリ時代以後

### 2 クローズアップ「ファン・ゴッホ」

何に描かれたのか？

どのように描き始めたのか？

絵の下に何が？

どんな色だったのか？

いつ描かれたのか？

描かれたパリの屋根は？

誰を描いたのか？

どこを描いたのか？

飛んでいる鳥は？

資料

展覧会ノート：絵画のモダニズム 有川 幾夫

フィンセント・ファン・ゴッホ 年譜

From realist to modernist. Van Gogh meets the Parisian avant-garde, Louis van Tilborgh

Literature

作品リスト

## 展覧会巡回先

ハウステンボス美術館 2012年7月29日～10月28日

京都市美術館 2013年4月2日～5月19日

宮城県美術館 2013年5月26日～7月15日

## 5 広島県立美術館・広島市立中央図書館 連携企画「江戸の広島をめぐる名品展」

会 期／平成25年10月5日(土)～平成25年10月20日(日)

会 場／3階企画展示室(前室)

主 催／広島県立美術館、広島市立中央図書館

入 館 料／無料

入館者数／1,479人(16日間)

当館の敷地に立地していた、我が国最初の私立美術館とされる浅野家「観古館」が、大正2(1913)年10月15日に開館して、平成25(2013)年で百年目を迎えたことにちなみ、当館と広島市立中央図書館による初めての連携企画として、「浅野文庫」(旧広島藩主浅野家収集に係る和漢書・図記類。浅野家から広島市立中央図書館に寄贈)と当館が所蔵する浅野家ゆかりの書籍や絵画等の展示を行った。

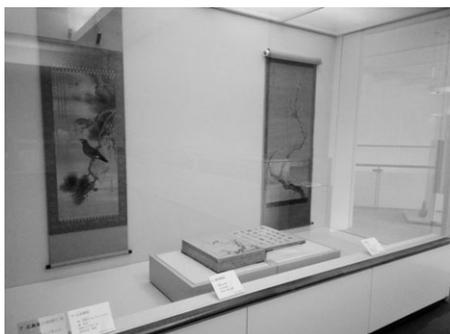
(本展担当者：宮本真希子)

### 概要

- (1) 「浅野文庫」から「都志見往来日記・同諸勝図」「芸備諸村瀑布図」「松斎梅譜」など13件を展示
- (2) 当館所蔵作品から岡岷山(広島藩絵師)による「仏法僧図」など3件を展示
- (3) 「都志見往来日記・同諸勝図」所収の画像7景をパネル展示(1階ロビー)
- (4) 展示資料に関する参考図書11冊を配架(3階企画展示室前室及び1階図書室)

### 主要関連記事

- 産経新聞 10月6日「江戸の広島をめぐる 県立美術館 浅野家ゆかりの『名品展』開幕 日本初の私立美術館『観古館』100年記念」
- 中国新聞 10月10日「浅野家ゆかり江戸の趣 原爆で焼失『観古館』開館100年 広島で名品展 古典籍や絵図16件」(文化欄)
- 朝日新聞 10月18日「『江戸の広島』名品展 県立美術館」



## 6 シャガール展

- 会 期／平成25年11月3日(日・祝)～平成25年12月25日(水)
- 主 催／広島県立美術館、中国新聞社、中国放送
- 後 援／在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、広島テレビ、広島ホームテレビ、  
テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、  
尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz
- 協 賛／トヨタ自動車、広島県信用組合、リベラ、合人社グループ
- 特別協力／メレット・メイヤー、マルク・シャガール国立美術館、  
マルク・シャガール国立美術館友の会、パリ国立オペラ座
- 協 力／ヤマトロジスティクス、日本航空、エールフランス航空、損害保険ジャパン、  
石田あさきトータルファッション専門学校
- 企画協力／北海道立近代美術館、北海道新聞社、キュレイターズ
- 入 館 料／一 般：1,300円(1,000円)  
高・大学生： 900円( 700円)  
小・中学生： 700円( 500円)
- 入館者数／60,474人(53日間)

20世紀を代表する画家の一人として世界中で高い人気を誇るマルク・シャガール(1887-1985)。宙を舞うカップルや動物、鮮烈な色彩など、その幻想的な絵画の数々は多くの美術ファンを魅了している。その一方で、シャガールは第二次世界大戦後の後半生には、歌劇場や美術館、教会などの公共空間を飾るモニュメント(記念碑的作品)も手がけた。本展では、華やかなパリ・オペラ座の天井画下絵をはじめ、フランスの教会を飾るステンドグラス、6メートルを超えるタピスリーなど、243点の作品を一堂に展示し、シャガールの知られざる仕事を本格的に紹介した。

(本展担当者：福田 浩子)

### 関連事業

- (1) 講演会「ユダヤの放蕩息子マルク・シャガールの芸術世界の秘密 なぜシャガールの魚はヴァイオリンと時計を抱えて空中に浮かんでいるのか？」  
日 時：11月17日(日) 13:30～  
講 師：角 伸明(関西大学・同志社大学非常勤講師、東方ユダヤ文化論専攻)  
会 場：3階大会議室  
聴講者：167人
- (2) 美術講座「知られざるシャガールの仕事 光の芸術-ステンドグラス」  
日 時：11月23日(土) 13:30～  
講 師：福田 浩子(当館主任学芸員)  
場 所：地下1階講堂  
聴講者：78人
- (3) オペラコンサート「シャガールに捧ぐ～音で織りなす幻想世界～」  
日 時：11月4日(月・振) 14:00～15:00  
出 演：柳清美(ソプラノ)、藤田卓也(テノール)、山岸玲音(バリトン)、岡山千穂(ピアノ)  
場 所：1階ロビー  
協 力：ひろしまオペラ・音楽推進委員会  
聴講者：520人



- (4) ギャラリートーク  
 日 時：11月8日、15日、22日、29日、12月6日\*、13日\*、20日\*(金) 11:00～  
 11月8日(金)、12月6日(金) 17:00～  
 講 師：福田 浩子 (当館主任学芸員)  
 会 場：3階企画展示室  
 \* は見どころトークとして地下1階講堂で実施  
 参加者：計414人
- (5) 体験型ワークショップ あなたもオペラ座の舞台に立ってみませんか？  
 日 時：11月3日(日・祝)～12月25日(水)開館時間内  
 会 場：3階ロビー  
 衣装制作：石田あさきトータルファッション専門学校  
 参加者：2,073人以上
- (6) ウェブレポーター大募集  
 日 時：11月8日(金) 17:00～18:30  
 会 場：3階ロビー  
 参加者：23人
- (7) ロビーコンサート「縁の下のヴァイオリン弾き」  
 日 時：11月30日(土) 12:00～  
 出演者 上野 眞樹 (ヴァイオリン)、吉野 妙 (ピアノ)  
 場 所：1階ロビー  
 参加者：200人
- (8) ちゅーピー見どころ鑑賞会「シャガール展の見どころ」  
 日 時：11月22日(金) 14:00～  
 講 師：福田 浩子 (当館主任学芸員)  
 場 所：地下1階講堂  
 聴講者：126人



## 主要関連広報

- 中国新聞 7/12社告、7/17ちゅーピーくらぶ夏の懸賞告知、10/4予習セット告知、10/20ミュージアムで会いましょう、10/13・10/20・10/27予習シリーズ広告3回連載、10/29特集記事、11/1作品開梱、11/4開会式、11/8・11/9・11/10作品紹介、11/141万人セレモニー、11/24来場者の声15段全面広告、11/3こども新聞、12/3講演会、12/53万人セレモニー、12/14学芸員寄稿
- 中国放送 ラジオ：11/3桜井弘規のおいくら万円、11/5ラジオカー中継、11/11おはようラジオ、11/29日々感謝ヒビカン、12/8桜井弘規のおいくら万円 テレビ：11/1イマなま3チャンネル、11/3昼・夕方ニュース、11/11エンタがR、11/131万人セレモニー、11/18エンタがR、11/25エンタがR、12/43万人セレモニー、12/205万人セレモニー
- その他ラジオ 10/31展覧会紹介 (鹿児島放送MBCラジオ)、11/4展覧会紹介 (エフエムはつかいち)、11/6いきいきFactory (エフエムはつかいち)、11/12展覧会紹介 (エフエム尾道)、11/14展覧会紹介 (エフエムふくやま)、11/21展覧会紹介 (FMちゅーピー)
- その他テレビ 10/7満点ママ (TSS)、10/30開梱取材他ニュース (ホームテレビ)、11/7ニュース (ホームテレビ)、11/12学芸員のお仕事 (Jステーション・ホームテレビ)、11/29ひろもり (NHK)
- その他新聞 11/29展覧会紹介記事 (朝日新聞)、12/5「毎日美術館」(毎日新聞備後版)
- その他掲載 シャガール大特集 (『芸術新潮7月号』)、『月刊ローソンチケット「中四国地区特集ページ」(株式会社ローソンHMVエンタテイメント)、『会報誌まいんど』(日本フルハップ)、『福利ひろしま』vol.267(公立学校共済組合広島支部)、『フェニックス』10・11月号(中国新聞社)、『ぴあ』10月号(株式会社セブンドリーム・ドットコム)、『広島県立美術館友の会会報色絵馬』Vol.65(広島県立美術館友の会)、吊り下げPOP10月号(株式会社セブンドリーム・ドットコム)、『第333回定期演奏会(広島交響楽団)プログラム』(公益社団法人広島交響楽協会)、『Grandeひろしま』Vol.3冬号(グリーンブリーズ)、『JAF Plus』11月号(JAF)、『HUG HUG』10月・11月号(株式会社HUG HUG)、『ウエンディ広島』11月号(ウエンディ広島編集部)、『ベネフィット・ワンアクティブプラン会報誌』9月号(株式会社ベネフィット・ワン)、『毎日新聞旅行』(毎日新聞旅行)、『つくりびと』18号(株式会社国民みらい出版)、『mumu』10月発行(CusCus)、『Wink』11月発行(株式会社アスコン)、『不動

産ニュース』11月発行（せとうち文化出版）、『月刊ino（広島版）』10月号（㈱KG情報）、『月刊ino（福山版）』10月号（㈱KG情報）、『広島映画サークル協議会機関紙 スクリーン』No.547（広島映画サークル協議会）、『TJ Hiroshima』11月号（産興株式会社）、『月刊タウン情報トライアングル』11月号（株式会社ふじたプリント社）、『to-you』11月号（広島市未来都市創造財団）、『7びあ』11月号（株式会社 セブンドリーム・ドットコム）、吊り下げPOP11月号（株式会社 セブンドリーム・ドットコム）、『GOLD』12月号（世界文化社）、『フレンドリー』11/7（マツダ労働組合）、『イズミグループ社内報』11月号（イズミ）、『春秋』12月号（春秋社）

インターネット ブンカッキーネット（ひろしま文化振興財団）、トレたび「プレミアム情報プレゼント枠」（株式会社交通新聞社）、ひろしまナビゲーター（広島観光コンベンションビューロー）、「ブンカッキーネットひろしま」オンラインマガジン（ひろしま文化振興財団）、JR西日本（協同組合インフォメーションテクノロジー関西）、じゃらんnet（協同組合インフォメーションテクノロジー関西）、Yahoo!JAPAN（協同組合インフォメーションテクノロジー関西）、地球の歩き方（協同組合インフォメーションテクノロジー関西）、わくわくつくログ！（NPOひろしまインターネット美術館）、ミニナルアート（株式会社イーエム）、広島県公式Facebook（広島県）、広島県公式HP（広島県）、ホテルグランヴィアHP（ホテルグランヴィア）、カロンズネット（一般社団法人知識環境研究会）、るるぶmobile「今週末行きたい」/12/4（JTB）、広島西法人会ホームページ（公益財団法人広島西法人会）、当館HP、Facebookなど

## カタログ内容

イメージの伽藍－シャガールのモニュメント（佐藤 幸宏）

図版 凡例

### 第1章：祝祭の空間－色彩の交響

天空の花束－パリ・オペラ座の天井画（佐藤 幸宏）

リンカーン・センター内、メトロポリタン・オペラハウスの大壁画について（穂積 利明）

イジスとシャガール（福地 大輔）

「ダフニスとクロエ」の物語（穂積 利明）

バレエ「ダフニスとクロエ」について（ユリス・エック＝コキール）

「ダフニスとクロエ」の舞台衣装－オペラ座と芸術家たち（クリスティーン・ヴァーガス）

バレエ「火の鳥」（小川 かい）

オペラ「魔笛」（小川 かい）

サーカス－祝祭空間としての夢（佐藤 幸宏）

### 第2章：精神の光－祈りの造形

シャガールとステンドグラス（シルヴィ・フォレストイエ）

マルク・シャガール：下絵からモニュメンタルなスケールの作品へ（アンブル・ゴーチエ）

シャガールとアトリエ・シモン＝マルク（ブノワ・マルク）

プラトー・ドゥ・アッシの慈悲聖母教会について（ジェローム・ブーシェ）

物語としての旧約聖書（小檜山祐幹）

### 第3章：南仏での安息－晩年の境地

シャガール、空と海との間で（シルヴィ・フォレストイエ）

シャガールと陶器、不服従の情熱（サンドリーヌ・コワニヤール）

タピスリー《平和》のモチーフと世界観（松田 弘）

マルク・シャガールとタピスリー、イヴェット・コキール＝プランスとの対話（ユリス・エック＝コキール）

ニース大学法学部に寄贈されたマルク・シャガールによるモザイク壁画誕生についての回想（コレット・ボナヴィア＝パリアンテ）

## 資料編

マルク・シャガール略歴（メレット・メイヤー）

出品リスト

テーマ、グループ、素材別リスト

関連施設紹介

シャガールのモニュメント紹介

参考文献

シャガールが関わった主な舞台美術（小川 かい）

## 展覧会巡回先

北海道立近代美術館	平成25(2013)年6月29日(土)～8月25日(日)
宮城県美術館	平成25(2013)年9月3日(火)～10月27日(日)
静岡市美術館	平成26(2014)年1月2日(木)～3月30日(日)
愛知県美術館	平成26(2014)年4月17日(木)～6月8日(日)

## 7 印象派を超えて 一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで

- 会 期／平成26年1月2日(木)～平成26年2月16日(日)
- 主 催／広島県立美術館、NHK広島放送局、中国新聞社
- 後 援／オランダ王国大使館、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、  
FMはつかいち76.1MHz
- 協 賛／損保ジャパン、株式会社イズミテクノ、広島信用組合、クマヒラ、田中食品株式会社、  
にしき堂、広島緑地建設株式会社、T&Tタウンファーマ株式会社、(株)広島銀行、  
ワコーグループ、広島信用金庫、もみじ銀行、(株)広田造園、(一社)広島県歯科医師会、  
(社)広島県薬剤師会、(株)アクト中食、広島市信用組合、大和証券(株)、  
西川ゴム工業(株)、生活協同組合ひろしま、日本たばこ産業(株)広島支店
- 協 力／KLMオランダ航空
- 入 館 料／一般1,300円(1,000円)、高・大学生900円(600円)、中学生以下無料  
※( )内は、前売・20名以上の団体
- 入館者数／28,818人(46日間)

本展覧会は、オランダのクレラー＝ミュラー美術館所蔵作品90点に、国内美術館所蔵作品を加えた約100点によって、分割主義(Divisionism)の系譜を辿るものである。印象派によって始められた筆触分割。それを科学・光学理論に基づいて確立したスーラ、シニャック。また色彩を自らの感情表現に用い、解放したファン・ゴッホ。ベルギーやオランダにおける分割主義の受容と展開。絵画における「色彩の自立」をうたったモンドリアン。19世紀から20世紀に至る色彩画家の流れを辿ることのできる貴重な機会となった。

(本展担当者 泰井 良)

### 主要関連事業

- (1) 記念講演会(友の会共催)  
「新印象派と楽園のヴィジョン：アナーキズムを超えて」  
講 師：千足 伸行(成城大学名誉教授、海の見える杜美術館顧問)  
日 時：1月26日(日) 午後2時～3時30分  
場 所：地下1階講堂  
聴講者：200人
- (2) 美術講座
  - ①「モンドリアンの芸術」  
講 師：越智裕二郎(当館館長)  
日 時：1月19日(日) 午後1時30分～3時  
場 所：地下1階講堂  
聴講者：80人
  - ②「ゴッホからモンドリアンまで－色彩の自立－」  
講 師：泰井 良(当館主任学芸員)  
日 時：2月9日(日) 午後1時30分～3時  
場 所：地下1階講堂  
聴講者：95人



- (3) ギャラリー・トーク  
講 師：泰井 良（当館主任学芸員）  
日 時：1月10日(金)、1月24日(金)、2月7日(金) 午前11:00～11:30  
場 所：3階企画展示室  
聴講者：各110人（3回の合計）
- (4) ワークショップ  
点描ワークショップ「ドットで描こう。ひかりといろ」  
講 師：松尾真由美（広島市立大学講師）  
日 時：2月2日(日) 午後2時～3時30分  
場 所：1階ロビー  
参加者：30人

#### 主要関連記事・番組

- (1) 中国新聞 11月1日社告、12月1日社告、12月2日社告、12月25日特集、1月24日事業ガイド（泰井主任学芸員寄稿）、1月25日1万人イベント、1月30日「印象派を超えて 色彩の自立」（泰井主任学芸員寄稿）、2月7日記念講演会記事、2月11日2万人イベント
- (2) NHK 11月17日日曜美術館放送（11月24日再放送、2月16日アンコール放送）  
1月10日ラジオ第一「金曜どお～かいの」放送、2月13日ひろもり放送
- (3) その他 12月29日 産経新聞、ケーブルテレビ「ふれあいチャンネル」放送（会期中随時）

#### カタログ内容

分割主義－その理念と実践から（長屋 光枝）  
ヘレーネ・クレラ＝ミユラーとその分割主義コレクションの形成（リースベス・ヘーнк）  
I 印象派の筆触  
II スーラとシニャック－分割主義の誕生と展開  
III ゴッホと分割主義  
IV ベルギーとオランダの分割主義  
V モンドリアン－究極の帰結  
ジョルジュ・スーラと色彩の科学（米田 尚輝）  
関連年表、関連地図、主要文献目録など。

#### 展覧会巡回先

国立新美術館 平成25年10月4日～12月23日  
愛知県美術館 平成26年2月25日～4月6日

## 8 第60回日本伝統工芸展広島展

会 期／平成26(2014)年2月26日(水)～3月16日(日)  
 (会期中無休)  
 主 催／広島県、広島県教育委員会、広島県立美術館、  
 NHK広島放送局、朝日新聞社、  
 公益社団法人日本工芸会  
 後 援／文化庁  
 入 館 料／一般 700円(500円)、高・大学生400円(200円)  
 中学生以下無料  
 入館者数／8,399人(19日間)



日本伝統工芸展は、日本の風土から生まれた世界に誇る工芸技術を発展・継承し、新しい時代の生活に即した美を築くことを目的にしている。広島展では、全入選作品616点及び遺作3点の中から重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品や受賞作品、広島県や中国地方からの入選作品を中心に陶芸105点、染織45点、漆芸44点、金工30点、木竹工46点、人形21点、その他の工芸29点、合計320点を厳選して一堂に展示した。県内からは10名の作家の作品が入選した。日本の伝統を引き継ぐ優れた工芸作品を展示し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、伝統工芸に対する理解を深め、地域文化の向上に資することに努めた。

(本展担当者：宮本真希子)

### 広島県在住入選者

陶 芸	赤毛 敏男	「備前花器」
	今田 拓志	「燗器」
	木村 芳郎	「碧釉器」
漆 芸	金城一国斎	「切金高盛絵飾箱 軌跡」
	田代 昭夫	「藍胎箱 森閑」
木 工	小林 利幸	「花梨拭漆丸盆」
	松岡 裕治	「楓杓造食籠」
	門田 篁玉	「千鳥編花籃」
諸工芸	粟根 仁志	「七宝花器 瀬戸の月映」
	菅坂 安子	「有線七宝花瓶 春待つ雪華」

### 関連事業

(1) シンポジウム(広島県立美術館友の会共催)

日 時：平成26年3月1日(土) 13:30～15:00、場所：地階講堂

演 題：「文化と産業、日本(世界)と広島の視点から 伝統工芸の過去・現在・未来を考える」

講 師：上田 宗冨(茶道上田宗箇流家元)

前田 育男(マツダ株式会社 執行役員デザイン本部長)

室瀬 和美(重要無形文化財「蒔絵」保持者)

司 会：滑川 和男（NHK広島放送局アナウンサー）

参加者：240名

(2) ギャラリートーク（場所：3階企画展示室）

(ア)入選作家による

平成26年2月28日(金)	11:00～11:40	粟根 仁志（七宝）	40名
3月1日(土)	11:00～11:40	田代 昭夫（漆芸）	62名
3月2日(日)	11:00～11:40	木村 芳郎（陶芸）	71名
3月7日(金)	11:00～11:40	菅坂 安子（七宝）	38名
3月8日(土)	13:30～11:40	佐藤 常子（染織）	52名
3月9日(日)	11:00～11:40	井戸川 豊（陶芸）	59名
3月9日(日)	13:30～11:40	金城一国斎（漆芸）	102名
3月14日(金)	11:00～11:40	小林 利幸（木工）	42名

(イ)担当学芸員による

平成26年2月28日(金)	18:00～18:40	10名
3月7日(金)	11:00～11:40	23名
	18:00～18:40	11名
3月14日(金)	18:00～18:40	15名

(3) その他

(ア)アートと私の美味しい時間 “日本酒が繋ぐ、イタリア料理と伝統工芸”

日 時：平成26年2月28日(金) 18:30～

場 所：3階企画展示室及び1階レストラン

内 容：・特別鑑賞会（17:00～17:45）  
・トークイベント（18:30～20:00）

ゲスト：木村 芳郎（陶芸家、本展出品作家）、坂田 興平（賀茂鶴酒造常任顧問）

司 会：越智裕二郎（当館館長）

参加者：53名

(イ)きものDE美術館

日 時：会期中

内 容：着物での本展入館者にプレゼント進呈

参加者：180名

(ウ)ウェブレポーター

日 時：平成26年2月28日 17:00～18:30

場 所：3階企画展示室

内 容：参加者が展覧会をレポートし、ウェブで発信

参加者：5名

## 子ども鑑賞コース

(1) 出張授業

平成25年11月19日(火)	馬船 宏明（漆芸）	広島市立鈴が峰小学校	4年生	28名
12月4日(水)	菅坂 安子（七宝）	廿日市市立津田小学校	4年生及び特別支援学級	26名
12月12日(木)	小林 利幸（木工）	呉市立音戸小学校	4・5年生	54名
平成26年2月6日(木)	粟根 仁志（七宝）	呉市立倉橋小学校	4年生	17名
2月14日(金)	山根 宏造（陶芸）	福山市立湯田小学校	特別支援クラス1～6年生	21名

(2) ワークショップ

日 時：3月2日(日) 13:30～15:30

場 所：広島県立美術館3階ロビー

内 容：“鬼の土鈴”を作ろう！

講 師：今田 拓志（陶芸家、第60回展出品）

参加者：24名

(3) 親子鑑賞ガイドブック作成・配布（B6版16ページ、6,000部）

## 主要関連記事

### 朝日新聞

- 平成25年 8月21日 県内入選者発表「伝統工芸展県内10人が入選」  
11月20日 出張授業（広島市立鈴が峰小学校）「漆芸の出張授業」  
平成26年 1月5日 中国四国巡回展告知  
2月7日 出張授業（呉市立倉橋小学校）「初めての七宝づくり 呉・倉橋小で『出張授業』」  
2月14日 開催告知  
2月15日 出張授業（福山市立湯田小学校）「宮島御砂焼作家が授業」  
2月21日 関連イベント紹介  
2月22日 広島展開幕告知「26日から県立美術館」  
2月24日 県内入選者作品紹介① 栗根 仁志「七宝花器 瀬戸の月映」  
2月27日 広島展開幕「第60回 県立美術館で開幕『珠玉、320作品に感嘆』」  
県内入選者作品紹介② 田代 昭夫「籃胎箱 森閑」  
2月28日 県内入選者作品紹介③ 今田 拓志「燻器」  
木村 芳郎「碧釉器」  
松岡 裕治「楓空造食籠」  
菅坂 安子「有線七宝花器 春待つ雪華」  
3月1日 県内入選者作品紹介④ 金城一國齋「切金高盛絵飾箱 軌跡」  
3月2日 シンポジウム「工芸展異色3人語る60回記念シンポ 会場は満員に」  
県内入選者作品紹介⑤ 小林 利幸「花梨拭漆丸盆」  
3月6日 県内入選者作品紹介⑥ 赤毛 敏男「備前花器」  
3月7日 県内入選者作品紹介⑦ 門田 篁玉「千鳥網花籃」

### 中国新聞

- 平成26年12月15日 出張授業「Xマスの飾り 七宝焼に挑戦」  
3月7日 「緻密さ光る技の競演 広島で日本伝統工芸展」

## 主要関連番組

### NHK（TV）

- 平成25年11月20日 「おはようひろしま」（出張授業、総合・広島県内）  
平成26年 1月22日～3月14日 計17回 30秒告知スポット（総合・ETV・広島県内）  
1月28日・30日、2月4日 「ひろしまナビ」（総合・広島県内）  
2月26日 ローカルニュース（総合・広島県内）／BS列島ニュース（BS1・全国）  
3月5日 「ひろもり」県内入選作品（10作品）紹介（総合・広島県内）

### NHK（ラジオ）

- 平成26年 2月21日 金曜ど〜かいの（ラジオ第1・広島県内）  
お知らせ 随時

### NHK（データ放送）

- 平成26年 1月27日～3月16日

### その他

- 尾道ケーブルテレビ（平成26年 2月12日、OCTVニュース）  
広島ホームテレビ（平成26年 2月26日、開会式・ローカルニュース）  
FM広島（平成26年 3月6日）

## 情報誌

- 「to-you」1月号、「TJ Hiroshima」3月号、「Wink」3月号、「mumu」3月号、「くれえばん」3月号、「ウェンディ広島」3月号、「広島リビング新聞」2/22、「サンデー周南新聞」3/1、「月刊春秋」3月号

## インターネット

- 広島県立美術館HP、NHK広島放送局HP、朝日新聞デジタル、広島市観光情報サイト「ひろしまナビゲーター」、イベントバンク、@nifty旅行、excite、パナソニックおでかけ旅ガイド、ニコンすぽっとサーチ、アパホテル、まちこみZAQ

## カタログ内容

趣旨 出品目録 出品図版

特別展示「わぎを伝える」文化財保存事業報告

第60回日本伝統工芸展入選作品及び受賞作品の決定について

## 展覧会巡回先

東京	平成25年9月18日(水)～9月30日(月)	日本橋三越本店
名古屋	10月2日(水)～10月7日(月)	名古屋栄三越
京都	10月9日(水)～10月14日(月・祝)	京都高島屋
大阪	10月16日(水)～10月21日(月)	JR大阪三越伊勢丹
金沢	10月25日(金)～11月3日(日・祝)	石川県立美術館
岡山	11月12日(火)～12月8日(日)	岡山県立美術館
松江	12月11日(水)～12月25日(水)	島根県立美術館
高松	平成26年1月2日(木)～1月19日(日)	香川県立ミュージアム
仙台	1月23日(木)～1月28日(火)	仙台三越
福岡	2月11日(火・祝)～2月16日(日)	福岡三越
松山	2月18日(火)～2月24日(月)	松山三越

# 所蔵作品展

平成25年度は、全5室ある展示室のうち、夏季期間に3室分を特別展（ピース・ミーツ・アート！）で使用。他期間は所蔵品の展示を実施した。

入場者数／56,739人（291日間）

## 第1期（彫刻展示スペース・第1室・第2室）

### 夏目漱石とその時代に思いを馳せて 恋は宇宙的な活力である

平成25年4月17日(水)～7月15日(月・祝)

前期 4月17日(水)～5月26日(日)

後期 5月28日(火)～7月15日(日)

恋、愛、さまざまなLOVEのかたち

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
1	十二代 三輪 休雪	1940(昭和15)年-	LOVE	昭和44(1969)	高82.0 110.0×77.0	陶	1点	
2	十二代 三輪 休雪		花	昭和52(1977)	高45.0 32.0×48.0	陶	1点	
3	十二代 三輪 休雪		続、卑弥呼の書 No.5	平成4(1992)	高96.0 210.0×69.0	陶	1点	
4	プスケント		刺繍布 (スザニ)	19世紀末	245.0×210.0	木綿、絹糸、刺繍	1枚	
5	タシケント		刺繍布 (スザニ)	19世紀後半	216.0×174.0	木綿、絹糸、刺繍	1枚	
6	テケ族 トルクメン人		刺繍靴	19世紀初頭	19.3×16.3	刺繍	1枚	
7	北ヨムート族 トルクメン人		花嫁用頭飾り	19世紀前半	高17.0(下げ飾り除く)	銀 鍍金 カーネリアン	1点	
8	テケ族 トルクメン人		花嫁用頭飾り	19世紀前半	高31.0	銀 鍍金 カーネリアン	1点	
9	オラム族 トルクメン人		刺繍靴	19世紀中期	17.7×16.0	刺繍	1枚	
10	シンド バルチスタン		刺繍靴	19世紀中期	17.5×13.2	刺繍	1枚	
11	エルサリ族 トルクメン人		刺繍靴	19世紀中期	15.4×10.1	木綿布、絹刺繍、ガラスビーズ	1枚	
12	バシュトゥーン人またはハザーラ		刺繍靴	19世紀中期	13.4×10.1	刺繍	1枚	
13	バシュトゥーン人		刺繍靴	19世紀中期	18.5×13.2	刺繍	1枚	
14	ウズベク人		刺繍靴	19世紀中期	17.7×15.0	刺繍	1枚	
15	シンド バルチスタン		刺繍靴	19世紀中期	23.7×25.9	刺繍	1枚	
16	ベルシア		刺繍靴	19世紀	9.1×12.6	刺繍	1枚	
17	ウズベク人		刺繍靴	20世紀初頭	16.2×12.6	刺繍	1枚	
18	ウズベク人		刺繍靴	20世紀初頭	19.3×14.8	刺繍	1枚	
19	インド南部		藍地唐花文更紗	19-20世紀	234.1×107.3	木綿、木版手描媒染防染	1枚	
20	布:インド南部、 印金:インドネシア、スマトラ		茜地唐花文金更紗	20世紀初頭	244.5×98.3	木綿、木版媒染、印金	1枚	
21			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器 色絵	1 軀	
22			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代 17世紀後半	高45.0	磁器 色絵	1 軀	
23			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	江戸時代 17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器 色絵	1 口	
24	サルバドール・ダリ	1904-1989年	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩、画布、パネル	1面	
25	藤川 素子	1931(昭和6)年-	始元	昭和46(1971)	164.0×179.4	染	1面	
26	藤川 素子		流転	昭和55(1980)	220.0×181.0	染、ビロード	1面	
27	藤川 素子		望み	昭和63(1988)	217.5×157.5	臙纈染 額装	1面	
28	インド東海岸、マチリパトナム		クリシュナ神、ゴビ文金更紗	18世紀	179.0×106.8	木綿、手描染に金箔媒染防染	1枚	
29	インド、デカン		紺地クリシュナ、ゴビ文金更紗	18世紀	172.0×136.8	木綿、描絵金更紗	1枚	
30	児玉 希望	1898(明治31)年-1971(昭和46)年	忠貞双絶	昭和16(1941)	各149.5×68.0	絹本彩色	2面	
31	菅井 汲	1919(大正8)年-1996(平成8)年	Adam et Eve(アダムとイブ)	昭和27(1952)	117.5×81.0	油彩、画布	1面	
32	菅井 汲		LE FLIRT A 45°(男女45度の戯れ)	昭和57(1982)	200.2×562.0	アクリル、画布	1面	
33	ベン・ニコルソン	1894年-1982年	1933(絵画)	1933	73.3×90.8	油彩、ジェッソ、板	1面	
34	マン・レイ	1890年-1976年	アングルのヴァイオリン	1924	30.8×23.1	ゼラチン・シルバー・プリント	1面	
35	マン・レイ		パブロ・ピカソ	1932	29.3×20.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面	
36	マン・レイ		ドラ・マール	1936	28.5×21.7	ゼラチン・シルバー・プリント	1面	
37	バーバラ・ハップワース	1903年-1975年	ネスティング・ストーンズ	1937	高19×30.5×22.8	大理石	1点	
38	巖 光	1907(明治40)年-1946(昭和21)年	コミサ(洋傘による少女)	昭和4(1929)	80.0×65.0	油彩、画布	1面	
39	小林徳三郎	1884(明治17)年-1949(昭和24)年	こども		42.5×52.5	油彩、画布	1面	

No.	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
40	平山 郁夫	1930(昭和5)年-2009(平成21)	母子	昭和34(1959)	116.0×68.0	紙本彩色	1面	
41	水谷 愛子	1924(大正13)年-2005(平成17)年	裕太と亮ちゃん	平成元(1989)	167.5×212.0	紙本彩色	1面	
42	水谷 愛子		母と子	昭和63(1988)	167.8×213.1	紙本彩色	1面	
43	和高 節二	1898(明治31)年-1990(平成2)年	母子	大正10(1921)	61.0×73.0	紙本彩色	1面	
44	大村 廣陽	1891(明治24)年-1983(昭和58)年	南苑	昭和3(1928)	212.0×158.0	絹本彩色	1面	
45	和高 節二	1898(明治31)年-1990(平成2)年	仔牛とたわむれる農夫	大正12頃(1923頃)	53.5×47.0	紙本彩色	1面	

### 夏目漱石の生きた時代のアートたち

No.	制作者	生没年	作品名	寸法	材質技法	員数	展示期間
46	橋本 雅邦	1835(天保6)年-1908(明治41)年	風神雷神	明治28(1895)	各138.0×52.0	絹本彩色	対幅
47	橋本 雅邦		竜虎争気		各126.0×50.0	絹本墨画淡彩	対幅 後期
48	横山 大観	1868(明治元)年-1958(昭和33)年	井筒	明治30(1897)	135.6×83.5	紙本彩色	1幅 前期
49	小林 千古	1870(明治3)年-1911(明治44)年	佛、伊風景小スケッチ	明治33~34頃 (1900~1901頃)	31.2×24	油彩、画布	1面
50	小林 千古		佛、伊風景小スケッチ	明治33~34頃 (1900~1901頃)	17.8×11.9	油彩、画布	1面
51	小林 千古		佛、伊風景小スケッチ	明治33~34頃 (1900~1901頃)	17.8×11.9	油彩、板	1面
52	内島 暁園	1874(明治7)年-1917(大正6)年	異国人物図		199.1×142.0	絹本彩色	1面
53	ヨムート族 トルクメン人		背飾り(アシク)	1903/04 (ヒジュラ暦1321)	高23.0	銀、鍍金、カーネリアン	1枚
54	テケ族 トルクメン人		未婚女性用帽子飾り(グツバ)	1905/06 (ヒジュラ暦1323)	高7.5	銀、鍍金、カーネリアン	1点
55	ヨムート族 トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	1906/07 (ヒジュラ暦1324)	高7.0	銀、鍍金、カーネリアン	1対
56	ヨムート族 トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	1906/07 (ヒジュラ暦1324)	高7.0	銀、鍍金、カーネリアン	1対
57	南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	英国農夫の顔	明治40(1907)	45.5×33.4	油彩、画布	1面
58	南 薫造		ロンドンの屋根	明治40(1907)	48.4×33.3	水彩、紙	1面 前期
59	南 薫造		ロンドン河畔	明治41(1908)	73.5×91.3	油彩、画布	1面
60	南 薫造		坐せる女	明治41(1908)	112.1×83.3	油彩、画布	1面
61	ヨムート族 トルクメン人		腕飾り(ビレジク)	1908 (ヒジュラ暦1326)	高8.7	銀、鍍金、カーネリアン	1対
62	南 薫造	1883(明治16)年-1950(昭和25)年	うしろむき	明治42(1909)	53.0×36.4	水彩、紙	1面 後期
63	ヨムート族 トルクメン人		背飾り(アシク)	1909/10 (ヒジュラ暦1327)	高23.5	銀、鍍金、カーネリアン	1枚
64	サルイク族 トルクメン人		胸飾り	1909/10 (ヒジュラ暦1327)	高22.5、幅14.5	銀、カーネリアン	1枚
65	ヨムート族 トルクメン人		背飾り(アシク)	1911 (ヒジュラ暦1330)	高9.7、幅5.8	銀、カーネリアン	1枚
66	六角 紫水	1867(慶応3)年-1950(昭和25)年	蒔絵草花図菓子銘々盆	明治44(1911)	高1.0 縦13.5 横14.6	木 漆 貝 蒔絵 螺鈿	10枚1組
67	ヨムート族 トルクメン人		背飾り(アシク)	1912/13 (ヒジュラ暦1331)	高21.0、幅15.0	銀、鍍金、カーネリアン	1枚
68	ヨムート族 トルクメン人		背飾り(アシク)	1915/16 (ヒジュラ暦1334)	高21.5、幅14.5	銀、鍍金、カーネリアン	1枚
69	土田 麦僊	1887(明治20)年-1936(昭和11)年	雨後図	大正5(1916)	114.5×36.5	絹本彩色	1面 前期
70	テケ族 トルクメン人		護符入れ(トゥマル)	1916/17 (ヒジュラ暦1335)	幅39.5	銀、鍍金、カーネリアン	1点
71	カジミール・マレーヴィチ	1878年-1935年	シュプレマティスムの素描 (二つの正方形)	1916~17	16.2×11.0	鉛筆、紙	1面
72	吉田 博	1876(明治9)年-1950(昭和25)年	瀬戸内海集「帆船 朝」	大正15(1926)	50.0×35.9	木版、紙	1面 前期
73	吉田 博		瀬戸内海集「帆船 霧」	大正15(1926)	50.9×36.0	木版、紙	1面 後期
74	吉田 博		瀬戸内海集「帆船 夕」	大正15(1926)	50.5×36.0	木版、紙	1面 前期
75	吉田 博		瀬戸内海集「帆船 夜」	大正15(1926)	50.8×36.1	木版、紙	1面 後期

第1期 (第3室・第4室)

ひろしま菓子博2013 (勝手に) 応援企画「和菓子の色彩」

和菓子の色彩～塩出英雄を中心に

平成25年4月17日(水)～7月7日(日)

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数
1	塩出 英雄	明治45(1912) - 平成13(2001)	双鳩	昭和11(1936)	168.5×186.5	紙本彩色・屏風	二曲一隻
2	塩出 英雄		婦女図	昭和21(1946)	各170.5×169.0	紙本彩色・屏風	二曲一双
3	塩出 英雄		清泉	昭和28(1953)	231.1×189.6	紙本彩色・屏風	二曲一隻
4	塩出 英雄		草庵	昭和39(1964)	178.2×223.0	紙本彩色・額装	1面
5	塩出 英雄		石組	昭和42(1967)	61.0×81.0	紙本彩色・額装	1面
6	塩出 英雄		春山	昭和44(1969)	176.0×242.0	紙本彩色・額装	1面
7	塩出 英雄		山峯	昭和46(1971)	173.4×243.2	紙本彩色・屏風	二曲一隻
8	塩出 英雄		亭橋	昭和50(1975)	174.4×242.4	紙本彩色・屏風	二曲一隻
9	塩出 英雄		層嶺	昭和53(1978)	182.0×243.0	紙本彩色・屏風	二曲一隻
10	塩出 英雄		宝満山		52.0×71.5	紙本彩色・額装	1面
11	金島 桂華	明治25(1892) - 昭和49(1974)	牡丹	昭和23(1948)	各163.0×171.0	紙本彩色・屏風	二曲一双
12	児玉 希望	明治31(1898) - 昭和46(1971)	春のパンガロー	昭和29(1954)	65.0×87.0	絹本彩色・額装	1面
13	黒光 茂樹	明治42(1909) - 平成15(2003)	青桐	昭和28(1953)	206.0×168.0	紙本彩色・額装	1面
14	奥田 元宋	明治45(1912) - 平成5(1993)	青山白雲	昭和62(1987)	180.3×122.4	紙本彩色・額装	1面
15	平山 郁夫	昭和5(1930) - 平成21(2009)	浅春	昭和30(1955)	181.0×200.0	紙本彩色・額装	1面

食べ物のある情景

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数
16	田中 頼璋	慶応2(1912) - 昭和15(1940)	庭園	明治41(1908)	128.0×56.0	絹本彩色・軸装	1幅
17	小林 千古	明治3(1870) - 明治44(1911)	静物	明治33(1900) - 34(1901)頃	23.3×32.5	油彩・板	1面
18	小林 千古		やし(静物)	明治26(1893)	34.0×44.0	油彩・画布	1面
19	南 薫造	明治16(1883) - 昭和44(1911)	ピアノ	大正10(1921)	103.0×83.1	油彩・画布	1面
20	南 薫造		蒲刈島風景	昭和24(1949)	38.0×45.5	油彩・画布	1面
21	小林徳三郎	明治17(1884) - 昭和24(1949)	西瓜	昭和7(1932)	45.5×53.0	油彩・画布	1面
22	川口 軌外	明治25(1892) - 昭和41(1966)	静物	昭和12(1937)	41.9×53.0	油彩・画布	1面
23	橋本 千代	明治27(1894) - 昭和42(1967)	静物	昭和10(1935)	60.4×72.5	油彩・画布	1面
24	児玉 希望	明治31(1898) - 昭和46(1971)	静物(卓上のりんご)	昭和27(1952)	58.0×51.0	絹本彩色・額装	1面
25	和高 節二	明治31(1898) - 平成2(1990)	お正月(蓬餅)		41.4×62.0	紙本彩色・額装	1面
26	和高 節二		ぶどう		33.7×45.5	紙本彩色・額装	1面
27	和高 節二		茄子		41.7×53.2	紙本彩色・額装	1面
28	中谷ミユキ	明治33(1900) - 昭和52(1977)	うど	昭和9(1934)	91.0×117.0	油彩・画布	1面
29	中谷ミユキ		花と果実	昭和44(1969)	60.6×72.7	油彩・画布	1面
30	中谷ミユキ		パパイヤ	昭和50(1975)頃	60.6×72.7	油彩・画布	1面
31	山路 商	明治36(1903) - 昭和19(1944)	柿	昭和18(1943)	22.0×31.0	油彩・画布	1面
32	永田 一脩	明治36(1903) - 昭和63(1988)	静物	大正14(1925)	45.5×53.0	油彩・画布・コラージュ	1面
33	新海 覚雄	明治37(1904) - 昭和43(1968)	抽象	大正13(1924)	37.0×65.0	油彩・画布	1面
34	檜山 武夫	明治39(1906) - 昭和7(1932)	果物		23.9×33.1	油彩・ボード	1面
35	巖 光	明治40(1907) - 昭和21(1946)	静物(柿)	昭和18(1943)	31.8×41.0	油彩・画布	1面
36	巖 光		魚(ひもの)	昭和18(1943)	38.0×45.3	油彩・画布	1面
37	土屋 幸夫	明治44(1911) - 平成8(1996)	果てしなき餐食	昭和13(1938)	37.9×45.5	油彩・画布	1面
38	岡部 繁夫	明治45(1912) - 昭和44(1969)	卓上静物	昭和12(1937)	73.0×91.0	油彩・画布	1面
39	寺田 政明	明治45(1912) - 平成元(1989)	月光によりて	昭和18(1943)	31.8×40.9	油彩・板	1面
40	寺田 政明		さかな(悲哀)	昭和18(1943)	53.1×33.9	油彩・板	1面
41	高橋 秀	昭和5(1930) -	かにかのある静物	昭和35(1960)	110.0×134.0	油彩・画布	1面
42	今井 政之	昭和5(1930) -	象嵌彩窯変磯蟹大皿	昭和60(1985)	径60.5×高8.7	陶器	1点
43	今井 政之		象嵌赫窯瀬戸の幸大皿	平成10(1998)	径73.5×高8.0	陶器	1点
44	(インド)		ペイズリー文更紗	19～20世紀	217.0×129.0	木綿・木版	1枚

## お菓子や食べ物の器

No	作者	生没年	作品名	制作年	法量	材質等	員数
45	三代 金城一國齋	文政12(1829) - 大正4 (1915)	獅子牡丹高盛絵菓子器	明治19(1886)	19.0×19.0×高16.5	漆、堆彩漆、高盛絵	1合
46	三代 金城一國齋		牡丹高盛絵丸盆	明治29(1896)	径24.0	漆、高盛絵	1点
47	三代 金城一國齋		菊雲鶴文食籠	明治35(1902)	径22.3×高13.7	漆、高盛絵	1合
48	三代 金城一國齋		白蓮花に蝶高盛絵角盆	明治38(1905)	35.5×高35.5	漆、高盛絵	1点
49	三代 金城一國齋		高盛絵小型弁当重箱	明治44(1911)	10.2×10.2×高20.0	漆、高盛絵	1点
50	三代 金城一國齋		獅子に牡丹高盛絵菓子器	明治45(1912)	径20.5	漆、高盛絵	1合
51	三代 金城一國齋		ざくろ高盛絵菓子箱	大正2 (1913)	5.4×6.7×高2.5	漆、高盛絵	1合
52	三代 金城一國齋		堆彩漆草花図四方膳	大正3 (1914)	38.5×38.5×高3.5	漆、高盛絵	10点
53	六角 紫水		螺鈿入梨地蒔絵会席家具	大正8 (1919)	本膳36.7×36.6×18.2	漆	1式
54	河井寛次郎	明治23(1890) - 昭和41(1966)	青葉菱花食籠		18×18×高15.6	陶器	1合
55	河井寛次郎		玉手食籠		16.3×16.3×高13.5	陶器	1合
56	河井寛次郎		辰砂花碗	昭和24(1949)	口径15.1×高8.7	陶器	1口
57	河井寛次郎		呉須花碗		口径13.7×高8.7	陶器	1口
58	河井寛次郎		鉄辰砂盃		各口径5.5×高5.1	陶器	3口

## 和菓子につながる色や形 工芸篇

No	作者	生没年	作品名	制作年	法量	材質等	員数
59	河井寛次郎	明治23(1890) - 昭和41(1966)	赤盒子		径5.8×高4.2	磁器	1合
60	河井寛次郎		青磁瓜形盒子		径10.4×高9.4	磁器	1合
61	河井寛次郎		青磁桃子鉗	大正12(1923)	口径9.5×高10.8	磁器	1口
62	河井寛次郎		色絵梅花図蓋物		10.7×10.7×9.6	陶器	1合
63	黒田 辰秋	明治37(1904) - 昭和57(1982)	朱塗円座卓		径84.0×高30.0	木、漆	1台
64	門田 篁玉	大正5 (1916) -	連作「蕾」	昭和50(1975)	径57.5×高28.4	竹	1点

第2期 (第4室)

美術館のこども部屋ver.1「ケンビの宝物。名作って何だろう？」

会期 9月5日(木)～12月25日(水)

前期 9月5日(木)～11月4日(月)

後期 11月5日(火)～12月25日(水)

名作ができるまでって見たことある？

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
1	菅井 汲	1919-1996	無題		80.0×60.0	油彩またはアクリル・画布	1面	
2	菅井 汲		《無題》の設計図Ⅰ		65.0×50.0	鉛筆・紙	1面	
3	菅井 汲		《無題》の設計図Ⅱ		60.0×50.0	鉛筆・マジックインク・紙	1面	
4	菅井 汲		星座Ⅰ～Ⅵ	昭和50(1975)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙		前期
4	菅井 汲		星座Ⅶ～Ⅻ	昭和50(1975)	59.5×60.0	シルクスクリーン・紙		後期
5	宮永 理吉	1935-	天空の森	平成9(1997)	高64 47.5×18.5	磁器	1点	
6	宮永 理吉		天空の森型紙	平成9(1997)		紙	一式	
7	ジュリオ・ゴンザレス	1876-1942	人物(鏡の前の女)	1934	高さ51.5	ブロンズ	1点	
8	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女の習作Ⅰ	1937	33×24	インク・鉛筆・紙	1面	
9	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女の習作Ⅱ	1937	31×22	インク・パステル・鉛筆・紙	1面	
10	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女Ⅰ	1936	24×12	インク・パステル・紙	1面	
11	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女Ⅲ	1936-38	22×14	インク・パステル・鉛筆・紙	1面	
12	ジュリオ・ゴンザレス		鏡の前の女Ⅳ	1937	21×16	インク・鉛筆・紙	1面	

宝物の箱ってどんな箱？

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
13			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1 軀	
14			伊万里柿右衛門様式色絵馬	江戸時代17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1 軀	
15			《伊万里柿右衛門様式色絵馬》の箱				一式	
16			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)	江戸時代17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1口	
17			重要文化財《伊万里色絵花卉文輪花鉢(柿右衛門様式)》の箱				一式	
18	八木 一夫	1918-1979	扁壺	昭和42(1967)	高26.3	陶器	1口	
19			《扁壺》の箱				一式	
20	丸木 スマ	1875-1956	動物	昭和27(1952)	90.0×94.0	紙本彩色	1面	
31			《動物》の箱				一式	

名作って何だろう？

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
21	丸木 位里	1901-1995	ラクダ	昭和13(1938)	171.0×183.0	紙本彩色	二曲一隻	
22	奥田 元宋	1912-2003	秋巒真如	昭和52(1977)	156.5×197.5	紙本彩色	1面	
23	寺田 政明	1912-1989	二つの道	昭和29(1954)	116.9×91.2	油彩・画布	1面	
24	鬮 光	1907-1946	帽子をかむる自画像	昭和18(1943)	60.0×50.0	油彩・画布	1面	
25	鬮 光		コミサ(洋傘による少女)	昭和4(1929)	80.0×65.0	油彩・画布	1面	
26	小林 千古	1870-1911	静物	明治33-34頃(1900-01頃)	23.3×32.5	油彩・板	1面	
27	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いたち	1942	54.0×73.0	油彩・画布	1面	
28	パウル・クレー	1879-1940	ある音楽家のための楽譜	1924	25.7×31.1	インク・水彩・紙	1面	前期
29	パウル・クレー		何で走っているのだろうか	1932	23.8×29.9	インク・エッチング・紙	1面	後期
30	クルト・シュヴィッターズ	1887-1948	メルツ394、ピナコテーク	1922	17.9×14.3	コラージュ・紙	1面	

第3期（彫刻展示スペース・第1室） 平成25年10月19日（土）～12月25日（水）

1 新収蔵・鯉江良二の“やきもの”たち

No	作者	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質など	員数	出品歴
1	鯉江 良二	昭和13・1938年-	ドカンオブジェ	昭和38・1963年	28.0×14.0×9.5	陶器	1点	
2	鯉江 良二		黒陶		15.5×18.0×18.0	黒陶	1点	
3	鯉江 良二		黒陶	昭和40・1965年	12.0×15.0×12.5	黒陶	2点	
					13.0×14.0×15.0			
4	鯉江 良二		マスク「土から顔もしくは顔から土」	昭和44・1969年	16.0×11.0×5.0	陶器	1面	第7回朝日陶芸展
5	鯉江 良二		マスク	昭和44・1969年	16.5×10.5×4.5	陶器	1面	第7回朝日陶芸展
6	鯉江 良二		面	昭和44・1969年	31.2×9.3×9.2	陶器	1点	
7	鯉江 良二		風上の器	昭和49・1974年	28.0×29.0×32.0	陶器	1点	第3回長三賞
8	鯉江 良二		ながい掛花入	昭和45・1970年頃	9.5×43.0×6.0	陶器	1点	
9	鯉江 良二		白面		3.5×15.0×35.0	陶器	1点	
10	鯉江 良二		偶		4.5×24.0×24.0	陶器	1点	
11	鯉江 良二		(チェルノブイリシリーズ)	平成元・1989-平成6・1994年	27.3×51.2×51.2	シェルベン	1点	
12	鯉江 良二		(チェルノブイリシリーズ)	平成元・1989-平成6・1994年	20.5×30.5×31.0	シェルベン	1点	
13	鯉江 良二		(チェルノブイリシリーズ)	平成元・1989-平成6・1994年	23.5×30.5×31.0	シェルベン	1点	
14	鯉江 良二		土の顔	昭和61・1986年	32.0×29.0×31.0	山土	1点	個展(1986)
15	鯉江 良二		土の顔	昭和61・1986年	14.0×28.0×31.0	山土	1点	個展(1986)
16	鯉江 良二		(土の顔)	昭和61・1986年	6.9×22.9×12.1	山土	1点	個展(1986)
17	鯉江 良二		(土の顔)	昭和61・1986年	21.0×28.0×28.5	山土	1点	個展(1986)
18	鯉江 良二		土の星座	昭和62・1987年	48.0×29.0×11.0	陶器	1点	個展(1987)
19	鯉江 良二		土の星座	昭和62・1987年	34.0×30.0×9.0	陶器	1点	個展(1987)
20	鯉江 良二		淘汰-井の頭	昭和63・1988年	31.0×24.0×25.0	井の頭の土	1点	個展(1988)
21	鯉江 良二		淘汰-井の頭	昭和63・1988年	23.0×30.0×31.0	井の頭の土	1点	個展(1988)
22	鯉江 良二		淘汰-井の頭	昭和63・1988年	22.0×22.5×23.0	井の頭の土	1点	個展(1988)
23	鯉江 良二		淘汰-井の頭	昭和63・1988年	23.0×25.0×28.0	井の頭の土	1点	個展(1988)
24	鯉江 良二		淘汰-井の頭	昭和63・1988年	20.0×31.0×27.0	井の頭の土	1点	個展(1988)
25	鯉江 良二		男のネック	平成2・1990年	3.0×21.8×29.8	樹脂	1点	個展(1990)
26	鯉江 良二		男のネック	平成2・1990年	2.2×12.7×13.2	樹脂	1点	個展(1990)
27	鯉江 良二		(石文)		17.6×35.4×30.2	揖斐石	1点	
28	鯉江 良二		(石文)		23.3×30.9×23.8	揖斐石	1点	
29	鯉江 良二		(ブラボール)	平成5・1993-平成6・1994年	18.1×20.4×19.3	陶器、針金、石	1点	
30	鯉江 良二		ブラボール	平成5・1993-平成6・1994年	33.0×35.0×30.2	陶器、針金、石	1点	
31	鯉江 良二		(スライラス)	昭和62・1987年	23.0×21.5×205.0	磁器	1点	個展(1987)
32	鯉江 良二		スライラス	昭和62・1987年	24.5×16.5×16.5	磁器	1点	個展(1987)
33	鯉江 良二		(白磁 石の船)	平成4・1992年	10.5×22.0×19.0	磁器	1点	二人展(1992)
34	鯉江 良二		(白磁 石の船)	平成4・1992年	18.5×36.0×15.0	磁器	1点	二人展(1992)
35	鯉江 良二		(茶盤オブジェ)		8.1×11.6×12.0	陶器	1点	
36	鯉江 良二		マンガン土化粧盤		1.5×31.5×43.0	陶器、マンガン土	1枚	
37	鯉江 良二		陶板(マンガン土)		1.5×29.5×41.5	陶器、マンガン土	1枚	
38	鯉江 良二		(陶板)		2.8×21.4×21.4	陶器	1枚	
39	鯉江 良二		(陶板)		2.3×19.3×20.4	陶器	1枚	
40	鯉江 良二		白磁盤		10.0×28.0×35.2	磁器	1脚	
41	鯉江 良二		白磁盤		17.0×34.0×33.0	磁器	1脚	
42	鯉江 良二		(白磁盤)		21.8×34.8×30.5	磁器	1脚	
43	鯉江 良二		(オリベ盤)		12.7×43.5×36.5	陶器	1脚	
44	鯉江 良二		(オリベ盤)		10.5×38.5×41.2	陶器	1脚	
45	鯉江 良二		(オリベ盤)	平成元・1989年	9.6×31.5×25.5	陶器	1脚	
46	鯉江 良二		盤	平成2・1990年	6.0×29.2×28.2	陶器	1脚	
47	鯉江 良二		盤	平成2・1990年	7.0×31.0×32.0	陶器	1脚	
48	鯉江 良二		英国手盤	平成3・1991年	8.0×36.0×36.0	陶器	1脚	
49	鯉江 良二		(盤)	平成10・1998年	4.7×26.2×33.7	陶器	1脚	
50	鯉江 良二		(盤)	平成10・1998年	4.8×26.6×34.7	陶器	1脚	
51	鯉江 良二		(D盤)		6.0×22.0×44.0	陶器	1点	
52	鯉江 良二		米盤	平成11・1999年	11.5×52.0×42.0	陶器	1脚	
53	鯉江 良二		電車の皿		3.9×16.5×12ほか	陶器	11枚	

No	作者	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質など	員数	出品歴
54	鯉江 良二		白鉢		4.4×13.0×13.3	陶器	1口	
55	鯉江 良二		線画鉢		7.0×25.0×26.0	陶器	1口	
56	鯉江 良二		オリベ鉢		9.7×24.7×25.7	陶器	1口	
57	鯉江 良二		オリベ鉢		4.3×24.8×25.0	陶器	1口	
58	鯉江 良二		鉄釉鉢		6.5×20.5×21.0	陶器	1口	
59	鯉江 良二		(鉢)		10.3×22.0×21.6	陶器	1口	
60	鯉江 良二		(白磁鉢)		8.0×25.2×24.7	磁器	1口	
61	鯉江 良二		鉢	平成2・1990年	13.0×39.0×40.0	陶器	1口	
62	鯉江 良二		信楽鉢		7.5×23.2×23.5	陶器	1口	
63	鯉江 良二		紅葉手鉢		12.0×21.2×18.4	陶器	1点	(CERAMICS'92)
64	鯉江 良二		紅葉手鉢		11.7×17.1×16.6	陶器	1点	(CERAMICA'92)
65	鯉江 良二		紅葉手鉢		10.1×18.0×20.5	陶器	1点	(CERAMICA'92)
66	鯉江 良二		カタルニアわん		12.8×18.8×18.4	陶器	1口	
67	鯉江 良二		自然釉壺		23.0×20.5×21.0	陶器	1口	
68	鯉江 良二		器	平成元・1989年	21.8×19.0×19.2	陶器	1口	
69	鯉江 良二		設楽手の壺		23.0×25.0×25.0	陶器	1口	
70	鯉江 良二		(壺)		14.9×19.0×19.4	陶器	1口	
71	鯉江 良二		白磁壺		19.3×15.2×15.5	磁器	1口	
72	鯉江 良二		白磁壺		22.1×15.2×15.7	磁器	1口	
73	鯉江 良二		設楽手つば	平成元・1989年	12.7×15.7×15.5	陶器	1口	
74	鯉江 良二		器	平成2・1990年	16.2×20.5×19.4	陶器	1口	
75	鯉江 良二		器	平成2・1990年	19.8×18.3×18.3	陶器	1口	
76	鯉江 良二		斑壺		14.1×21.2×21.4	陶器	1口	
77	鯉江 良二		オリベ大壺	平成6・1994年	42.0×33.0×33.0	陶器	1口	
78	鯉江 良二		韓国手壺	平成8・1996年	25.5×25.0×25.5	陶器	1口	
79	鯉江 良二		象嵌壺		23.5×23.0×23.5	陶器	1口	
80	鯉江 良二		韓国手壺		21.5×17.5×17.5	陶器	1口	
81	鯉江 良二		鉄絵大壺		31.0×24.0×24.0	陶器	1口	
82	鯉江 良二		米国手大壺		30.0×25.5×26.5	陶器	1口	
83	鯉江 良二		米国手壺		27.7×19.8×20.5	陶器	1口	
84	鯉江 良二		焼メ大壺		38.5×39.5×38.0	陶器	1口	
85	鯉江 良二		焼メ大壺		38.0×40.0×38.5	陶器	1口	
86	鯉江 良二		信楽手壺		24.7×12.7×13.0	陶器	1口	
87	鯉江 良二		信楽手壺		20.3×15.7×15.8	陶器	1口	
88	鯉江 良二		信楽手壺		20.5×14.2×14.5	陶器	1口	
89	鯉江 良二		(壺)		19.4×16.7×16.4	陶器	1口	
90	鯉江 良二		(引出し黒壺)		21.1×20.0×25.5	陶器	1口	
91	鯉江 良二		(引出し黒壺)		22.9×23.0×23.0	陶器	1口	
92	鯉江 良二		(引出し黒壺)		20.7×20.8×21.5	陶器	1口	
93	鯉江 良二		(VESSEL)	平成18・2006年	36.3×41.0×40.5	陶器	1口	
94	鯉江 良二		(VESSEL)	平成18・2006年	24.1×24.5×21.2	陶器	1口	
95	鯉江 良二		線文角器	昭和45・1970年	14.3×13.5×14.0	陶器	1口	
96	鯉江 良二		ガラス釉花器		16.0×19.1×19.1	陶器	1口	
97	鯉江 良二		ガラス釉花器		16.0×18.5×18.5	陶器	1口	
98	鯉江 良二		ガラス釉花器		16.5×18.0×18.0	陶器	1口	
99	鯉江 良二		ガラス釉花器		16.5×18.0×18.2	陶器	1口	
100	鯉江 良二		線文コンポート		23.1×16.7×16.9	陶器	1口	
101	鯉江 良二		流線文一輪生	昭和45・1970年	10.6×11.0×11.0	陶器	1口	
102	鯉江 良二		天竺手自然釉花入	昭和50・1975年	23.0×14.0×14.5	陶器	1口	
103	鯉江 良二		自然釉花入		31.0×13.5×13.5	陶器	1口	
104	鯉江 良二		白花入		28.0×10.5×12.0	陶器	1口	
105	鯉江 良二		花入		26.0×14.3×15.3	陶器	1口	
106	鯉江 良二		(オリベ花入)		18.9×7.7×7.7	陶器	1口	
107	鯉江 良二		焼メ花入		31.5×19.0×20.0	陶器	1口	
108	鯉江 良二		(焼メ花入)		26.2×17.2×18.8	陶器	1口	
109	鯉江 良二		重田良一総付 九谷手鯉江良二 染付雲月文生ケ甕	平成3・1991年	30.0×17.5×18.5	磁器	1口	

No	作者	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質など	員数	出品歴
110	鯉江 良二		オリベ花入		22.8×12.5×11.5	陶器	1口	
111	鯉江 良二		(オリベ花入)		15.5×10.1×10.4	陶器	1口	
112	鯉江 良二		(カタロニア花入)	平成2・1990年	25.8×16.5×16.6	陶器	1口	
113	鯉江 良二		(花入)		25.8×9.0×9.0	陶器	1口	
114	鯉江 良二		焼メ花入		25.5×12.3×12.4	陶器	1口	
115	鯉江 良二		ゆのみ		5.7×6.7×6.7	陶器	1口	
116	鯉江 良二		ゆのみ		6.5×7.1×7.1	陶器	1口	
117	鯉江 良二		ころり	1980年代初期	9.3×7.8×8.5	陶器	1口	
118	鯉江 良二		ころり	1980年代初期	5.6×8.3×8.5	陶器	1口	
119	鯉江 良二		ゆのみ		9.2×8.1×7.9	陶器	1口	
120	鯉江 良二		ゆのみ		9.0×7.2×7.2	陶器	1口	
121	鯉江 良二		赤絵注器		8.5×14.0×13.5	陶器	1口	
122	鯉江 良二		(急須)		8.3×12.8×14.1	陶器	1口	
123	鯉江 良二		灰器		6.0×13.0×13.2	陶器	1口	
124	鯉江 良二		ドロマイト釉灰器	昭和42・1967年 陶研	6.3×13.6×13.5	陶器	1口	
125	鯉江 良二		灰器		6.4×12.7×12.9	陶器	1口	
126	鯉江 良二		マンガン土ボール	昭和45・1970年	9.8×13.5×13.5	陶器、マンガン土	1口	
127	鯉江 良二		ドロマイト釉ボール		7.8×14.9×13.8	陶器	1口	
128	鯉江 良二		天竺手自然釉ぐいのみ		2.2×6.4×6.7	陶器	1口	
129	鯉江 良二		ぐいのみ		4.4×7.4×6.8	陶器	1口	
130	鯉江 良二		(長石釉ぐいのみ)		5.9×6.8×7.0	陶器	1口	
131	鯉江 良二		(ぐいのみ)		4.8×5.8×4.9	陶器	1口	
132	鯉江 良二		ぐいのみ		6.2×8.6×8.6	陶器	1口	
133	鯉江 良二		ぐいのみ		5.7×7.2×7.3	陶器	1口	
134	鯉江 良二		ぐいのみ		5.1×7.1×7.2	陶器	1口	
135	鯉江 良二		白いとくり		16.3×9.0×9.0	陶器	1口	
136	鯉江 良二		(とくり)		17.0×7.7×7.7	陶器	1口	
137	鯉江 良二		(とくり)		14.0×8.6×8.6	陶器	1口	
138	鯉江 良二		(とくり)		19.3×9.2×9.2	陶器	1口	
139	鯉江 良二		織部水指	平成4・1992年	13.9×15.4×14.2	陶器	1口	
140	鯉江 良二		米国手水指		21.0×21.5×21.5	陶器	1口	
141	鯉江 良二		平茶盃		6.0×15.5×16.5	陶器	1口	
142	鯉江 良二		(オリベ茶盃)		7.6×16.7×16.5	陶器	1口	
143	鯉江 良二		鉄絵茶盃		9.5×12.0×12.5	陶器	1口	
144	鯉江 良二		貝釉茶盃		9.8×15.0×15.2	陶器	1口	
145	鯉江 良二		貝釉引出し茶盃	平成元・1989年4月1日	8.5×13.0×13.5	陶器	1口	
146	鯉江 良二		キセト茶盃		9.0×11.5×11.5	陶器	1口	
147	鯉江 良二		皮鯨手茶盃		8.0×13.6×14.6	陶器	1口	
148	鯉江 良二		しの茶碗		10.5×11.0×11.8	陶器	1口	
149	鯉江 良二		鉄しの茶盃		10.0×10.6×11.5	陶器	1口	
150	鯉江 良二		茶盃		9.0×11.8×13.7	陶器	1口	
151	鯉江 良二		(茶盃)		7.2×12.9×13.4	陶器	1口	
152	鯉江 良二		茶盃		9.8×13.0×13.2	陶器	1口	
153	鯉江 良二		(茶盃)		9.6×12.3×12.7	陶器	1口	
154	鯉江 良二		韓国手茶盃	平成8・1996年	9.0×15.9×15.9	陶器	1口	
155	鯉江 良二		(chawan)		9.0×15.0×17.0	陶器	1口	
156	鯉江 良二		(chawan)		9.4×14.3×14.2	陶器	1口	
157	鯉江 良二		(chawan)		10.0×13.7×12.6	陶器	1口	
158	鯉江 良二		(chawan)		9.8×17.5×15.1	陶器	1口	
159	鯉江 良二		茶盃コルドバ		6.4×14.3×15.5	陶器	1口	
160	鯉江 良二		コルトバPEP茶盃		9.4×12.1×12.4	陶器	1口	
161	鯉江 良二		(茶盃)	平成21・2009年	9.2×12.4×12.4	陶器	1口	
162	鯉江 良二		(茶盃)	平成21・2009年	8.2×11.8×11.8	陶器	1口	
163	鯉江 良二		MASK OF OLOT	平成2・1990年	7.2×25.2×17.9	ブロンズ、鑄造	1面	
164	鯉江 良二		(MASK OF OLOT)	平成2・1990年	7.2×25.5×17.9	ブロンズ、鑄造	1面	
165	鯉江 良二		ALUMI-AKUOT	平成10・1998年	19.3×45.8×33.1	アルミ、鑄造	1点	個展(1999)

No	作者	生没年	作品名	制作年	大きさ (cm)	材質など	員数	出品歴
166	鯉江 良二		ALUMI-AKUOT	平成10・1998年	19.8×43.5×40.5	アルミ、鋳造	1点	個展(1999)
167	鯉江 良二		ALUMI-AKUOT	平成10・1998年	19.7×26.3×25.4	アルミ、鋳造	1点	個展(1999)
168	鯉江 良二		(ぐいのみ)		9.6×6.8×7.2	ガラス、鋳造	1口	
169	鯉江 良二		MASK	平成2・1990年	8.5×17.0×20.5	ガラス、鋳造	1面	
170	鯉江 良二		Glass	平成2・1990年	17.7×22.7×13.7	ガラス、鋳造	1点	
171	鯉江 良二		スワガラス		23.8×20.5×24.9	ガラス、鋳造	1点	
172	鯉江 良二		スワガラス		6.1×35.9×37.5	ガラス、鋳造	1枚	
173	鯉江 良二		(盆)		3.2×33.5×33.5	木、墨	1枚	
174	鯉江 良二		泥ing		65.0×95.0	紙、腐葉土	1面	
175	鯉江 良二		良良良良		45.0×88.5	紙、墨	1面	
176	鯉江 良二		めがさめて (略)	昭和60・1985年12月9日AM6時	46.7×81.5	紙、墨	1面	
177	鯉江 良二		アウト・セーフ	昭和62・1987年	62.4×92.0	紙、墨	1面	
178	鯉江 良二		左手に大月/低い赤い月の/心	平成2・1990年3月5日	100.4×63.2	紙、墨	1面	
179	鯉江 良二		ウキクロ/もしくは/オモリ (略)	平成2・1990年4月11日	99.2×60.1	紙、墨	1面	

### 第3期 (第2室) 平成25年10月19日(土)～12月25日(水)

#### 2 日本洋画の新収蔵品/フランスで学び、活躍した作家たち

No	作者	生没年	作品名	制作年	大きさ (cm)	材質など	員数	出品歴
1	フランシス・ピカビア	1879～1953	アンピトリテ	1935年頃	92.0×73.5	油彩・画布	1面	
2	南 薫造	明治16・1883～昭和25・1950	菊	大正3・1914年	32.4×23.4	油彩・キャンバスボード	1面	
3	南 薫造		窓辺の女	大正4・1915年	60.5×45.0	油彩・画布	1面	
4	南 薫造		りんご	大正5・1916年頃	33.3×45.4	油彩・画布	1面	
5	和田 三造	明治16・1883～昭和42・1967	風景 (パリ)	明治42～大正4・1909～15年頃	62.5×37.5	油彩・画布	1面	
6	藤田 嗣治	明治19・1886～昭和43・1968	婦人像 (リオ)	昭和7・1932年	81.2×65.0	油彩・画布	1面	藤田嗣治追悼展(1968)
7	ジャン(ハンス)・アルプ	1887～1966	目覚め	1938年(1983年鋳造)	高さ47.5	ブロンズ	1点	
8	黒田重太郎	明治20・1887～昭和45・1970	風景	大正10～12・1921～23年頃	37.9×45.5	油彩・画布	1面	
9	児島善三郎	明治26・1893～昭和37・1962	真珠の首飾り	大正14～昭和3・1925～28年頃	50.5×44.5	油彩・画布	1面	
10	若山 為三	明治26・1893～昭和36・1961	習作	大正11・1922年	80.1×60.5	油彩・画布	1面	
11	田中 万吉	明治28・1895～昭和20・1945	サントロッセの漁港	大正13～昭和2・1924～27年頃	65.0×81.0	油彩・画布	1面	
12	田中 万吉		曇り日	大正13～昭和2・1924～27年頃	37.0×45.5	油彩・厚紙	1面	
13	里見 勝蔵	明治28・1895～昭和56・1981	娘の化粧	昭和3・1928年	80.3×65.2	油彩・画布	1面	第15回二科展
14	山路 商	明治36・1903～昭和19・1944	母の像	昭和2・1927年頃	22.5×31.4	鉛筆・紙	1面	
15	山路 商		自画像		38.6×27.2	鉛筆・紙	1面	
16	山路 商		自画像	昭和17・1942年	26.0×19.2	油彩・板	1面	
17	山路 商		自画像	昭和18・1943年頃	31.7×22.8	油彩・紙	1面	
18	野田 信	明治37・1904～昭和27・1952	本川橋	昭和6・1931年	33.3×45.4	油彩・板	1面	
19	サルバドール・ダリ	1904～1989	ヴィーナスの夢	1939年	243.8×487.6	油彩・画布	1面	
20	矢橋 六郎	明治38・1905～昭和63・1988	サン・ジャネット	昭和7・1932年	65.5×81.0	油彩・画布	1面	
21	村井 正誠	明治38・1905～平成11・1999	スエズの朝	昭和7・1932年	46.0×55.0	油彩・画布	1面	個展(1934)
22	木村 武男	明治43・1910～昭和60・1985	山路商の像	昭和37・1962年	35.3×27.2	鉛筆・紙	1面	
23	寺田 政明	明治45・1912～平成元・1989	生と死の凝視 (下絵)	昭和25・1950年頃	21.6×30.9	インク・水彩・紙	1面	
24	寺田 政明		生と死の凝視	昭和25・1950年	91.3×116.5	油彩・画布	1面	第14回自由美術展
25	菅井 汲	大正8・1919～平成8・1996	V6	昭和54・1979年	230.0×200.0	アクリル・画布	1面	
26	菅井 汲		V10	昭和55・1980年	200.0×200.0	アクリル・画布	1面	
27	菅井 汲		VARIATION (ヴァリアシオン)	昭和55・1980年	94.5×65.3	アクリル・画布	1面	

第3期 (第3室)

平成25年10月19日(土)～12月25日(水)

前期 10月19日(土)～11月24日(日)

後期 11月25日(火)～12月25日(水)

3 近世絵画と日本画の新収蔵作品／日本画に描かれたアジアの歴史と文化

No	作者	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質など	員数	出品歴	展示期間
1	不詳		花鳥図	桃山～江戸時代	151.0×348.0	紙本彩色・屏風	六曲一隻		前期
2	不詳		唐子遊び図	江戸時代	各113.5×375.5	絹本彩色・屏風	六曲一双		後期
3	不詳		巖鳥図	江戸時代	151.0×334.0	紙本金地彩色・屏風	六曲一隻		後期
4	不詳		巖鳥・鞍馬図	江戸時代	各153.5×340.0	紙本彩色・屏風	六曲一双		前期
5	望月 玉蟾	元禄5・1692～宝暦5・1755	松下猛虎図	江戸時代	117.0×55.2	絹本墨画・軸装	1幅		前期
6	望月 玉蟾		維摩居士之図	江戸時代	106.0×44.0	絹本墨画・軸装	1幅		後期
7	望月 玉蟾		九老図	江戸時代	116.2×43.4	絹本彩色・軸装	1幅		前期
8	宋 紫石	正徳5・1715～天明6・1786	岳陽樓図	江戸時代	121.0×48.8	絹本彩色・軸装	1幅		後期
9	宋 紫石		柳下白鷄図	明和6・1769年	112.6×44.5	絹本彩色・軸装	1幅		前期
10	曾我 蕭白	享保15・1730～天明元・1781	伯顔図	明和4・1767年頃	133.2×57.0	紙本墨画・軸装	1幅		
11	岡 岷山	享保19・1734～文化3・1806	仏法僧図	明和3・1766年	99.0×39.0	絹本彩色・軸装	1幅		後期
12	小倉 武駿	?～天保10・1839	花籠図	江戸時代	96.0×43.0	絹本彩色・軸装	1幅		前期
13	山野峻峯斎	天明4・1784～嘉永5・1852	蓬萊図	江戸時代	各97.0×36.0	絹本墨画淡彩・軸装	双幅		前期
14	望月 玉川	寛政6・1794～嘉永5・1852	芦雁図	江戸時代	73.7×44.0	絹本墨画淡彩・軸装	1幅		後期
15	塩川 文麟	享和元・1801～明治10・1877	峨眉山図	天保14・1843年	58.6×85.1	絹本彩色・軸装	1幅		後期
16	橋本 雅邦	天保6・1835～明治41・1908	風神雷神	明治28・1895年	各138.0×52.0	絹本彩色・軸装	双幅		後期
17	松本 楓湖	天保11・1840～大正12・1923	天照大神と須佐之男命	明治41・1908年	164.0×75.0	絹本彩色・軸装	1幅		前期
18	田村 宗立	弘化3・1846～大正7・1918	地獄図		147.0×72.0	絹本彩色・軸装	1幅		後期
19	田中 頼璋	明治元・1868～昭和15・1940	唐美人図		224.0×93.0	紙本彩色・軸装	1幅		前期
20	橋本 静水	明治9・1876～昭和18・1943	児童文殊図		137.5×71.5	絹本彩色・軸装	1幅		前期
21	橋本 静水		一休禪師		138.0×50.7	絹本彩色・軸装	1幅		後期
22	南 薫造	明治16・1883～昭和25・1950	富士	大正14・1925年頃	131.4×60.1	紙本墨画・軸装	1幅		
23	南 薫造		印度風景	大正9・1920年	53.0×68.0	紙本淡彩・軸装	1幅		前期
24	南 薫造		英国北モルトン村	明治41・1908年	112.1×42.0	絹本淡彩・軸装	1幅		前期
25	南 薫造		英国南モルトン村	明治41・1908年	124.0×32.0	紙本淡彩・軸装	1幅		後期
26	甲斐莊楠音	明治27・1894～昭和53・1978	横櫛	大正7・1918年	165.0×72.0	絹本彩色・額装	1面	第1回国画創作協会展	前期
27	福田 恵一	明治28・1895～昭和31・1956	千利休	昭和17・1942年頃	41.0×52.0	絹本彩色・軸装	1幅		後期
28	福田 恵一		イスパニアに寄る常長	大正12・1923年	111.3×115.8	絹本彩色・軸装	1幅	日本美術展	前期
29	児玉 希望	明治31・1898～昭和46・1971	景清	昭和17・1942年	各209.5×77.0	絹本彩色・額装	1面	第5回新文展	後期
30	児玉 希望		猿猴捉月	昭和8・1933年	255.0×105.0	絹本彩色・額装	1面	第14回帝展	前期
31	和高 節二	明治31・1898～平成2・1990	秋日和	昭和13・1938年	155.5×171.0	紙本彩色・屏風	二曲一隻	第1回現代美術展	後期
32	和高 節二		みやまの女	昭和4・1929年	221.5×228.6	紙本彩色・屏風	二曲一隻		前期
33	塩出 英雄	明治45・1912～平成13・2001	婦女図	昭和21・1946年	各170.5×169.0	紙本彩色・屏風	二曲一双	第31回院展	後期
34	船田 玉樹	大正元・1912～平成3・1991	牡丹	昭和22・1947年頃	40.0×50.0	絹本彩色・軸装	1幅		
35	船田 玉樹		春の鐘	昭和25・1950年	180.0×68.0	絹本彩色・額装	1面	第35回院展	後期
36	船田 玉樹		すすきの原の秋	昭和25・1950年	180.0×68.0	絹本彩色・額装	1面	ソ連における現代日本美術展	前期
37	船田 玉樹		雪の灯ともし頃	昭和25・1950年	180.0×68.0	絹本彩色・額装	1面	ソ連における現代日本美術展	後期
38	船田 玉樹		残照	昭和31・1956年	236.0×206.0	紙本彩色・額装	1面	第41回院展	後期
39	船田 玉樹		秋意	昭和32・1957年	207.0×161.0	紙本彩色・額装	1面	第42回院展	前期
40	山中 雪人	大正9・1920～平成15・2003	樹下黎明	昭和44・1969年	212.0×167.0	紙本彩色・額装	1面	第54回院展	後期
41	水谷 愛子	大正13・1924～平成17・2005	茶事	昭和55・1980年	167.2×211.7	紙本彩色・額装	1面	第65回院展	前期
42	平山 郁夫	昭和5・1930～平成21・2009	波斯黄堂旧址	昭和49・1974年	166.8×390.0	紙本彩色・額装	1面	第59回院展	

第4期（彫刻展示スペース～第4室）

大好きっ！ - 学芸員が愛する作品たち

会期 1月2日(木)～4月13日(日)  
 前期 1月2日(木)～2月23日(日)  
 後期 2月25日(火)～4月13日(日)

1 カタチ×タイトル。立体の妙味

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
1	ジャン(ハンス)・アルプ	1887-1966	目覚め	1938(1983年铸造)	高47.5	ブロンズ	1点		
2	アレクサンダー・コルダ	1898-1976	ヴァーティカル・ホワイト・フレーム	1936	高265.4	木、金属等	1点		
3	アレクサンダー・コルダ		無題	1968	56.0×79.0	グアッシュ・紙	1面		
4	バーバラ・ハップワース	1903-1975	ネステイング・ストーンズ	1937	高19	大理石	1点		
5	芥川 永	1915-1998	雲になった蛙	1975(昭和50)	高39.5	ブロンズ	1点		
6	芥川 永		カンタトリス (遠くの声3)	1984(昭和59)	高71	ブロンズ	1点		
7	荒木 高子	1921-2004	石の聖書 (黒)	1980(昭和55)	高16	陶	1点		
8	荒木 高子		石の聖書 (白)	1980(昭和55)	高21	陶	1点		
9	佐藤 敏	1936-	四角い月	1988(昭和63)	230×40 高15	陶、金属	1点		
10	佐藤 敏		南の少女	1978(昭和53)	高78	陶	1点		

2 西洋美術を「観るっ！」

新しい芸術のはじまり - 「観る」ということ

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
11	パウル・クレー	1879-1940	お金を数える老人	1929	29.7×23.7	インク・エッチング・紙・鍍	1面		
12	パウル・クレー		内なる光に照らされた聖人 (パウハウス版 新ヨーロッパ版画集第1集より)	1921	39.0×26.8	リトグラフ・紙	1面		
13	パウル・クレー		ホフマンの舞台 (パウハウス版 新ヨーロッパ版画集第1集より)	1921	39.0×26.8	リトグラフ・紙	1面		
14	エーリッヒ・ヘッケル	1883-1970	木彫のある静物	1913	70.5×60.7	油彩・画布	1面		
15	オスカー・シュレンマー	1888-1943	人物H2 (パウハウス版 新ヨーロッパ版画集第1集より)	1921	39.0×26.8	リトグラフ・紙	1面		
16	オスカー・シュレンマー		人物集合像K1 (パウハウス版 新ヨーロッパ版画集第1集より)	1921	39.0×26.8	リトグラフ・紙	1面		
17	マン・レイ	1890-1976	アトリエのマルセル・デュシャン	1920	35.7×26.0	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
18	マン・レイ		マルセル・デュシャンのアトリエ / 回転ガラス板	1920	26.7×22.6	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
19	マン・レイ		贈り物	1921	20.2×14.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
20	マン・レイ		ローズ・セラヴィ (マルセル・デュシャン)	1921	32.4×24.6	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
21	マン・レイ		チェスをするマルセル・デュシャンとラウル・ド・ルシー	1924	22.3×23.5	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
22	マン・レイ		解剖台の上でミシンとこうもり傘が偶然出会ったように美しい	1933	24.9×37.8	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
23	マン・レイ		シュルレアリスム展におけるサルバドール・ダリのオブジェ	1936	26.0×21.2	ゼラチン・シルバー・プリント	1面		
24	マックス・エルンスト	1891-1976	流行に栄あれ、芸術よ墜ちろ	1919	45.5×33.0	リトグラフ・紙	8面		
25	マックス・エルンスト		オイディプス I	1934(1992年铸造)	高さ62.0	ブロンズ	1点		
26	マックス・エルンスト		オイディプス II	1934(1992年铸造)	高さ66.0	ブロンズ	1点		

時代のかたち - シュルレアリスムの触感

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
27	ルネ・マグリット	1898-1967	人間嫌いだち	1942	54×73	油彩・画布	1面		
28	サルバドール・ダリ	1904-1989	ヴィーナスの夢	1939	243.8×487.6	油彩・画布	1面		
29	イサム・ノグチ	1904-1988	追想	1944(1983-84年铸造)	高さ125.7	ブロンズ	1点		

透明なる絵画、あるいは絵画にとって道とは何か

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
30	フランシス・ピカビア	1879-1953	アンピトリテ	1935頃	92×73.5	油彩・画布	1面		
31	マックス・エルンスト	1891-1976	博物誌	1926	43.0×26.0	インク・コロタイプ・紙	32面組のうち8面		
32	名井 萬亀	1896-1976	道	1956(昭和31)	197.0×100.0	油彩・画布	1面		
33	名井 萬亀		憩い	1970(昭和45)	72.6×52.6	油彩・画布	1面		
34	児玉 希望	1898-1971	道	1959(昭和34)	121.5×112.7	絹本墨画彩色・額装	1面	第2回新日展	

3 & 4 明治・大正期の広島洋画

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
35	小林 千古	1870-1911	やし(静物)	1893(明治26)	34.0×44.0	油彩・画布	1面		
36	小林 千古		自画像	1903-05(明治36-38)頃	67.5×58.0	油彩・画布	1面		
37	井上 完	1882-1928	母と娘	1920(大正9)	130.0×97.0	油彩・画布	1面		
38	南 薫造	1883-1950	ノースモルトン風景	1908(明治41)	61.0×76.5	油彩・画布	1面		
39	南 薫造		ピアノ	1921(大正10)	103.0×83.1	油彩・画布	1面	平和記念東京博覧会	
40	米山 利助	1885-1969	風景	1922(大正11)	109.0×78.0	油彩・画布	1面		
41	田中 万吉	1895-1945	川ととうもろこし畑	1916-20(大正5-9)頃	49.8×60.6	油彩・画布	1面		
42	大木 茂	1899-1979	早春	1923(大正12)	72.5×90.3	油彩・画布	1面		

3 巖光と交友の画家たち-作品にみる暗色の魅力

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
43	山路 商	1903-1944	T型定規のある静物	1932(昭和7)	87.0×69.0	油彩・画布	1面	第6回全関西展	
44	檜山 武夫	1906-1932	果物		23.9×33.1	油彩・ボード	1面		
45	巖 光	1907-1946	コミサ(洋傘による少女)	1929(昭和4)	80.0×65.0	油彩・画布	1面	第7回槐樹社展	
46	巖 光		屋根の見える風景	1929(昭和4)	50.6×63.8	油彩・画布	1面		
47	巖 光		花園の虫	1942頃(昭和17)	26.7×34.8	油彩・板	1面		
48	巖 光		帽子をかむる自画像	1943(昭和18)	60.0×50.0	油彩・画布	1面		
49	巖 光		風景	1944(昭和19)	41.0×52.5	油彩・画布	1面		
50	土屋 幸夫	1911-1996	果てしなき餐食	1938(昭和13)	37.9×45.5	油彩・画布	1面	創紀美術協会前哨展	
51	岡部 繁夫	1912-1969	卓上静物	1937(昭和12)	73.0×91.0	油彩・画布	1面	第23回広島県美術展	
52	河井寛次郎	1890-1966	赤盒子		径5.8 高4.2	磁器	1合		

4 二つの故郷を持つ作家

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
53	菅井 汲	1919-1996	DIABLE PARTANT POUR LA LUNE (月へ旅立つ鬼)	1963(昭和38)	162.0×130.2	アクリル・油彩・画布	1面		
54	菅井 汲		TAMBOUR(鼓手)	1993(平成5)	200.0×200.0	アクリル・画布	1面		
55	金光 松美	1922-1992	FRAGMENT	1958(昭和33)	152.8×152.8	油彩・画布	1面		
56	金光 松美		Mt.WHITNEY	1976(昭和51)	112.0×243.9	油彩・画布	1面		
57	高橋 秀	1930-	海	1963(昭和38)	90.0×72.7	ミクストメディア	1面		
58	高橋 秀		Nagaré	1969(昭和44)	60.0×60.0	ラッカー・画布	1面		
59	黒田 辰秋	1904-1982	朱沃地大名鎧飾篋	1982(昭和57)	高22.5 17.0×33.5	木・漆・螺鈿	1合		

5 海外の息吹き

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	出品歴・備考	展示期間
60			鯨皮張草花鳥獸蒔絵螺鈿大筆筒	桃山時代-江戸時代初期	高89.0 65.0×52.0	木・漆・鯨皮 蒔絵・螺鈿	1点		
61			草花蒔絵螺鈿書見台	桃山時代-江戸時代初期	高34.0 幅32.3	木・漆・蒔絵・螺鈿	1点		
62			西湖図	16世紀	各137.5×353.6	紙本墨画・屏風	六曲一双		前期
63			宮島図	江戸時代	各149.9×355.6	紙本彩色・屏風	六曲一双		後期
64			唐子遊び図	江戸時代	各113.5×269.8	絹本彩色・屏風	六曲一双		前期
65	望月 玉蟾	1692-1755	松下猛虎図	江戸時代	117.0×55.2	絹本墨画・軸装	1幅		後期
66	宋 紫石	1715-1786	柳下白鷄図	1769(明和6)	112.6×44.5	絹本彩色・軸装	1幅		後期
67	曾我 蕭白	1730-1781	伯顔図	1767(明和4)	133.2×57	絹本彩色・軸装	1幅		後期
68	小倉 武駿	1811-1881	花籠図	江戸時代	96.0×43.0	絹本彩色・軸装	1幅		後期
69	ライオネル・ファイニンガー	1871-1956	海辺の夕暮	1927	45.0×77.0	油彩・画布	1面		
70	ライオネル・ファイニンガー		パウハウス宣言書表紙	1919	30.5×18.5	木版・紙	1面		

## 6 思い出の作品たち - 広島の日画家編

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
71	橋本 静水	1876-1943	紅梅		150.1×55.0	絹本彩色・軸装	1 幅	
72	森谷南人子	1889-1981	初春閑村	1938(昭和13)	116.0×195.0	紙本彩色・額装	1 面	第2回新文展
73	金島 桂華	1895-1974	牡丹	1948(昭和23)	各163.0×171.0	紙本彩色・屏風	二曲一雙	第4回日展
74	福田 恵一	1895-1956	イスパニアに寄る常長	1923(大正12)	111.3×115.8	絹本彩色・軸装	1 幅	日本美術展
75	猪原 大華	1897-1980	池	1961(昭和36)	165.0×142.8	紙本彩色・額装	1 面	第4回新日展
76	児玉 希望	1898-1971	室内	1952(昭和27)	171.0×131.0	絹本彩色・額装	1 面	第8回日展
77	和高 節二	1898-1990	村の子供	1933(昭和8)	177.5×184.6	紙本彩色・屏風	二曲一雙	日本画会展
78	丸木 位里	1901-1995	池	1936(昭和11)	150.0×205.0	紙本彩色・屏風	二曲一雙	第8回青龍社展
79	塩出 英雄	1912-2001	宝満山	1968(昭和43)	52.0×71.5	紙本彩色・額装	1 面	第17回五都展
80	奥田 元宋	1912-2003	嶽	1959(昭和34)	110.0×210.0	紙本彩色・額装	1 面	第2回新日展
81	船田 玉樹	1912-1991	すすきの原の秋	1950(昭和25)	180.0×68.0	絹本彩色・額装	1 面	ソ連における現代日本美術展
82	平山 郁夫	1930-2009	巖島		44.0×49.0	紙本彩色・額装	1 面	
83	山路 商	1895-1944	男(眠れる)		72.5×61.0	画布油彩・額装	1 面	

## 7 古今東西つながる世界～ヒトとヒト・ヒトとモノ

世界中で大好き！ - 柿右衛門様式

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
84			重要文化財 伊万里色絵花卉文輪花鉢 (柿右衛門様式)	江戸時代17世紀後半	口径24.4 高11.5	磁器・色絵	1 口	
85			伊万里 柿右衛門様式 色絵馬	江戸時代17世紀後半	高44.3	磁器・色絵	1 軀	
86			伊万里 柿右衛門様式 色絵馬	江戸時代17世紀後半	高45.0	磁器・色絵	1 軀	

民芸がつかないだ経

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量(cm)	材質等	員数	展示期間
87	河井寛次郎	1890-1966	青磁観音菩薩像	1918(大正7)	高33.1 幅20.3 奥行15.1	青磁	1 体	前期
88	河井寛次郎		紅壺		8.7×10.1	磁器	1 合	
89	河井寛次郎		青磁瓜形盒子		10.4×9.4	青磁	1 合	
90	河井寛次郎		色絵梅花図蓋物		高9.8 一辺10.7	陶器・色絵	1 合	
91	河井寛次郎		黄釉流描き皿		高7.7 34.2×29.2	陶器	1 枚	
92	河井寛次郎		練上鉢		高8.6 径21.8	陶器	1 口	
93	河井寛次郎		呉州鉄葉草文盒子		高4.5 一辺4.5	陶器	1 合	
94	河井寛次郎		鉄葉水滴		高4.7 10.7×6.0	陶器	1 点	
95	河井寛次郎		玉手食籠		高13.5 長径16.3	陶器	1 合	
96	河井寛次郎		辰砂文字陶板		32.6×23.1	陶器	1 面	
97	河井寛次郎		飛躍成就花陶板		32.4×23.1	陶器	1 面	
98	河井寛次郎		辰砂草文盒子		10.3×8.9	陶器	1 合	
99	河井寛次郎		三彩手壺		高25.6 17.1×13.0	陶器	1 口	後期
100	河井寛次郎		呉州鉄葉陶硯		高5.9 20.6×16.4	陶器	1 面	
101	河井寛次郎		呉州硯		高6.8 22.8×12.4	陶器	1 面	
102	河井寛次郎		呉州泥掛刷毛目皿		高5.6 径29.6	陶器	1 口	
103	バーナード・リーチ	1887-1979	鉄紅絵角扁壺	1960(昭和35)	高19.0	陶器	1 口	前期
104	バーナード・リーチ		鉄釉柳文扁壺	1965(昭和40)	高28.2	陶器	1 口	後期
105	浜田 庄司	1894-1978	黒釉錆流描大鉢	昭和30年代後半	高13.8 径47.0	陶器	1 口	後期
106	芹沢 銈介	1895-1984	紙を造る人	1950(昭和25)	171.5×162.0	型染・木綿	二曲一雙	前期
107	芹沢 銈介		文字入り四季文屏風	1954(昭和29)	165.0×171.8	型染・麻	二曲一雙	前期
108	芹沢 銈介		みのケラ屏風	1955(昭和30)	177.5×174.8	型染・紬	二曲一雙	前期
109	芹沢 銈介		晴雨屏風	1962(昭和37)	49.5×174.0	型染・紬	二曲一雙	前期
110	黒田 辰秋	1904-1982	耀貝螺鈿細篋	1981(昭和56)	高19.0 15.5×30.5	木・漆・螺鈿	1 合	
111	柳宗悦他編		『リーチ』			印刷・紙	1 冊	
112	児玉 希望	1898-1971	静物(卓上のりんご)	1952	58.0×51.0	絹本彩色・額装	1 面	後期

世界を魅了するインド更紗－インドネシア発見の古更紗を例に

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量 (cm)	材質等	員数	展示期間
113	インド西部		茜地花入花菱縞文更紗	17-18世紀	283.0×104.0	木版媒染・木綿	1枚	後期
114	インド、コロマンデル海岸		菱形染分花唐草文更紗	17-18世紀	234.4×224.5	手描媒染防染・木綿	1枚	後期
115	インド、コロマンデル海岸		茜地花入格子文更紗	17-18世紀	266.5×110.4	手描媒染防染・木綿	1枚	後期
116	インド		藍地葉文更紗	18世紀	254.4×93.0	手描防染・木綿	1枚	後期

8 つなぐ・つながる－模様（文様）でつなぐ、アジアの心

日本の漆芸

No	作者	生没年	作品名	制作年(年)	法量 (cm)	材質等	員数	展示期間
117	川之辺一朝	1830-1910	金梨地瀧山水蒔絵料紙文庫	1902(明治35)	高15.4 44.9×33.1	木・漆・蒔絵	1点	
118	六角 紫水	1867-1950	刀筆春日野軸盆	1930(昭和5)	高2.1 34.0×15.9	漆	1点	
119	六角 紫水		理想界の図蒔絵手箱	1929(昭和4)	高9.5 34.0×15.9	漆・金・銀 蒔絵・平文・螺鈿	1点	
120	六角 紫水		花を弄ぶ人 婦人用二重文箱	1932(昭和7)	高8.1 22.2×14.5	漆・金・銀・平文 彫刻・蒔絵・螺鈿	1点	
121	六角 紫水		国宝巖島神社蔵 松喰鶴蒔絵小唐櫃 (模写)	1922(大正11)	高23.2 25.0×32.0	木・漆・蒔絵	1点	
122	六角 紫水		末金鏤蓬萊硯筥		高5.0 24.3×21.1	木・漆・蒔絵 練描き	1点	
123	赤塚 自得	1871-1936	金地牡丹蝶唐草蒔絵文庫		高17.0 29.0×23.0	木・漆・蒔絵・螺鈿	1点	
124	伝・河面冬山	1882-1955	扇面散し蒔絵料紙箱		40×32×35	木・漆・蒔絵	1点	

イスラムの金工

No	制作地	作品名	制作年(年)	法量 (cm)	材質等	員数	展示期間
125	ホラーサーン地方	青銅銀象嵌大水盤	12世紀中期	高22.5 径70.5	青銅・鑄造	1点	
126	ヘラート	胡銅銀象嵌盒子	14世紀後期	高21.0 径18.5	鑄造・彫金	1点	
127	ホラーサーン地方	胡銅銀象嵌盒子	14世紀後期	高21.0 径19.5	鑄造・彫金	1点	

トルクメン・ジュエリー

No	民族	作品名	制作年(年)	法量 (cm)	材質等	員数	展示期間
128	テケ族 トルクメン人	護符入れ (トゥマル)	18世紀後半	幅27.0	銀・鍍金、カーネリアン	1点	
129	エルサリ族 トルクメン人	護符入れ (トゥマル)	18-19世紀	幅22.0	銀、カーネリアン	1点	
130	エルサリ族 トルクメン人	護符入れ (トゥマル)	1910/11(ヒジュラ暦1328)	高13.0 幅12.0	銀、カーネリアン	1点	
131	テケ族 トルクメン人	首胸飾り (ブカウ)	19世紀中期	幅22.5	銀、鍍金、ガラス	1点	
132	ヨムート族 トルクメン人	首胸飾り (ブカウ)	19世紀中期	高31.5 幅26.0	銀	1点	
133	テケ族 トルクメン人	護符入れ (ハイケル)	18世紀	幅11.0	銀	1点	
134	西ヨムート族 トルクメン人	護符入れ (クムシュドガ)	19世紀後半	幅14.0	銀、鍍金、カーネリアン	1点	
135	西ヨムート族 トルクメン人	護符入れ (クムシュドガ)	19世紀中期	幅8.0	銀、鍍金、カーネリアン、ガラス	1点	
136	テケ族 トルクメン人	護符入れ	19世紀後半	高12.0 幅12.0	銀	1点	
137	テケ族 トルクメン人	護符入れ	19世紀後期	高14.5 幅12.0	銀	1点	
138	テケ族 トルクメン人	こめかみ飾り (テネチル)	18世紀	長62.0	銀、鍍金、カーネリアン	2点	
139	テケ族 トルクメン人	こめかみ飾り (テネチル)	19世紀中期	長26.0	銀	2点	
140	西ヨムート族 トルクメン人	こめかみ飾り (アダムリク)	19世紀初期	長39.0 長40.0	銀、鍍金、カーネリアン	2点	
141	テケ族 トルクメン人	こめかみ飾り (テネチル)	19世紀前半	長20.0	銀	2点	
142	テケ族 トルクメン人	胸飾り (ゴンジュク)	19世紀前半	幅22.5	銀	1点	
143	北ヨムート族 テケ族 トルクメン人	胸飾り (ゴンジュク)	18世紀	幅28.0	銀	1点	
144	エルサリ族 トルクメン	留め飾り (チャブラズ)	19世紀後期	幅25.0	銀、カーネリアン	2点	
145	ヨムート族 トルクメン人	留め飾り (チャブラズ、チャンガ)	19世紀後期	高24.3	銀	2点	
146	ヨムート族 トルクメン人	背飾り (アシク)	19-20世紀	高22.0	銀	1点	
147	サルイク族 トルクメン人	背飾り (アシク)	18世紀	高24.0	銀、鍍金、カーネリアン	1点	
148	テケ族 トルクメン人	背飾り (ゴシャ・アシク)	19世紀初期	高15.0	銀、鍍金、カーネリアン	1点	
149	エルサリ族 トルクメン人	背飾り (アシク)	19世紀前半	高6.0 高9.0	銀、カーネリアン、革	3点	
150	テケ族 トルクメン人	背飾り (アシク)	19世紀前半	長32.5 幅17.5	銀	1点	
151	西ヨムート族 トルクメン人	男児用背飾り (オク・ヤイ)	19世紀初期	幅13.0	銀	1点	
152	エルサリ族 トルクメン人	男児用背飾り (オク・ヤイ)	19世紀中期	長19.0 幅19.0	銀	1点	
153	ジャファバイ・ヨムート族 トルクメン人	男児用背飾り (オク・ヤイ)	19世紀中期	高14.0 幅14.5	銀	1点	
154	テケ族 トルクメン人	男児用背飾り (オク・ヤイ)	19世紀前半	幅14.5	銀、鍍金	1点	
155	ジャファバイ・ヨムート族 トルクメン人	男児用背飾り (オク・ヤイ)	20世紀初期	高23.5 幅22.3	銀	1点	

## Ⅲ 普及活動

### 1 ネットワーク美術館展

#### 広島県立美術館名品選「平山郁夫と文化勲章受章者」

- 会 期／平成25年12月20日(金)～平成26年1月31日(金) (開館日数43日) ※会期中無休  
会 場／公益財団法人平山郁夫美術館 (広島県尾道市瀬戸田町沢200-2)  
主 催／公益財団法人平山郁夫美術館、広島県立美術館  
後 援／広島県教育委員会、公益財団法人ひろしま文化振興財団、尾道市、尾道市教育委員会、  
NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、  
広島エフエム放送、尾道エフエム放送、エフエムふくやま、尾道ケーブルテレビ、  
尾道商工会議所
- 入 館 料／一般800円、大学・高校生400円、小・中学生200円  
※10名以上の団体は1割引
- 入館者数／4,352人

「広島県美術館ネットワーク」加盟館と広島県立美術館が協同し、県立美術館が所蔵する美術作品を、地域の身近な美術館で鑑賞する機会を提供するとともに、鑑賞学習用ワークシートを活用した児童・生徒の団体鑑賞の開催等により、学校による美術館の利用を促進し、地域と美術館及び学校との連携を深めることを目的として開催したものである。

本展では、平山郁夫を軸に、日本画、工芸、彫刻の分野にわたる文化勲章受章者の作品24点を一堂に展示。文化の発展に努めた芸術家たちの活動の軌跡を紹介した。

#### 関連事業

##### (1) 団体学習鑑賞会

・瀬戸田小学校

日 時：

1月6日(月) 対象：教員20名

1月14日(火) 対象：1年生(46名)、4年生(71名)

1月15日(水) 対象：2年生(59名)、5年生(56名)

1月17日(金) 対象：3年生(51名)、6年生(63名)

会 場：平山郁夫美術館

内 容：本展の連携事業として開催。学芸員から教員を対象に実施したレクチャー内容をもとに、会場で実際の作品を前にしながら鑑賞授業が開催された。

参加人数：366名

##### (2) 館長トーク

日 時：平成25年12月23日(月・祝)、  
平成26年1月13日(月・祝)、1月27日(月) 各日14:00～

講 師：平山 助成(公益財団法人平山郁夫美術館長)

会 場：平山郁夫美術館

参加人数：14名

##### (3) ギャラリートーク

日 時：平成26年1月11日(土) 13:30～

講 師：山下 寿水(当館学芸員)

会 場：平山郁夫美術館

参加人数：10名

#### その他

作品鑑賞の参考となる児童・生徒向けワークシートを作成し、会場等で配布した。(A4判6ページ 500部)



## 2 第1回新県美展（第65回広島県美術展）

本展は「広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、もって芸術文化の向上に資すること」を目的に、昭和24年以来開催している。第65回展では映像系部門・招待作家（本県美術教育・美術文化への貢献者）・入館者人気投票の新設、副賞金の復活などの改変を加え「第1回新県美展」として開催した。応募点数1,268点のうち495点が入選。うち、受賞作品66点（大賞7点、優秀賞16点、奨励賞43点）。また、期間中の入館者人気投票により入館者人気大賞3点、同敢闘賞6点が選定され、招待作家32名の作品を展示した。

### 主催

広島県

### 共催

竹原市、三次市教育委員会、庄原市教育委員会、三原市、府中市教育委員会、尾道市教育委員会、福山市教育委員会、安芸高田市教育委員会、世羅町教育委員会、中国新聞社

### 後援

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz

### 開催会場、期間および観覧者数

市町名	会場	会期	観覧者数
広島市（中央展）	広島県立美術館	6月15日（土）～6月30日（日）	8,473人
竹原市	たけはら美術館	7月10日（水）～7月14日（日）	460人
三次市	美術館あーとあい・きさ	7月17日（水）～7月21日（日）	304人
庄原市	庄原市田園文化センター	7月24日（水）～7月28日（日）	224人
三原市	三原リージョンプラザ	7月31日（水）～8月4日（日）	586人
府中市	府中市生涯学習センター	8月7日（水）～8月11日（日）	398人
尾道市	尾道市民センターむかいしま	8月14日（水）～8月18日（日）	530人
福山市	ふくやま美術館	8月21日（水）～8月25日（日）	1,050人
安芸高田市	甲田文化センターミュージズ	8月28日（水）～9月1日（日）	394人
世羅町	世羅町せらにシタウンセンター	9月4日（水）～9月8日（日）	341人

合計12,760人

### 入賞者名簿（※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞）

絵画系	◎岡崎由美子	◎鍋廣精也	○大宮市江	○高原一真
	○木村典子	○塩崎英明	石出喜実子	増田曉美
	楠木由子	佐古ふじ枝	瀬垣元陽子	林順子
	西村幸恵	山下昌則	湊里香	田坂素恵子
	和泉川頼子	広川ツヤコ	山野清子	
彫塑系	◎梅原裕江	○妹尾宜明	松本功	山本佳織
工芸系	◎瀬尾登之	○田村紀郎	○徳永恵美子	重松邦子
	松岡裕治	田代昭夫	根石みさ	
書系	◎奥本智恵美	○岡田静香	○平岡慶舟	○佐川順子
	高野國昭	柴田愁月	木本孝枝	加藤眞利子
	開原ひろこ	鵜川稲山	小川三恵	宮川恵
	梶本聖翠	国本和子		
写真系	◎坂田泰子	○福間久仁子	○坪井西成	○杉森義人
	中井直登	島田幸晴	原田今朝弘	田部昌子
	山根孝子	松尾健	齋藤眞佐士	重村直孝
デザイン系	◎高橋はるか	○大川真理	児玉尊子	山木戸順子
	松浦正史	濱名美優		
映像系	○篠原祐木	○宮崎しずか	小川果穂	栗原緑

### 3 第2回広島県ジュニア美術展

この展覧会は「広島県の児童・生徒等の優れた作品を公募し、展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力（感じる力、考える力、みる・かく・つくる力）の向上を図ること」を目的に、平成24年度から開催した。このたびの第2回展では、応募点数4,270点のうち970点が入選。うち、受賞作品154点（大賞8点、優秀賞28点、奨励賞118点）。

#### 主催

広島県

#### 共催

広島県教育委員会、中国新聞社

#### 後援

NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、広島リビング新聞社

#### 会場

広島県立美術館（地階県民ギャラリー全室）

#### 会期

平成25(2013)年12月18日(水)～平成25年12月25日(水)  
※12月20日(金)は19時まで、12月25日(水)は15時まで開場。

#### 入館料

無料

#### 観覧者数

4,705人

#### 入賞者名簿

絵画系

◎藤田真由	◎岡村柚穂	◎佐藤有希	◎山崎充博
○生野奏	○吉田優斗	○柏原未玖	○池広晋英
○茶井響	○武田泰一	○長沼拓磨	○澤岡涼香
○津村果奈	○児玉秀斗	○座田結和	○福田沙来
○太田有香	○綾目伊咲	○城戸瞳	○神蔵菜々子
永見心	大澤史歩	稲野実子	多田佳布
岡田恵奈	酒井璃梨杏	橋詰佳樹	井谷麻美
田中幸子	野村かなめ	守屋夏実	谷崎星音
市川未菜	小玉颯太郎	富樫悠月	佐藤壺成
中原悠汰	正田早希	児玉みのり	堀澤駿太
高尾厚友乃	野口憂来	中川綾人	鈴川彰規
井上摘生良	山田佳奈	高垣萌衣	三谷大賀
市川海里	中島綾菜	大久保開成	上田脩人
池谷スパーク	宮野航希	北辰心渚	丹下智乃
森國文佳	伊賀陸斗	面川亜実	平尾祐里菜
井筒彩菜	杵村奈美	楠菜々	宮本彩音
原佳奈美	河崎福乃介	村中幸恵	山光未祐
片山結心	半田汐里	山田直美	中上公信
末廣千佳	堂河内亜実	小林亮太	入江大斗

	村山今中坂	上口村本	友理遥聡一裕	規沙香一郎樹		宮山小	野本坂賀島	夏天真千輝	碧音由紘紀子		佐新久出今	藤谷保來田	里翔和鈴	菜太支蘭之介		藤曾日石	田高	向大脩信	陽暉登乃華
彫刻系	◎西	内	海	斗	○本	○富	田安前	田安前	子己音	○藤	森	本	心	海温		池松	田本	大	起あやめ
工芸(工作)系	◎安	藤	正	晴	○山	栗	崎	昂	友菜士	○玉	井	田	直	生	○藤	渡	田	向	陽
	◎山	原	花	菜	○山	栗	崎	昂	友菜士	○玉	井	田	直	生	○藤	渡	田	向	陽
	◎栗	原	花	菜	○山	栗	崎	昂	友菜士	○玉	井	田	直	生	○藤	渡	田	向	陽
	◎辻	田	百	花	○藤	堀	田	竜	次	○熊	野	圭	峻	里	吉	岡	美	紅	愛
写真系	◎倉	本	芽	美	○芦	栢	隅	田	汐	○熊	野	圭	峻	里	吉	岡	美	紅	愛
	◎田	久	和	義	○芦	栢	隅	田	汐	○熊	野	圭	峻	里	吉	岡	美	紅	愛
	◎平	川	絢	菜	○芦	栢	隅	田	汐	○熊	野	圭	峻	里	吉	岡	美	紅	愛
デザイン系	◎下	村	日和	子	○藤	守	中	宇	田	○村	兒	黒	出	合	○重	中	新	美	桃
	◎本	藤	井	美	○藤	守	中	宇	田	○村	兒	黒	出	合	○重	中	新	美	桃
	◎西	田	凌	一	○藤	守	中	宇	田	○村	兒	黒	出	合	○重	中	新	美	桃

※◎は大賞、○は優秀賞、無印は奨励賞

## 4 博物館実習

大学及び短期大学における博物館学講座の単位習得の一環として、博物館学を履修する学生を一時的に受け入れ、博物館現場における知識及び技能を修得させることにより、人材の育成を図ることを目的として実施している。

開設日時とカリキュラム、および受入先は次のとおり。

### 開設日時と内容

8月22日(木)	9:30~9:45	開講あいさつ
	9:45~10:30	オリエンテーション
	10:30~11:30	館長講話(美術館とマネジメント)
	11:30~12:00	美術館と学芸活動
	13:00~14:00	展覧会ができるまで(ピース・ミーツ・アート!展)
	14:00~15:00	「ピース・ミーツ・アート!展/ガマン展」会場見学
8月23日(金)	15:00~16:00	ミニ企画展実習(1概論)
	9:30~12:00	作品取扱い実習・調書作成(絵画)
	13:00~15:00	作品取扱い実習・調書作成(立体)
8月24日(土)	15:00~16:00	「ゴッホ展」会場見学
	9:30~10:30	展覧会を取材する(館内取材・資料調査)
	10:30~12:00	展覧会を紹介する(短評作成・相互批評)
	13:00~14:00	ミニ企画展実習(2企画-討議)
8月26日(月)	14:00~16:00	ミニ企画展実習(3企画-立案)
	9:30~10:30	ミニ企画展実習(4企画-集約)
	10:30~12:00	ミニ企画展実習(5企画-制作)
8月27日(火)	13:00~16:00	ミニ企画展実習(6企画-制作)
	9:30~12:00	ミニ企画展実習(7企画-発表準備)
	13:00~14:30	ミニ企画展実習(8発表)
	15:00~16:00	受講生ディスカッション

### 受講生所属大学

広島市立大学、広島女学院大学、広島大学、神戸大学、長崎県立大学シーボルト校(計18人)

### ミニ企画展実習

メインカリキュラムの「ミニ企画展実習」では、仮想の展覧会を企画することにより、展覧会業務を追体験することをねらいとする。受講生が4班に分かれ、今回は、当館の代表的所蔵作品の一つサルバドール・ダリ作「ヴィーナスの夢」に国内他館所蔵品を組み合わせるコレクション交流展を企画し、広報イメージ・子供向けワークシート・オリジナルグッズ等を考案し、プレゼンテーションを行うという課題にとりくんだ。各班から提案された展覧会名、他館から想定借用する作品、趣旨は次のとおり。

①	愛のかたち展 ダリとシャガール シャガール《町の上で ヴィデブスク》(ポーラ美術館蔵)。同時代人のダリとシャガールの愛のあり方を作品を通して比較する。
②	ダリとミロの夢の世界~故郷を愛したシュルレアリスト~ ジョアン・ミロ《人と月》(岐阜県立美術館蔵)。同郷のダリとミロが思い描く「故郷」や「夢」の世界を作品を通して比較する。
③	ダブルイメージ~和と洋~ 《絹本著色不動明王二童子像》(京都・青蓮院蔵)。ダブルイメージに着目した新しい鑑賞法を紹介することで、日本美術・西洋美術双方への親しみを醸成する。
④	絵の中に生きる画家~心を読み取る~ 松井冬子《浄相の持続》(平野美術館蔵)。ダリと松井に共通するバックボーンを知ることにより、作品理解の深化を図る。

(本研修担当者:宮本真希子)

## 5 学校、地域との連携事業

### 美術作品鑑賞教室

---

#### 事業内容

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した授業や講座を出張して行うことにより、学校や地域における美術鑑賞活動を支援し、館と学校や地域との相互交流を促進する。

#### (1) 美術作品鑑賞教室（作品持参）

今日の学校における美術教育では、生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって生涯にわたり主体的にかかわっていく態度を育むことが求められ、表現と並んで鑑賞指導の重要性が認識されていることから、児童・生徒の美術への関心や鑑賞力を高めることを目的として、当館が所蔵する美術作品を学校に持ち込み、本物の美術作品に身近に接する機会を提供する。

##### ①安芸太田町立加計小学校

「表現と鑑賞を一体化させた学習活動」との学校側の意図を受け、「顔」をテーマとしてさまざまな表現法（技法・材質等）による顔を鑑賞することにより、作品の自分なりの読み取りと表現活動への参考とすることをねらいとした。

実施月日：平成25年10月30日(水)

鑑賞作品：和高節二《旅芸人の顔》、檜山武夫《自画像（黄色い）》、名井万亀《爆発》、  
三輪休雪《面会人》、圓鏝勝三《婦人像B》

参加人数：5 - 6年生27名（3 - 4年生29名が自由鑑賞）

授業実施：宮本真希子、山下 寿水

##### ②北広島町立大朝中学校

「モノづくりの精神を学ぶ」「広島の工芸品に親しむ」をねらいとして「広島ゆかりの工芸作品を鑑賞する」をテーマとした。材料、道具、用途、美しさ、制作の手順などモノづくりの基本と現代生活で失われつつある伝統的な暮らしや工芸品について学習する機会を提供した。

実施月日：平成25年11月6日(水)

鑑賞作品：五代金城一国齋《高盛絵四季寄花硯箱》、二代小松寿山《松丸盆》、  
山根寛齋《玉椿空彩箱》、今井政之《象嵌彩窯変ぎざみ香炉》

参加人数：1 - 2年生38人、3年生23人

授業実施：宮本真希子、山下 寿水

##### ③県立尾道特別支援学校

幻想性や象徴性のある具象的表現の作品を選定し、画中のモチーフや描かれ方（色、形、視点等）を手掛かりに、自由な発想を楽しみながら対話により解釈を広げ深めて、作品世界を豊かに鑑賞することをねらいとした。

実施月日：平成26年1月9日(木)

鑑賞作品：太田 忠《巨木のある風景》、角 浩《平和のメリーゴーランド》、  
浜崎左髪子《青夜》

参加人数：聴覚障害幼・小・中学部15名、知的障害小・中学部31名、知的障害高等部30名

授業実施：宮本真希子、山下 寿水

(2) 美術作品鑑賞教室（出張講座）

本講座は、県立美術館の館長をはじめ学芸員が公民館や生涯学習センター、学校などに出向き、スライドなど鑑賞補助教材を用いて行うもので次の3つのコースにより構成する。

A 館長トーク 館長が美術館マネジメントや専門研究分野について行う講座（4講座）

B コレクション・トーク 当館所蔵作品をテーマに学芸員が行う講座（16講座）

C 特別展のためのとくべつ講座 当該年度に開催する特別展を学芸員が紹介する講座（6講座）

平成25年度における実施状況は次表のとおりで、地域や学校における美術鑑賞活動を支援するとともに、特別展を普及広報し、美術館への関心や親しみを醸成した。

開催日	会場	講座コース・タイトル	参加
6月13日(木)	海田町立海田西小学校	A「日本美術と海外交流」	29人
6月28日(金)	世羅町立甲山小学校	A「ゴッホの魅力」	29人
7月9日(火)	修道中学校	B「ロダンを考える」	300人
7月12日(金)	広島市口田公民館	A「ゴッホの魅力」	60人
7月29日(月)	府中市立府中明郷小学校	B「シルクロードのパラオを作って食べよう！」	25人
8月3日(土)	北広島町図書館	A「ゴッホの魅力」	20人
8月9日(金)	福山市常金丸公民館	B「シルクロードのパラオを作って食べよう！」	20人
8月20日(火)	竹原市立東野公民館	A「ゴッホの魅力」	50人
8月28日(水)	広島県立広島中央特別支援学校	B「手で見る中央アジアの工芸+パラオを作って食べよう！」	12人
8月28日(水)	広島市大塚公民館	C「ゴッホ展」	31人
8月30日(金)	福山市立日吉台小学校	A「ゴッホの魅力」	85人
9月9日(月)	広島市利松公民館	A「ゴッホの魅力」	20人
9月11日(水)	廿日市市立原小学校	C「ゴッホ展」	21人
9月13日(金)	広島県立河内高等学校	B「シルクロードの工芸と民族衣装」	5人
10月17日(木)	大竹市立小方中学校	B「油絵を見る楽しみ」	132人
10月25日(金)	広島県立賀茂北高等学校	A「ゴッホの魅力」「日本美術と海外交流」	35人
11月11日(月)	竹原市立大井公民館	B「シルクロードのパラオを作って食べよう！」	20人
11月14日(木)	広島市矢野公民館	B「展覧会ができるまで」	60人
11月18日(月)	広島県立河内高等学校	B「シルクロードのパラオを作って食べよう！」	7人
11月20日(水)	廿日市市立四季が丘小学校	B「野外彫刻をめぐる旅～広島平和記念公園から」	60人
11月21日(木)	広島市三篠公民館	C「シャガール展」	40人
11月21日(木)	広島県立広島中央特別支援学校	B「漆芸家・六角紫水」	6人
11月25日(月)	広島市利松公民館	C「シャガール展」	20人
11月29日(金)	広島市立古田小学校	C「シャガール展」	152人
12月4日(水)	熊野町立熊野東中学校	B「シルクロードの工芸と民族衣装」	127人
12月5日(木)	広島市立落合東小学校	B「ダリって誰？」	77人
1月20日(月)	三次看護専門学校	A「敷居の低い美術館」づくり	50人
1月22日(水)	広島県立河内高等学校	B「日本漆芸史」	34人
1月24日(金)	広島市立鈴が峰小学校	B「布をめぐるミクロとマクロのおはなし」	28人
1月28日(火)	呉市立音戸小学校	B「自画像の魅力」	99人
3月3日(月)	廿日市市立津田小学校	C「日本伝統工芸展」	18人

(全31会場、参加合計1,672人)

## 6 新規作成ワークシート・リスト

来館者の鑑賞を支援するため、おおむね小学校高学年以上を対象とした所蔵作品のワークシートを作成している。平成25年度は新たに7種類のワークシートを作成し、合わせて290種となった。

No.	所蔵品番号	作者名・制作地	作品名	制作年	材質・技法
1	PG-16	クルト・シュヴィッターズ	メルツ 394、ピナコテーク	1922年	紙・コラージュ
2	PG-61	岡部昌生、港千尋	わたしたちの過去に、未来はあるのか	2002-2013年	フロッタージュ・セリグラフ・鉛筆・紙(122点組)+映像
3	PG-59	マン・レイ	シュルレアリスム展におけるサルバドール・ダリのオブジェ	1936年	ゼラチン・シルバー・プリント
4	HB-293	インド、グジャラート、パタン	象虎文経緯絹緋(パトラ)	20世紀初頭	絹、経緯緋
	HB-294		花ハート文経緯絹緋(パトラ)		絹、経緯緋、金糸
5	O-773	巖 光	静物	1942年	油彩・画布
6	P-320	高橋 秀	フィンガーボール-青-(32種の版画)	1973年	シルクスクリーン・エンボス・紙
	P-327		泉(32種の版画)		
	P-340		レズボール-白-(32種の版画)		
	P-343		愛のはじまり-オレンジ-(32種の版画)		
7	O-778	入野 忠芳	浮遊	1970年	油彩・画布

### ワークシート作成例



## 7 学校等による利用状況

No.	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
1	岡山県笠岡市矢掛町中学校組合立小北中学校	岡山県笠岡市甲弩1810-3	平成25年5月10日	6	1	7
2	岡山県笠岡市立笠岡東中学校	岡山県笠岡市西大島新田15-3	5月10日	24	1	25
3	岡山県笠岡市立笠岡西中学校	岡山県笠岡市笠岡3797	5月17日	14	2	16
4	山口県防府市立小野小学校	山口県防府市奈美633番地の1	5月21日	21	2	23
5	岩国市立岩国中学校	岩国市錦見2丁目5-80	5月23日	60	4	64
6	岩国市立麻里布中学校	山口県岩国市室の木町2-7-11	5月24日	60	1	61
7	岩国市立平田中学校	山口県岩国市平田6-10-33	5月24日	8	1	9
8	岩国市立周東中学校	山口県岩国市周東町下久原483	6月18日	20	1	21
9	守山市立守山小学校	滋賀県守山市勝部1-13-1	7月11日	15	0	15
10	広島県立広島井口高等学校	広島市西区井口明神2丁目11-1	7月23日	41	1	42
11	広島大学附属福山中学校	広島県福山市春日町5丁目14-1	7月26日	122	6	128
12	平生町立平生中学校	山口県熊毛郡平生町曾根1844	7月26日	21	1	22
13	広島市立観音中学校	広島市西区南観音3丁目4-6	7月26日	17	1	18
14	浜田市立浜田東中学校	島根県浜田市下府町699番地	7月31日	8	2	10
15	廿日市市立七尾中学校	広島県廿日市市平良2丁目2-34	8月1日	30	1	31
16	岩国市立岩国中学校	山口県岩国市岩国2-5-80	8月1日	42	4	46
17	呉市立昭和中学校	呉市焼山中央6丁目9-1	8月3日	15	1	16
18	福岡県八幡中央高等学校	福岡県北九州市八幡西区元城町1-1	8月4日	23	1	24
19	柳井市立柳井中学校	山口県柳井市柳井4155	8月8日	19	1	20
20	光市立大和中学校	山口県光市大字塩田3333番地の1	8月12日	8	2	10
21	岩国市立御庄中学校	山口県岩国市御庄2027番地2	9月4日	13	8	21
22	広島女学院中学高等学校	広島市中区上鞆町11-32	9月5日	45	2	47
23	広島朝鮮学園(小)	広島市東区山根町37-50	9月5日	43	3	46
24	広島朝鮮学園(中)	広島市東区山根町37-50	9月5日	32	5	37
25	広島女学院中学高等学校	広島市中区上鞆町11-32	9月9日	46	2	48
26	広島女学院中学高等学校	広島市中区上鞆町11-32	9月10日	44	2	46
27	広島女学院中学高等学校	広島市中区上鞆町11-32	9月10日	43	2	45
28	北広島町立川迫小学校	広島県山県郡北広島町川戸3373	9月10日	9	2	11
29	広島女学院中学高等学校	広島市中区上鞆町11-32	9月11日	44	1	45
30	広島市立毘沙門台小学校	広島市安佐南区毘沙門台3丁目1-1	9月11日	5	2	7
31	広島大学附属高等学校	広島市南区翠1丁目1-1	9月11日	41	1	42
32	広島市教育委員会学校教育部生徒指導課(ふれあい教室)	広島市中区国泰寺町1丁目4-21	9月12日	3	4	7
33	兵庫県洲本市立州本第二小学校	兵庫県洲本市山手2丁目1-51	9月12日	5	1	6
34	福山市立箕島小学校	福山市箕島町325	9月13日	19	2	21
35	北広島町立大朝中学校	広島県山県郡北広島町大朝4683番地1	9月17日	5	2	7
36	広島市立己斐中学校	広島市西区己斐上3丁目35-1	9月18日	7	4	11
37	広島大学附属高等学校	広島市南区翠1丁目1-1	9月20日	9	1	10
38	広島市立大町小学校	広島市安佐南区大町西2-24-1	9月30日	111	4	115
39	岡山県里庄町立里庄中学校	岡山県浅口郡里庄町里見2535	10月9日	22	4	26
40	三原市立大和中学校	三原市大和町大具2280番地	10月10日	47	4	51
41	尾道市立百島中学校	広島県尾道市百島町489番地	10月18日	4	3	7
42	北広島町立八重東小学校	広島県山県郡北広島町有田1897番地1	10月18日	38	4	42
43	北広島町教育委員会(千代田公民館)	広島県山県郡北広島町有田1220番地1	10月20日	18	3	21
44	江田島市立江田島小学校	江田島市江田島町中央4-18-1	11月1日	50	5	55
45	広島市立長束小学校	広島市安佐南区長束4-15-1	11月11日	74	3	77
46	広島県立福山華陽高等学校	広島県福山市久松台3丁目1-1	11月11日	25	2	27
47	学校法人鶴学園 なぎさ公園小学校	広島市佐伯区海老山南2丁目2-30	11月16日	66	4	70
48	中川学園広島総合教育専門学校	広島市東区愛宕町3-14	11月19日	10	1	11
49	広島市立鞆町小学校	広島市中区鞆町3-10	11月19日	31	2	33
50	呉市立本通小学校	広島県呉市寺本町1-10	11月26日	34	2	36
51	安田女子高等学校	広島市中区白島北町1-41	11月28日	21	1	22

No	学校名	住所	利用年月日	生徒	引率	計
52	広島女学院中・高等学校	広島市中区上鞆町11-32	12月2日	21	1	22
53	安田女子高等学校	広島市中区白鳥北町1-41	12月4日	22	1	23
54	安田女子高等学校	広島市中区白鳥北町1-41	12月4日	15	1	16
55	広島市立石内小学校	広島市佐伯区五日市町石内3276	12月10日	86	4	90
56	広島市立大林小学校	広島市安佐北区大林4丁目14-1	12月10日	7	2	9
57	広島市立可部小学校	広島市安佐北区可部4丁目9-1	12月10日	103	3	106
58	広島市立落合小学校	広島市安佐北区落合南2丁目13-1	12月12日	85	4	89
59	広島市立彩が丘小学校	広島市佐伯区河内南2丁目10-1	12月13日	65	2	67
60	広島市立温品小学校	広島市東区温品7丁目8-8	平成26年1月23日	4	2	6
61	鳥根県立浜田ろう学校	鳥根県浜田市国分町342-2	1月29日	1	2	3
62	北広島町大朝中学校	山県郡北広島町大朝4683-1	2月6日	17	4	21
63	広島大学付属小学校	広島市南区翠1-1-1	2月12日	79	3	82
計				2,043	149	2,192

## 8 平成25年度県民ギャラリー利用状況

平成25年4月1日～平成26年3月31日まで

利用団体数		延べ開催日数	入場者数
入場有料の場合	9団体	54日	46,231人
入場無料の場合	84団体	504日	91,793人
計	93団体	558日	138,024人

平成25年度県民ギャラリー利用団体一覧表

展覧会名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第17回 グループ宙遊展	4/1～4/8	1	絵画	38点	無料	745
第13回 立の会絵画展	4/1～4/8	2	絵画	21点	無料	502
第44回 広島県日本画展	4/1～4/8	345	日本画	73点	無料	1,598
第18回 墨林会水墨画展	4/8～4/15	1	水墨画	47点	無料	488
第49回 広島形象派展	4/8～4/15	2	絵画	40点	無料	553
公募・第34回 関西綜美会展	4/8～4/15	345	絵画、彫刻、工芸、書、写真、水墨	127点	無料	1,283
書苑漫歩/馬仁武書展	4/15～4/22	1	絵画、書	36点	無料	348
第16回 広島水墨画会展	4/15～4/22	23	絵画	90点	無料	769
第53回 新制作広島グループ展	4/15～4/22	45	絵画、彫刻	42点	無料	806
第76回 自由美術展巡回展	4/22～4/29	12345	絵画	95点	無料	590
第66回 日本アンデパンダン広島展	4/29～5/6	1234	絵画、インスタレーション、彫刻、工芸、写真、書	171点	無料	1,419
あなたを巡る旅Ⅱ ～写真合成による幻想絵画～	4/29～5/6	5	絵画、説明図	32点	無料	160
第55回 新協展	5/6～5/13	12345	絵画、工芸	149点	一般 600円 高大 500円 中学生以下無料	2,634
Petals X	5/13～5/20	1	絵画	39点	無料	362
第32回 中国七宝協会展と公募展	5/13～5/20	2	絵画、工芸	51点	無料	871
第47回 みのん展	5/13～5/20	3	絵画	88点	無料	630
第9回 墨韻会展	5/13～5/20	45	絵画、書	70点	無料	616
第6回 キヤノンフォトクラブ広島写真展	5/20～5/27	1	写真	51点	無料	1,134
第16回 広島県伝統工芸能面展	5/20～5/27	2	工芸	78点	無料	788
第7回 広島県水墨作家協会展	5/20～5/27	3	絵画、墨象	32点	無料	1,192
第48回 広島県写真連盟展	5/20～5/27	45	写真	318点	無料	1,552
第61回 光陽展広島展	5/27～6/3	12345	絵画	115点	一般 500円 高校生以下無料	1,555
第99回 光風会展	6/3～6/10	12345	絵画、工芸	174点	一般 600円 高大 500円 中学生以下無料	8,892
第52回 大調和会広島巡回展	7/8～7/15	123	絵画	88点	無料	1,901
榎村幸男・空箱の裏の光と影	7/8～7/15	4	絵画	40点	無料	532
第10回 むいち会展	7/8～7/15	5	絵画	54点	無料	791
第48回 虹の会絵画展	7/15～7/22	1	絵画	10点	無料	544
武蔵野美術大学校友会広島支部 第42回 MUSABI展	7/15～7/22	2	絵画、彫塑、工芸、写真、金属造形、デザイン、版画	24点	無料	879
守長グループ絵画展	7/15～7/22	345	絵画	140点	無料	836

展 覧 会 名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第53回 日本版画会展（広島会場）	7/22～7/29	123	絵画	152点	無料	1,885
第25回 クロッキー同好会 人物素描展	7/22～7/29	4	絵画	42点	無料	720
黄人展	7/22～7/29	5	絵画、工芸	30点	無料	775
第79回 東光展	7/29～8/5	12345	絵画	161点	一 般 600円 高 大 500円 中学生以下無料	5,003
第59回 広島職場美術展	8/5～8/12	12	絵画、工芸、書、その他（貼り絵、拓画、木版画、CG）	151点	無料	1,073
第56回 広島県児童画連盟展	8/5～8/12	3	絵画、工芸	391点	無料	1,112
第48回 グループいしがき展	8/5～8/12	45	絵画、その他（染色等）	176点	無料	993
広島県高等学校文化連盟主催 平成25年度広島県特別支援学校美術・工芸展	8/12～8/19	12	絵画、工芸、その他（共同制作）	717点	無料	794
平岡秀樹回顧展	8/12～8/19	345	絵画	73点	無料	1,244
第65回 毎日書道展中国展	8/19～8/26	12345	書	920点	一 般 800円 高校生以下無料	4,926
「廃墟と再生」中西繁展in広島	8/26～9/2	12345	絵画	65点	無料	2,245
第31回 ARGグループ絵画展	9/2～9/9	1	絵画	41点	無料	1,032
第36回 グループ「集」展	9/2～9/9	2	絵画	39点	無料	1,400
第17回 グループ「Z」水彩展	9/2～9/9	3	絵画	21点	無料	906
第25回 新滴展	9/2～9/9	4	絵画	38点	無料	1,324
第29回 社団法人新興美術院広島支部展	9/2～9/9	5	絵画	26点	無料	1,131
第39回 ヒロシマ・ラボ・クラブ写真展	9/9～9/16	1	写真	58点	無料	723
第22回 ぐるーぶNAN作品展	9/9～9/16	2	絵画	60点	無料	1,114
第7回 新展広島公募展	9/9～9/16	3	絵画、工芸	50点	無料	940
吉田正浪彫刻展	9/9～9/16	45	彫塑、その他（レリーフ、デッサン）	57点	無料	1,640
第26回 広島日展会展	9/16～9/23	12345	絵画、彫塑、工芸、書	143点	一 般 400円 高大生 300円 中学生以下無料	5,075
第41回 広島彫刻会展	9/23～9/30	1	彫塑	18点	無料	300
広島国際書芸交流展	9/23～9/30	2	絵画、書	105点	無料	475
第16回 広島墨彩画展	9/23～9/30	345	絵画	133点	無料	931
あいサポートアート展	9/30～10/7	12345	絵画、書、立体造形	324点	無料	1,127
第2回 「木絆会」版画展	10/7～10/14	1	絵画	59点	無料	591
太陽社40周年選抜 -つ・た・え・る-展	10/7～10/14	23	工芸、書	42点	無料	1,084
第21回 ROSÉ野ばら会作品展	10/7～10/14	45	絵画	94点	無料	706
第27回 NOA展	10/14～10/21	1	写真	70点	無料	1,362
第35回 二科会写真部 広島支部公募展	10/14～10/21	2345	写真	438点	無料	2,101
第24回 風の会写真展 「四季讃歌」	10/21～10/28	1	写真	54点	無料	630
第2回 新構造西日本展	10/21～10/28	234	絵画、工芸、写真、版画	100点	無料	1,472
第91回 北翔展	10/21～10/28	5	絵画	24点	無料	730
第30回 産経国際書展 瀬戸内展	10/28～11/4	12345	書	324点	無料	952
日本刺繍 米寿記念作品展	11/4～11/11	1	工芸（日本刺繍）	56点	無料	474
垣之内教室合同美術展	11/4～11/11	2	絵画	88点	無料	722
京都造形芸術大学 通信教育部 広島学習会 第9回 歩展	11/4～11/11	3	絵画、工芸、立体	41点	無料	496
広島YMCA学園 2013 生徒作品展 「芸大美大受験科」「美術教室」	11/4～11/11	45	絵画、写真、立体	508点	無料	815

展 覧 会 名	会期	展示室	内 容	出品点数	入 場 料 金	入場者数
第37回 広島県高等学校 総合文化祭 第45回 広島県高等学校 美術 工芸展	11/11~11/18	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、デザイン	476点	無料	1,482
第37回 広島県高等学校総合文化祭 第45回 広島県高等学校書道展	11/18~11/25	1 2 3 4	書	322点	無料	952
第37回 広島県高等学校総合文化祭 第45回 広島県高等学校写真展	11/18~11/25	5	写真	381点	無料	747
第66回 広島県児童生徒書道展	11/25~12/2	1 2 3 4 5	書	3,500点	無料	5,953
第43回 元陽展 広島会場	12/2~12/9	1 2 3 4	絵画	91点	無料	2,911
第10回 フォルマーレ展	12/2~12/9	5	絵画	43点	無料	481
第77回 新制作絵画展	12/9~12/16	1 2 3 4 5	絵画	102点	一般 600円 高大生以下無料	4,770
第98回 二科展 (第58回 広島巡回展)	1/6~1/13	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、写真、 デザイン	570点	一般 600円 高大生 400円	7,268
第67回 二紀展 第43回 広島巡回展	1/13~1/20	1 2 3 4 5	絵画、彫塑	138点	一般 600円 高大生 500円 中学生以下無料	6,108
比治山大学短期大学部美術科 第46回 卒業制作展 第12回 修了制作展	1/20~1/27	1 2 3 4 5	絵画、立体、 工芸、デザイン、 その他(マンガ、映像)	200点	無料	980
第22回 広島県シルバー作品展	1/27~2/3	1 2 3 4 5	絵画、彫塑、工芸、書、写真	350点	無料	2,129
JPA展 第24回 日本写真作家協会会員展 第11回 日本写真作家協会公募展	2/3~2/10	1 2 3 4 5	写真	458点	無料	2,005
第45回 安田女子大学書道文化専攻 卒業制作展併催 安田女子大学書道文化専攻展 安田学園小・中・高等学校 併設展	2/10~2/17	1 2 3 4 5	書	241点	無料	1,157
平成25年度 広島県立熊野高等学校 芸術類型 美術コース・書道コース卒業作品展	2/17~2/24	1 2	絵画、工芸、書	81点	無料	3,114
2014 全日本写真連盟広島県本部展 第73回 国際写真サロン 第16回 朝日写真サロン中国 第14回 広島県本部展	2/17~2/24	3 4 5	写真	398点	無料	2,424
第62回 書の友全国書道展覧会	2/24~3/3	1 2 3 4 5	書	3,784点	無料	2,777
穴吹デザイン専門学校 卒業修了制作展 2014	3/3~3/10	1 2 3	デザイン、マンガ、映像	240点	無料	645
第52回 広島大学大学院教育学研究科 造形芸術教育学専修 教育学部 造形芸術系コース修了、卒業制作展/論文発表会	3/3~3/10	4 5	絵画、彫塑、工芸、 デザイン、パネル、論文	48点	無料	497
ひろしま美術研究所・広島芸術専門学校 合同作品展及び 第29回 広島芸術専門学校 卒業制作展	3/10~3/17	1 2 3	絵画、工芸、立体	443点	無料	791
第37回 広島県工芸美術作家協会展	3/10~3/17	4	工芸	29点	無料	501
シード展 シード美術研究所2013年度在籍生徒作品展	3/10~3/17	5	絵画	200点	無料	488
“平和へのひと筆” piece for peace HIROSHIMA 展示会	3/17~3/24	1 2 3 4 5	書	6,371点	無料	804
広島県立美術館友の会 オリジナル版画10年記念展	3/24~3/31	1	その他(版画)	50点	無料	438
第36回 広陽カメラクラブ写真展	3/24~3/31	2 3	写真	188点	無料	1,266
第32回 彩友会展	3/24~3/31	4	絵画	51点	無料	623
第13回 凜の会展	3/24~3/31	5	絵画	24点	無料	720
合 計						138,024

## 9 友の会事業報告

「すぐれた美術作品に接し、それを鑑賞する楽しさを分かち合いながら、自分自身を高めてゆく」ことを目的に昭和47年1月21日に発足した。平成3年から平成8年までの新館工事中は会自体が休止状態にあったが、リニューアルオープンを機に友の会もボランティアで運営する新しい組織となり、会員相互の親睦と美術館の事業にも協力・支援することを目的として、平成9年4月1日付けで再出発した。

会員数934人（個人643人 家族276人 学生3人 賛助11人 特別賛助1人）

### 1. 会報の発行

発行 63号、64号、65号、66号

配布先 会員、美術館関係他

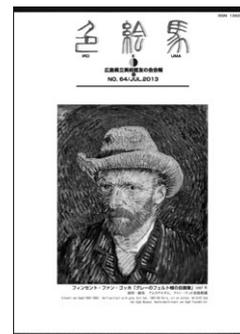
### 2. 美術情報及び友の会ニュースの発行

・美術情報 93号、94号、95号、96号

・友の会ニュース 10回発行



『色絵馬』 No.63



『色絵馬』 No.64

### 3. 広島県立美術館所蔵作品展のボランティアによる ギャラリーガイド

・定時 火曜日～金曜日は毎日 14時から実施  
土曜日、日曜日、祝日 11時及び14時から実施  
特別展開催中は、月曜日も14時から実施

・臨時 団体申し込み及び美術館の要請により随時実施

・ギャラリーガイド実績

定時 831人（ガイド延人員 379人）

臨時 16件（鑑賞者 595人、ガイド人員 39名）



『色絵馬』 No.65



『色絵馬』 No.66

### 4. ボランティア・ギャラリーガイド研修会（美術館と共催）

#### ◆所蔵作品展研修（展示替えの時期）

平成25年 8月3日（土）、9月7日（土）、12月14日（土）、平成26年3月8日（土）

#### ◆ギャラリーガイド研修

◇平成25年5月26日（日）「ろうけつ染め」講師：藤川 素子（染色作家）

6月29日（土）『黄昏』作品鑑賞（広島市内・明教寺）

◇平成25年6月15日（土）「型染めについて（含む実習）」講師：後藤 藍子（型染め作家）

### 5. 日本伝統工芸出張授業の支援

平成25年11月19日（火）馬船宏明（漆芸） 広島市立鈴が峰小学校

12月12日（水）小林利行（木工） 呉市立音戸小学校

平成26年2月14日（火）山根宏造（陶芸） 福山市立湯田小学校

参加児童：103人

ボランティア：9人

- ◆第60回日本伝統工芸展関連支援  
子どもワークショップ「鬼の土鈴を作ろう」  
期 日：平成26年3月2日(日)  
参加児童：27人  
ボランティア：3人

## 6. 講演会（美術館と共催）

- ◆平成25年8月10日(土) 「特別展 ピース・ミーツ・アート！」関連  
演 題：「ピカソが描いた永遠のいまーゲルニカのアイコンが語り継ぐものー」  
講 師：森川紘一郎（造形美術史研究）  
参加者：70人

- ◆平成25年9月28日(土) 「特別展 ピース・ミーツ・アート！」関連  
対 談：「“ひろしま”との出会い」  
講師(対談)：石内 都（写真家）・梯 久美子（ノンフィクション作家）  
参 加 者：91人



石内 都・梯 久美子氏

- ◆平成26年1月26日(日) 「印象派を超えてー点描の画家たち」展 関連  
演 題：「新印象派と楽園のヴィジョン：アナーキズムを超えて」  
講 師：千足 伸行（成城大学名誉教授）  
参加者：170人

- ◆平成26年3月1日(土) 「日本伝統工芸展」関連  
演 題（シンポジウム）：「第60回日本伝統工芸展開催記念ー「文化と産業、日本（世界）と広島  
の視点から 伝統工芸の過去・現在・未来を考える」」  
講 師（パネリスト）：上田 宗岡（茶道・上田宗箇流家元）  
前田 育男（マツダ(株) 執行役員・デザイン本部長）  
室瀬 和美（漆芸作家、重要無形文化財保持者）  
参加者：227人



3月1日 シンポジウム

## 7. 「もっと知ろうシリーズ」（美術館と共催）

- ◆平成25年5月23日(木)  
演題（コラボトーク）：  
「恋、愛、さまざまなLOVEのかたち」「夏目漱石の生きた時代のアートたち」「和菓子の色彩」  
講 師：福田 浩子、永井 明生（当館主任学芸員）  
参加者：39名
- ◆平成25年11月24日(日)  
演 題：「広島美術家たちー日本画」  
講 師：倉橋 清方（前呉市立美術館長）  
参加者：52名
- ◆平成25年12月7日(土)  
演 題：「広島美術家たちー洋画と彫刻」  
講 師：倉橋 清方（前呉市立美術館長）  
参加者：45名

## 8. 友の会オリジナル版画10年記念展

期 間：平成26年 3月25日(火)～3月30日(日)  
場 所：広島県立美術館県民ギャラリー 第1室  
内 容：頒布作品28点、頒布会作家新作22点  
入場者数：438名

## 9. 美術鑑賞の旅

### ◆日帰り美術鑑賞旅行

#### ◇北九州市立美術館「ルーベンス」

田川市石炭・歴史博物館「山本作兵衛が見た筑豊炭田」

期 日：平成25年 5月22日(水)

参加者：40名

#### ◇横尾忠則現代美術館「横尾忠則どうぶつ図鑑」

兵庫県立美術館「ルノワールとフランス絵画の傑作」

期 日：平成25年 7月26日(金)

参加者：41名

#### ◇神戸市立博物館「ターナー展」

第1班 期 日：平成26年 1月22日(水)

参加者：38名

第2班 期 日：平成26年 1月25日(土)

参加者：37名



ターナー展

#### ◇愛媛県美術館・町立久万美術館「洲之内徹と現代画廊－昭和を生きる目と精神」

期 日：平成26年 3月14日(金)

参加者：70名



久万美術館

### ◆宿泊美術鑑賞旅行

#### ◇「ホキ美術館と春の東京美術館めぐり」2泊3日

期 日：平成25年 4月18日(木)～4月20日(土)

参加者：40名

・訪れた美術館：ホキ美術館、東京国立博物館、国立西洋美術館、三菱一号館美術館、根津美術館、……など

#### ◇「京都～淡路の芸術を巡る 秋の美術鑑賞2日間」1泊2日

期 日：平成25年11月20日(水)～11月21日(木)

参加者：41名

・訪れた美術館：京都市美術館、アサヒビール大山崎山荘美術館、大塚国際美術館

### ◆海外美術鑑賞旅行

#### 「印象派の足跡を訪ねる」南フランス・パリ美術鑑賞の旅

期 日：平成25年 5月27日(月)～6月6日(木)

参加者：17名

・訪れた美術館：ロートレック美術館、ファーブル美術館、プティ・パレ美術館、国立ピカソ美術館、マティス美術館、シャガール美術館他

## 10. その他

### ◆ボランティアのための美術鑑賞会

「日本画の精華－新収蔵作品から」展

期 日：平成26年1月23日(木)

場 所：ひろしま美術館

講 師：古谷 可由（ひろしま美術館学芸部長）

参加者：32名

## Ⅳ 事業実施状況

事業名	事業内容	実施期間
展覧会開催事業 入館者数 348,446名		
所蔵作品展 入館者数 56,739名	広島県ゆかりの美術作品、日本とアジアの工芸作品、1920-30年代の美術作品をテーマとする当館の所蔵作品を展示し、県民の鑑賞に供した。	常時
入館者数 291,707名	県民に多様な美術作品の鑑賞機会を提供し本県の芸術文化の向上に資するため、特別展を開催した。	
夏目漱石の美術世界 入館者数 11,389名	夏目漱石が注目し、小説や日記、美術批評の中などで語った作家や作品を可能な限り集めて展示し、漱石文学と美術との深いつながりを多角的に紹介した。	平成25年3月26日 ～5月6日
広島県主催事業 第1回新県美展 (第65回広島県美術展) 入館者数 8,473名	県民の創作活動の奨励と鑑賞の機会を提供するための公募展を開催した。 応募総数1,268点 大賞 7点、優秀賞 16点、奨励賞 43点 入選数 495点	平成25年6月15日 ～6月30日
アート・アーチ・ひろしま2013 ピース・ミーツ・アート! 入館者数 16,622名	広島市内の3つの美術館とNPO法人セトラひろしまが中心となり、「アート・アーチ・ひろしま2013」という枠組みのもと、時代やジャンルを限定せず、広島ゆかりの作家を多く取り上げながら、美術作品を通して平和のメッセージを鑑賞者へ伝えた。	平成25年7月20日 ～10月14日
尊厳の芸術展 入館者数 21,596名	太平洋戦争中、アメリカで強制収容された日系アメリカ人が困難の中で制作した作品を通じて、彼らの“不屈の精神”や“創造力”を紹介した。	平成25年7月20日 ～9月1日
ゴッホ展 -空白のバリを追う 入館者数 129,752名	従来のファン・ゴッホの作品や人物像に対する定説に対して、ファン・ゴッホ美術館の研究チームが7年の歳月をかけて取り組んできた研究成果に焦点をあて、ファン・ゴッホのバリ時代を中心に絵画及び資料を紹介した。	平成25年7月22日 ～9月23日
江戸の広島をめぐる名品展 入館者数 1,479名	当館の敷地に立地していた、我が国最初の私立美術館とされる浅野家「観古館」の開館100年目を迎えたことにちなみ、「浅野文庫」と当館が所蔵する浅野家ゆかりの書籍や絵画等を紹介した。	平成25年10月5日 ～10月20日
シャガール展 入館者数 60,474名	シャガールが第二次世界大戦後の後半生に手がけた歌劇場や美術館、教会などの公共空間を飾るモニュメントを中心に、シャガールの知られざる仕事を本格的に紹介した。	平成25年11月3日 ～12月25日
広島県主催事業 第2回広島県ジュニア美術展 入館者数 4,705名	県内の児童・生徒達を対象に創作活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供し、次世代の美術力の向上を図ることを目的として公募展を開催した。	平成25年12月18日 ～12月25日
印象派を越えて -点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで 入館者数 28,818名	オランダのクレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に分割主義の系譜を辿り、19世紀から20世紀に至る色彩画家の流れを紹介した。	平成26年1月2日 ～2月16日
第60回日本伝統工芸展広島展 入館者数 8,399名	わが国の優れた工芸技術を受け継いだ陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸作品を、人間国宝から新進気鋭の若手まで広島県内作家を含め日本を代表する作家の作品320点で紹介した。	平成26年2月26日 ～3月16日
学習支援事業	所蔵作品展、特別展等それぞれの事業に応じた学習の機会を提供することにより、県民の美術作品に対する関心を高め、理解を深めた。	
一般		
美術講演会		
643名		
145名	「明治28年の子規と漱石」 講師：竹田 美喜（松山市立子規記念博物館館長）	平成25年4月21日 (14:00～)
68名	「ピカソが描いた永遠のいま -ゲルニカのアイコンが語り継ぐもの」 講師：森川絃一郎（造形表現史研究、広島女学院大学非常勤講師）	平成25年8月10日 (13:30～)
63名	「『ゴッホが描いた星空』に見るゴッホの足跡」 講師：古谷 可由（ひろしま美術館学芸部長） 重藤 嘉代（ウッドワン美術館学芸員） 松本 佳也（広島市こども文化科学館学芸員）	平成25年9月14日 (17:30～)

事業名	事業内容	実施期間
	石川 哲子 (当館主任学芸員) 会場：広島市こども文化科学館プラネタリウム	
167名	「ユダヤの放蕩息子マルク・シャガールの芸術世界の秘密 なぜシャガールの魚はヴァイオリンと時計を抱えて空中に浮かんでいるのか？」 講師：角 伸明 (関西大学・同志社大学非常勤講師、東方ユダヤ文化論専攻)	平成25年11月17日 (13:30～)
200名	「新印象派と楽園のヴィジョン：アナーキズムを超えて」 講師：千足 伸行 (成城大学名誉教授、海の見える杜美術館顧問)	平成26年1月26日 (14:00～)
シンポジウム等		
679名		
170名	「“GAMAN”の芸術とは何か」 講師：薩摩 雅登 (東京藝術大学教授) 石内 都 (写真家)	平成25年7月20日 (13:30～)
215名	「ゴッホ展開催記念 国際シンポジウム」 基調講演：ルイ・ファン・ティルボルフ (オランダ国立ファン・ゴッホ美術館主任研究員) 岡府寺 司 (大阪大学教授) コルネリア・ホンブルク (美術史家、インディペンデント・キュレーター、 元セント・ルイス美術館キュレーター) 尾本 圭子 (ギメ東洋美術館館長付顧問) パネリスト：ルイ・ファン・ティルボルフ、 岡府寺 司、コルネリア・ホンブルク、 尾本 圭子 大原 秀之 (修復家、吉備国際大学教授) 進行：越智裕二郎 (当館館長) 会場：広島国際会議場 国際会議ホール「ヒマワリ」	平成25年7月23日 (13:30～)
54名	「ひろしまの3つの美術館が架けるアーチ」 パネリスト：越智裕二郎 (当館館長) 角 廣勲 (ひろしま美術館長) 福永 治 (広島市現代美術館長) 司 会：古谷 可由 (ひろしま美術館学芸部長)	平成25年8月4日 (13:30～)
240名	「文化と産業、日本 (世界) と広島の見点から伝統工芸の過去・現在・未来を考える」 講師：上田 宗岡 (茶道上田宗箇流家元) 前田 育男 (マツダ株式会社執行役員デザイン本部長) 室瀬 和美 (重要無形文化財「蒔絵」保持者) 司会：滑川 和男 (NHK広島放送局アナウンサー)	平成26年3月1日 (13:30～)
特別対談等		
242名		
151名	「夏目漱石の美術愛」 出演者：芳賀 徹 (静岡県立美術館館長) 古田 亮 (東京藝術大学大学美術館准教授) 越智裕二郎 (当館館長)	平成25年3月26日 (13:30～)
91名	「“ひろしま”との出会い」 出演者：石内 都 (写真家) 梯 久美子 (ノンフィクション作家)	平成25年9月28日 (13:30～)
70名	ゴッホ展プラス「座談会 ゴッホを語る」 出演者：古谷 可由 (ひろしま美術館学芸部長) 重藤 嘉代 (ウッドワン美術館学芸員) 石川 哲子 (当館主任学芸員) 会場：ひろしま美術館講堂	平成25年11月2日 (13:30～)

事業名	事業内容	実施期間
ギャラリートーク 1,931名	特別展等について、展覧会場で作品に接しながら、分かりやすく作品解説をした。	
126名	夏目漱石展 当館主任学芸員 藤崎 綾	平成25年 3月29日 4月5日 4月12日 4月19日 4月26日 5月3日
63名	ピース・ミーツ・アート！展 当館主任学芸員 周々木朝香 当館学芸員 山下 寿水	平成25年 7月25日 8月8日 8月22日 9月5日 9月19日 10月3日
50名	尊厳の芸術展 当館主任学芸員 宮本真希子	平成25年 8月2日 8月9日 8月16日 8月23日
350名	ゴッホ展 当館主任学芸員 石川 哲子	平成25年 8月9日 9月6日 9月13日
414名	シャガール展 当館主任学芸員 福田 浩子	平成25年11月8日 11月15日 11月22日 11月29日 12月6日 12月13日 12月20日
110名	印象派を越えて展 当館主任学芸員 泰井 良	平成26年 1月10日 1月24日 2月7日
525名	日本伝統工芸展	平成26年 2月28日
(40名)	栗根 仁志 (七宝作家)	2月28日
(10名)	宮本真希子 (当館主任学芸員)	3月1日
(62名)	田代 昭夫 (漆芸作家)	3月2日
(71名)	木村 芳郎 (陶芸作家)	3月7日
(34名)	宮本真希子 (当館主任学芸員)	3月7日
(38名)	菅坂 安子 (七宝作家)	3月8日
(52名)	佐藤 常子 (染織作家)	3月9日
(59名)	井戸川 豊 (陶芸作家)	3月9日
(102名)	金城一国齋 (漆芸作家)	3月14日
(42名)	小林 利幸 (木工作家)	3月14日
(15名)	宮本真希子 (当館主任学芸員)	
110名	新県美展	平成25年 6月15日
(40名)	石永 益三 (書系審査員)	

事業名	事業内容	実施期間
	村上 宏治 (写真系審査員)	6月15日
	南昌 伸 (工芸系審査員)	6月15日
	金本 啓子 (絵画系審査員)	6月15日
	谷藤 史彦 (絵画系審査員)	6月15日
	奥田 秀樹 (彫塑系審査員)	6月15日
	笠原 浩 (映像系審査員)	6月15日
	部谷 京子 (映像系審査員)	6月15日
(50名)	金本 啓子 (絵画系審査員)	6月22日
(20名)	金城一國齋 (工芸系招待作家)	6月23日
183名	HPAMコレクション展	
(25名)	作品とお話をしよう。 語り手：福田 浩子 (当館主任学芸員)	平成25年5月5日
(25名)	塩出英雄作品の魅力 語り手：永井 明生 (当館主任学芸員)	平成25年5月6日
(14名)	キュレーターズ・トーク「藤田嗣治《婦人像(リオ)》を中心に」 講師：藤崎 綾 (当館主任学芸員)	平成25年11月24日
(30名)	キュレーターズ・トーク「鯉江良二の“やきもの”たち」 講師：宮本真希子 (当館主任学芸員)	平成25年12月14日
(22名)	「《コミサ》とお話。」 講師：藤崎 綾 (当館主任学芸員)	平成26年2月2日
(23名)	コラボトーク「彫刻×工芸 魅力発見！」 講師：福田 浩子 (当館主任学芸員) 石川 哲子 (当館主任学芸員)	平成26年2月14日
(24名)	「ここが大好き～日本画の多彩な魅力」 講師：永井 明生 (当館主任学芸員)	平成26年2月16日
(10名)	「Around Thirty -大好きっ!を語る」 講師：山下 寿水 (当館学芸員) 山本 恵子 (当館指定管理者学芸員)	平成26年3月23日
(10名)	「模様でつながるアジアの心」 講師：宮本真希子 (当館主任学芸員)	平成26年3月23日
フライダイ・イブニング・トーク 36名	担当学芸員による展示全般に関する見どころ解説を行った。	
36名	日本伝統工芸展	
(10名)	講師：宮本真希子 (当館主任学芸員)	平成26年2月28日
(11名)	講師：宮本真希子 (当館主任学芸員)	3月7日
(15名)	講師：宮本真希子 (当館主任学芸員)	3月14日
美術講座 928名	特別展等に関連したテーマのもと、学芸員を講師として開催した。	
(50名)	「Love Soseki ～夏目漱石が愛したモノ～」 講師：藤村 直己 (広島テレビ)	平成25年3月31日 4月14日 (10:30～/13:30～)
(70名)	「文豪・夏目漱石の眼力」 講師：越智裕二郎 (当館館長)	平成25年4月7日 (13:30～)
(80名)	「『夏目漱石の美術世界』散策」 講師：藤崎 綾 (当館主任学芸員)	平成25年4月28日 (13:30～)
(24名)	「ノグチを再考する-いまの広島とつながるアート」 講師：山下 寿水 (当館学芸員)	平成25年8月16日 (13:30～)
(13名)	「穏やかなる情景-美術が描く平和のかたち」 講師：山下 寿水 (当館学芸員)	平成25年9月23日 (13:30～)
(138名)	「ファン・ゴッホの最晩年～その色彩の魅力～」 講師：古谷 可由 (ひろしま美術館学芸部長)	平成25年7月27日 (13:30～)

事業名	事業内容	実施期間
(90名)	「ファン・ゴッホの初期の画業～ニューネン時代の農民画を中心に～」 講師：重藤 嘉代（ウッドワン美術館学芸員）	平成25年8月11日 (13：30～)
(210名)	「空白のパリを追う」 講師：石川 哲子（当館主任学芸員）	平成25年9月8日 (13：30～)
(78名)	「知られざるシャガールの仕事 光の芸術－ステンドグラス」 講師：福田 浩子（当館主任学芸員）	平成25年11月23日 (13：30～)
(80名)	「モンドリアンの芸術」 講師：越智裕二郎（当館館長）	平成26年1月19日 (13：30～)
(95名)	「ゴッホからモンドリアンまで－色彩の自立－」 講師：泰井 良（当館主任学芸員）	平成26年2月9日 (13：30～)
平山郁夫連続セミナー 184名	「平山郁夫絵画の美と人生を語る」をテーマにして連続セミナーを開催した。	
(41名)	第1回	8月3日
(53名)	第2回「初めて見たシルクロード～トルコ・カッパドキア～」	9月7日
(62名)	第3回「中国人から見た日本画の魅力」	10月5日
(28名)	第4回「文化財赤十字の構想と実践」	11月2日
美術作品鑑賞教室C 1,672名	所蔵作品や特別展について、当館の館長及び学芸員を講師として公民館や生涯学習センターなどで、見どころをわかりやすく紹介した。	
(29名)	海田町立海田西小学校（館長 越智裕二郎）	平成25年6月13日
(29名)	世羅町立甲山小学校（館長 越智裕二郎）	6月28日
(300名)	修道中学校（主任学芸員 泰井 良）	7月9日
(60名)	広島市口田公民館（館長 越智裕二郎）	7月12日
(25名)	府中市立府中明郷小学校（主任学芸員 福田 浩子）	7月29日
(20名)	北広島町図書館（館長 越智裕二郎）	8月3日
(20名)	福山市常金丸公民館（主任学芸員 福田 浩子）	8月9日
(50名)	竹原市立東野公民館（館長 越智裕二郎）	8月20日
(12名)	広島中央特別支援学校（主任学芸員 福田 浩子）	8月28日
(31名)	広島市大塚公民館（主任学芸員 石川 哲子）	8月28日
(85名)	福山市立日吉台小学校（館長 越智裕二郎）	8月30日
(20名)	広島市利松公民館（館長 越智裕二郎）	9月9日
(21名)	廿日市市立原小学校（主任学芸員 石川 哲子）	9月11日
(5名)	広島県立河内高等学校（主任学芸員 福田 浩子）	9月13日
(132名)	大竹市立小方中学校（主任学芸員 藤崎 綾）	10月17日
(35名)	広島県立賀茂北高等学校（館長 越智裕二郎）	10月25日
(20名)	竹原市立大井公民館（主任学芸員 福田 浩子）	11月11日
(60名)	広島市矢野公民館（主任学芸員 福田 浩子）	11月14日
(7名)	広島県立河内高等学校（主任学芸員 福田 浩子）	11月18日
(60名)	廿日市市立四季が丘小学校（主任学芸員 石川 哲子）	11月20日
(40名)	広島市三篠公民館（主任学芸員 福田 浩子）	11月21日
(6名)	広島県立広島中央特別支援学校（主任学芸員 宮本真希子）	11月21日
(20名)	広島市利松公民館（主任学芸員 福田 浩子）	11月25日
(152名)	広島市立古田小学校（主任学芸員 福田 浩子）	11月29日
(127名)	熊野町立熊野東中学校（主任学芸員 福田 浩子）	12月4日
(77名)	広島市立落合東小学校（学芸員 山下 寿水）	12月5日
(50名)	三次看護専門学校（館長 越智裕二郎）	平成26年1月20日
(34名)	広島県立河内高等学校（主任学芸員 宮本真希子）	1月22日
(28名)	広島市立鈴が峰小学校（主任学芸員 福田 浩子）	1月24日
(99名)	呉市立音戸小学校（主任学芸員 藤崎 綾）	1月28日
(18名)	廿日市市立津田小学校（主任学芸員 宮本真希子）	3月3日
ワークショップ 2,264名	所蔵作品展及び開催中の特別展に関連したワークショップを開催した。	
149名	ピース・ミーツ・アート！展	

事業名	事業内容	実施期間
(18名)	「あなただけの思い出のコラージュをつくろう！」 講師：戸川幸一郎（絵本絵画造形作家）	平成25年8月30日 (11:30～) (14:30～)
(50名)	「2000年後のひろしまを発掘しよう！」 講師：柴川 敏之（美術家、就実短期大学教授）	平成25年10月6日 (13:00～)
(81名)	「海に還るプロジェクト」 講師：山本 基（美術家、本展出品作家）	平成25年10月14日 (17:00～)
2,073名	シャガール展	
(2,073名)	「あなたもオペラ座の舞台に立ってみませんか？」 衣装制作：石田あさきトータルファッション専門学校	平成25年11月3日 ～平成25年12月25日
30名	印象派を越えて展	
(30名)	点描ワークショップ「ドットで描こう。ひかりといろ」 講師：松尾真由美（広島市立大学講師）	平成26年2月2日 (14:00～)
12名	HPAMコレクション展	
(12名)	「たかがヒモ結び、されどヒモ結び」 講師：福田 浩子（当館主任学芸員）	平成26年2月23日
各種イベント		
489名	開催中の特別展にちなんだイベントを開催した。	
51名	尊厳の芸術展	
(51名)	いちだい知のトリアスロン出張講座&芸術鑑賞（広島市立大学共催） 講座「米国日系人強制収容所における芸術と工芸」 講師：加治屋健司（広島市立大学芸術学部准教授） ギャラリートーク 講師：宮本真希子（当館主任学芸員）	平成25年7月28日 (13:30～)
126名	シャガール展	
(126名)	ちゅーピー見どころ鑑賞会 「シャガール展の見どころ」 講師：福田 浩子（当館主任学芸員）	平成25年11月22日 (14:00～)
233名	日本伝統工芸展	
(53名)	アートと私の美味しい時間 “日本酒が繋ぐ、イタリア料理と伝統工芸” 特別鑑賞会及びトークイベント ゲスト：木村 芳郎（陶芸家、本展出品作家） 坂田 興平（賀茂鶴酒造常任顧問） 司 会：越智裕二郎（当館館長）	平成26年2月28日 (17:00～)
(180名)	きものDE美術館 着物での本展入館者にプレゼント進呈	
79名	ウェブポーター	
(7名)	夏目漱石展	平成25年3月29日
(6名)	ピース・ミーツ・アート！展	平成25年8月2日
(27名)	ゴッホ展	平成25年7月26日
(23名)	シャガール展	平成25年11月8日
(11名)	印象派を越えて展	平成26年1月10日
(5名)	日本伝統工芸展	平成26年2月28日
コンサート		
5,319名	開催中の特別展に関連したコンサートや木管楽器や弦楽器などの演奏会を1階メインロビー等で開催することにより、来館者に美術鑑賞と一体となった憩いのひとときを提供した。	
4,449名	ロビーコンサート	
(45名)	演奏者：広島文化学園大学	平成25年4月6日
(60名)	演奏者：広島文化学園大学	4月20日
(45名)	演奏者：佐々木 著、清水伸二郎	4月27日
(145名)	演奏者：上田 愛彦、河越 香織	5月4日

事業名	事業内容	実施期間
(35名)	演奏者：森岡 奏山、尼子 琴美、石中 裕美	6月15日
(35名)	演奏者：広島文化学園大学	6月22日
(60名)	演奏者：広島文化学園大学	6月29日
(45名)	演奏者：広島文化学園大学	7月20日
(125名)	演奏者：三島 良子	7月27日
(145名)	演奏者：藤井 康夫、笠井 悦子、城本 朝子	8月3日
(180名)	演奏者：石原有希子、奥村 静香	8月10日
(165名)	演奏者：上田 愛彦、河越 香織、山本 綾子	8月17日
(150名)	演奏者：白井 朝香	8月24日
(130名)	演奏者：田中愛優子、奥村 静香	8月31日
(150名)	演奏者：城本 朝子、竹本 直子、河越 香織	9月7日
(200名)	演奏者：永井 祐子、松岡由希子	9月14日
(190名)	演奏者：上野 眞樹、吉野 妙	9月21日
(40名)	演奏者：平井千香子、田中愛優子	9月28日
(30名)	演奏者：広島文化学園大学	10月5日
(40名)	演奏者：広島文化学園大学	10月12日
(550名)	演奏者：大植 英次、秋津 智承	11月9日
(95名)	演奏者：松岡由希子、永井 祐子	11月16日
(110名)	演奏者：広島文化学園大学	11月23日
(200名)	演奏者：上野 眞樹、吉野 妙	11月30日
(95名)	演奏者：城本 朝子、妹尾 梨絵、笠井 悦子	12月7日
(110名)	演奏者：白井 朝香	12月14日
(120名)	演奏者：竹本 直子、城本 朝子、河越 香織	12月21日
(165名)	演奏者：白井 朝香、光原 大樹	1月2日
(180名)	演奏者：福原 一聞、立川 淑恵、岩村 尚子	1月3日
(110名)	演奏者：森岡 奏山、若岡 史子、福島 由美	1月4日
(110名)	演奏者：石原有希子、奥村 静香、浅田 真生	1月11日
(85名)	演奏者：エリザベト音楽大学	1月18日
(60名)	演奏者：エリザベト音楽大学	1月25日
(85名)	演奏者：平福 知夏、三島 良子	2月1日
(65名)	演奏者：高口かれん	2月8日
(75名)	演奏者：平井千香子、中尾 友香	2月15日
(74名)	演奏者：光原 大樹	3月1日
(77名)	演奏者：広島文化学園	3月8日
(68名)	演奏者：森岡 奏山、若岡 史子、福島 由美	3月15日
150名	ゴッホ展 記念コンサート 演奏者：白井 朝香（フランスシスター奏者）	平成25年8月24日
720名	シャガール展	
(520名)	オペラコンサート「シャガールに捧ぐ～音で織りなす幻想世界～」 出演：柳 清美（ソプラノ）、藤田 卓也（テノール）、 山岸 玲音（バリトン）、岡山 千穂（ピアノ） 協力：ひろしまオペラ・音楽推進委員会	平成25年11月4日
(200名)	記念コンサート「縁の下のヴァイオリン弾き」 出演：上野 眞樹（ヴァイオリン）、吉野 妙（ピアノ）	平成25年11月30日
ハイビジョンブース	当館制作のハイビジョン番組（22番組）の視聴	常時
デジタルミュージアム	当館の案内や所蔵作品の検索、世界の美術館の情報などを検索	常時
美術館ホームページ運用	当館のホームページで、当館の情報を自由に検索 <a href="http://www.hpam.jp/">http://www.hpam.jp/</a>	常時
児童・生徒		
美術作品鑑賞学習キット運用事業		



事業名	事業内容	実施期間
	「もようを見つける。もようで伝える。」 講師：宮本真希子（当館主任学芸員） 山本 恵子（当館指定管理者学芸員）	
24名	日本伝統工芸展 「『鬼の土鈴』を作ろう！」 講師：今田 拓志（陶芸家、第60回展出品）	平成26年3月2日
ゲンバ探検ツアー 32名	美術館と縮景園が連携して、普段見ることのない美術館の裏側や縮景園ならではの歴史や園内環境を紹介した。	平成25年8月4日
親子ギャラリートーク 16名	子どもたちが保護者とともに美術作品に親しめるよう、主に小学5、6年生（特別支援学校の相当学年を含む。）を対象として、学芸員又は友の会ギャラリーガイドが所蔵作品展示をわかりやすく解説した。	毎月第4土曜日 (11:00～)
ワークシートの作成	所蔵作品を鑑賞する児童・生徒に対し、学習補助教材として主要作品のワークシートを提供した。 (現在290種)	
日本伝統工芸展出張授業 146名	希望校に日本工芸会正会員等が出向いて授業を行うことで、児童の制作の現場に接する機会を提供し、伝統工芸への理解を促進した。	
(28名)	広島市立鈴が峰小学校 講師：馬船 宏明（漆芸）	平成25年11月19日
(26名)	廿日市市立津田小学校 講師：菅坂 安子（七宝）	12月4日
(54名)	呉市立音戸小学校 講師：小林 利幸（木工）	12月12日
(17名)	呉市立倉橋小学校 講師：粟根 仁志（七宝）	平成26年2月6日
(21名)	福山市立湯田小学校 講師：山根 宏造（陶芸）	2月14日
手で見る展覧会	縮景園の「梅実収穫行事」に併せ、特別支援学校（視覚障害）の児童・生徒が作品に直接触れて美術を鑑賞する機会を提供した。	平成25年5月28日
各種リーフレット作成	施設案内、年間スケジュール等の美術館の活動について、広く県民へ告知した。	
美術館ネットワーク事業	県内に所在する美術館等が相互に連携を深めることにより、各施設の運営の充実と美術館活動の活性化を図った。 主な活動として、加盟館共同のパンフレットの作成、職員研修等を行った。	
アート・トライアングル	広島市内にある当館、ひろしま美術館、広島市現代美術館の3館の合同活動。 共同事業として「アート・アーチ・ひろしま2013」を実施することにより、広報・集客効果の相乗効果を期する。	
三館共同パンフレット	3館の展覧会スケジュールを併せて掲載・提供することにより、県民の利便性を図った。	
友の会ギャラリーガイド	県立美術館友の会のボランティアのギャラリーガイドにより所蔵作品展の解説をした。	
(一般ガイド) 859名 (団体ガイド) 473名	火～金曜日の14:00から実施（土・日・祝日は11:00からも実施）	
展示施設等貸出	展示施設等（県民ギャラリー・講堂）を貸出することにより、生涯学習の発表の場及び機会を提供し、県民の創作活動を支援した。	
観覧者等 138,024名	県民ギャラリー 利用団体数 93団体、利用日数 延 558日 講堂（県民ギャラリー全室利用に併せ、展示室として利用）	平成25年4月1日 ～平成26年3月31日
利用者 7,310名	講堂 利用団体数 38団体、利用日数 62日	平成25年4月1日 ～平成26年3月30日

## V 業務一覧

広島県立美術館学芸員が平成25年度に行なった業務を報告する。

内容は、1. 美術館内での業務等（館主体事業）、2. 美術館外での業務等（他からの招聘等）、3. 調査・研究活動、4. 社会貢献活動等、に分類・配列し、記載している。

学芸員の構成及び担当分野は次のとおり。

宮本真希子（主任学芸員、工芸）	角田 新（主任学芸員、日本洋画）
福田 浩子（主任学芸員、工芸）	石川 哲子（主任学芸員、彫塑）
永井 明生（主任学芸員、日本画）	藤崎 綾（主任学芸員、日本洋画）
山下 寿水（学芸員、西洋美術）	泰井 良（主任学芸員、静岡県立美術館からの研修員）

### ■ 宮本真希子

#### 1 美術館内での業務等

##### 【担当展覧会】

- ・特別展「尊厳の芸術展－The Art of Gaman」(主担当)
- ・広島県立美術館・広島市立中央図書館 連携企画「江戸の広島をめぐる名品展」(開催補助)
- ・特別展「第60回日本伝統工芸展」(主担当)
- ・所蔵作品展 3期「紹介します。広島県立美術館の新しい仲間たち－鯉江良二の焼物たち」(彫刻展示スペース、第1展示室)(主担当)
- ・所蔵作品展 4期「大好きっ！学芸員が愛する作品たち－模様(文様)でつながるアジアの心」(第4展示室半室)

##### 【教育支援(教育普及)】

- ・広島県主催公募展「第1回新県美展(第65広島県美術展)」(主担当)
- ・博物館実習(主担当)  
見学実習：5/29(安田女子大学文学部日本文学科62名)、6/27(安田女子大学家政学部生活デザイン学科4年17名)  
館園実習：8/22～8/27(5日間、5大学18名)
- ・「美術館と学校教育の連携」に関するレクチャー：5/30(広島大学外学院教育学研究科院生10名)
- ・美術作品鑑賞教室(作品持参)(主担当)  
10/30(安芸太田町立加計小学校5-6年生27名)  
11/6(北広島町立大朝中学校1-3年生61名)  
1/9(県立尾道特別支援学校幼稚部～高等部76名)
- ・美術作品鑑賞教室(出張講座)  
11/21(「漆芸家・六角紫水」、県立広島中央特別支援学校中学部6名)、1/22(「日本漆芸史」、県立河内高等学校1-2年生34名)
- ・「尊厳の芸術展－The Art of Gaman」  
出張授業：6/28(広島市立袋町小学校6年生33名)  
ギャラリートーク：8/2・9・16・23(8-15名)  
いちだい知のトライアスロン出張講座&芸術鑑賞(広島市立大学共催)における作品解説：7/28(51名)
- ・「第60回日本伝統工芸展」  
ギャラリートーク：2/28、3/7、3/14(10-15名)  
親子ガイドブック作成(B6判16ページ、6000部)
- ・第3期所蔵作品展ギャラリートーク：12/14
- ・第4期所蔵作品展ギャラリートーク：3/28、ワークショップ「もようを見つける。もようで伝える。」：3/21(幼児・児童12名と保護者)

##### 【広報活動】

- ・『中国税理士会報』No.591(4月号)「観てみたい郷土の一品-」寄稿「川之辺一朝作《金梨地瀧山水蒔絵料紙文庫》作品紹介」

- ・「尊厳の芸術展－The Art of Gaman」ラジオ出演：NHK広島「金曜夕方どお～かいの」（7/26）
- ・『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』No.65（10月号）寄稿「所蔵作品紹介 鯉江良二」
- ・『中国化薬株式会社 ふれあい』No.65（秋号、10月発行）「日本の名品」寄稿「六角紫水作《海辺と湖辺の図小衝立》作品解説」
- ・「第60回日本伝統工芸展」寄稿（作品解説10篇）：朝日新聞（2/24、2/28、3/1、3/6、3/7）
- ・「第60回日本伝統工芸展」テレビ出演：NHK広島「ひろもり」（3/5）、ラジオ出演：NHK広島「金曜どお～かいの」（2/21）

## 2 美術館外での業務等

### 【講座・講演・シンポジウム等】

- ・第57回岩国市美術展覧会－彫刻・工芸・デザイン部門－ギャラリートーク（9/14）

## 3 社会貢献活動

### 【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・日本漆工史学会、全国美術館会議教育普及部会
- ・第57回岩国市美術展覧会審査員－彫刻・工芸・デザイン部門－（9/12）

## ■ 角田 新

## 1 美術館内での業務（静岡県立美術館）

### 【担当展覧会】

- ・特別展「夏目漱石の美術世界展（静岡会場）」（副担当）
- ・移動美術展 主担当
  - 1）小山町総合文化会館（静岡県駿東郡小山町）  
9月19日～29日（11日間）
  - 2）袋井市月見の里学遊館（静岡県袋井市上山梨）  
10月18日～10月30日（13日間）
- ・特別展「佐伯祐三とパリ」（副担当・次年度準備）

### 【教育支援（教育普及活動）】

- ・実技・講座セミナー（主担当）
- ・実技外イベント（主担当）
- ・団体鑑賞に対するオリエンテーション（7/23、10/22、11/19）
- ・夏目漱石展ボランティア内覧会（7/16）
- ・ギャラリー・ツアー（11/14）
- ・ブロンズ清拭ワークショップ（12/16）
- ・中学生事業（12/17）

### 【美術館評価システム推進】

- ・美術館評価事業の総括に関すること（主担当）
- ・美術館評価及び自己評価システムに関すること（主担当）
- ・第三者評価委員会に関すること（主担当）

### 【館外出版物への執筆】

### 【広報活動】

- ・10/23 ラジオFmHi（第1部所蔵作品展、第2部二見彰一展）

## 2 美術館外での業務等

### 【講座・講演・シンポジウム等】

- ・小山町移動美術館ギャラリートーク（9/21）
- ・袋井市中央公民館市民講座「静岡県立美術館とその収蔵作品について」（10/18）
- ・袋井市月見の里移動美術館ギャラリートーク（10/19）
- ・伊豆の国市航空高校出張授業（11/21）

### 3 調査研究活動

#### 【館内外での調査・研究】

高橋 秀（7/26）、伊藤 隆史（7/30）、丹羽 勝次（9/9）、入野 忠芳（10/7）、

### 4 社会貢献活動

#### 【委員】

・「美術ひろしま」編集委員

## ■ 福田 浩子

---

### 1 美術館内での業務等

#### 【担当展覧会】

- ・所蔵作品展第1期「恋は宇宙的な活力である 夏目漱石とその時代に思いを馳せて」（主担当）
- ・所蔵作品展第2期「美術館のこども部屋ver.1」（副担当）
- ・所蔵作品展第4期「大好きっ!」（第7コーナー担当）
- ・アート・アーチ・ひろしま2013サテライト全般（主担当）
- ・「シャガール展」（主担当）
- ・「第60回日本伝統工芸展」（副担当）

#### 【教育支援（教育普及）】

- ・美術講座「知られざるシャガールの仕事 光の芸術－ステンドグラス」（11/23）
- ・シャガール展ギャラリートーク（11/8、11/15、11/22、11/29、12/6）
- ・シャガール見どころトーク（12/6、12/13、12/20）
- ・ちゅーピー見どころ鑑賞会「シャガール展の見どころ」（11/22）
- ・所蔵作品展コラボトーク「彫刻×工芸 魅力発見!」（2/14）
- ・所蔵作品展ワークショップ「たかがヒモ結び、されどヒモ結び」（2/23）
- ・出張講座「シルクロードのパラオを作って食べよう!」（7/29）府中市立府中明郷小学校、  
（8/9）福山市常金丸公民館、（11/11）竹原市立大井公民館、（11/18）広島県立河内高等学校
- ・出張講座「手で見る中央アジアの工芸+パラオを作って食べよう!」（8/28）広島中央特別支援学校
- ・出張講座「シルクロードの工芸と民族衣装」（9/13）広島県立河内高等学校、（12/4）熊野町立熊野東中学校
- ・出張講座「展覧会ができるまで」（11/14）広島市矢野公民館
- ・出張講座「シャガール展の見どころと舞台裏」（11/21）広島市三篠公民館、（11/25）広島市利松公民館、  
（11/29）広島市立古田小学校
- ・出張講座「布をめぐるミクロとマクロのおはなし」（1/24）広島市立鈴が峰小学校

#### 【研修・自己啓発】

- ・全国美術館会議学芸員研修会（3/3）

#### 【広報活動】

- ・10/13・10/20・10/27 中国新聞予習シリーズ広告3回連載（シャガール展）
- ・12/14 中国新聞シャガール展寄稿（シャガール展）
- ・11/3 RCCラジオ桜井弘規のおいくら万円（シャガール展）
- ・11/5 RCCラジオカー中継（シャガール展）
- ・11/11 RCCラジオおはようラジオ（シャガール展）
- ・11/29 RCCラジオ日々感謝ヒビカン（シャガール展）
- ・11/1 RCCテレビイマなま3チャンネル（シャガール展）
- ・11/11、11/18、11/25 RCCテレビエンタがR（シャガール展）
- ・11/4 エフエムはつかいち展覧会紹介（シャガール展）
- ・11/12 エフエム尾道展覧会紹介（シャガール展）
- ・11/14 エフエムふくやま展覧会紹介（シャガール展）
- ・11/21 FMちゅーピー展覧会紹介（シャガール展）
- ・10/30 広島ホームテレビ開梱取材他ニュース（シャガール展）
- ・11/12 広島ホームテレビJステーション「学芸員のお仕事」
- ・11/29 NHKひろもり（シャガール展）
- ・12/5 毎日新聞備後版「毎日美術館」（シャガール展）

- ・中国新聞社『フェニックス』10・11月号（シャガール展）
- ・『広島県立美術館友の会会報 色絵馬』Vol.65（シャガール展）
- ・『Grandeひろしま』Vol.3冬号（グリーンブリーズ）（シャガール展）
- ・『春秋』12月号（春秋社）（シャガール展）
- ・「ブンカッキーネットひろしま」オンラインマガジン（ひろしま文化振興財団）（シャガール展）
- ・『広島映画サークル協議会機関紙 スクリーン』No.547（広島映画サークル協議会）（シャガール展）

## 2 美術館外での業務等

### 【講座・講演・シンポジウム等】

- ・文化服装学院広島校「中央アジアの民族服」講師（5／8）
- ・「広島県立美術館館蔵品データベース構築について」第19回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」立命館大学アート・リサーチセンター、人文系データベース協議会（11／30）

## 3 調査研究活動

### 【館外出版物への執筆】→広報的（展覧会、所蔵作品）は1の広報活動へ

- ・「広島県立美術館館蔵品データベース構築について」第19回公開シンポジウム「人文科学とデータベース」予稿集、立命館大学アート・リサーチセンター、人文系データベース協議会

## 4 社会貢献活動

### 【所属学会】

- ・日本中央アジア学会、漆工史学会、全国美術館会議情報・資料研究部会

### 【審査】

- ・環境月間ポスター審査員・審査評（4－5月）

## ■ 石川 哲子

---

## 1 美術館内での業務等

### 【担当展覧会】

- ・特別展「ゴッホ展－空白のパリを追う」
- ・特別展「ポーラ美術館コレクション モネ、ルノワールからピカソまで」（次年度開催準備）

### 【教育支援（教育普及）】

- ・美術講座 ゴッホ展  
「空白のパリを追う」9／8  
中国新聞ちゅーピー美術サロン「ゴッホをめぐる地元3館学芸員のコラボトーク」7／22
- ・出張講座  
「ゴッホ展 空白のパリを追う」広島市大塚公民館 8／28、  
「ゴッホ展 空白のパリを追う」廿日市市立原小学校 9／11、  
「野外彫刻をめぐる旅～広島平和記念公園から」廿日市市立四季が丘小学校 11／20
- ・作品解説会  
ゴッホ展「見どころ・トーク」8／9（2回）、9／6（2回）、9／13  
ゴッホ展 中国新聞読者解説会 8／7、8／29、9／3  
所蔵作品展コラボトーク「彫刻×工芸 魅力発見！」（2／14）

### 【広報活動】

- ・テレビ  
NHK広島放送局 夕方ニュース 7／25  
NHK広島放送局「ひろもり」（生放送）8／29
- ・ケーブルテレビ  
ふれあいチャンネル「ア ミュージアムレター」8／19～9／15
- ・ラジオ  
南日本放送「古山かおりのモーニングスマイル「明石屋 行ってみ大使・食べ大使」」7／11  
中国放送 RCCラジオカー「ヒビカン 街頭ステーション 走れラジオカー」7／22  
FMふくやま「おはようときめきタイム」7／26

FM東広島「ハッピーモーニングサタデー」 8/3  
FM尾道「ユウガッタ・レディオ」 8/28  
・新聞・雑誌  
季刊誌『Grandeひろしま』夏号 グリーンブリーズ  
「ゴッホ展 空白のパリを追う」毎日新聞備後版8/8  
「ゴッホと日本文化」中国新聞9/7  
「ゴッホ展 空白のパリを追う」『色絵馬（友の会会報）』N0.64  
『美術の窓』8月号、株式会社生活の友社  
『中国新聞フェニックス』8・9月号、中国新聞社

## 2 美術館外での業務等

### 【講座・講演・シンポジウム等】

比治山大学公開講座「ゴッホ展 空白のパリを追う」広島県立美術館講堂 8/3、  
講演会&プラネタリウム上映「『ゴッホが描いた星空』に見るゴッホの足跡」広島市こども文化科学館プラネタリウム 9/14、座談会「ゴッホを語る」ひろしま美術館 11/2

## 3 調査研究活動

### 【館内出版物への執筆】

『ピース・ミーツ・アート展』図録、作家解説  
『ゴッホ展開催記念 国際シンポジウム報告書』翻訳、編集

## 4 社会貢献活動

### 【所属学会、外部委員、審査員など】

美術史学会、美学会  
広島市立大学芸術資料館作品購入外部評価員  
鳥取県展彫刻部門審査員、広島県献血推進ポスター審査員

## ■ 永井 明生

---

## 1 美術館内での業務等

### 【担当展覧会】

- ・所蔵作品展第1期「ひろしま菓子博2013応援企画 和菓子の色彩」
- ・特別展「【アート・アーチ・ひろしま2013】ピース・ミーツ・アート！」（副担当）
- ・平成26年度特別展「星星會展」の開催準備（主担当）

### 【教育支援（普及活動）】

- ・所蔵作品展ギャラリートーク：5/6、5/23（友の会総会対応）、H26.2/16

### 【広報活動】

- ・ラジオ：FMちゅーピー 5/16
- ・広島県立美術館友の会会報『色絵馬』：特別展紹介（星星會展）

## 2 美術館外での業務等

### 【講演会、シンポジウム等】

- ・星星會展ギャラリートーク：9/6（北海道立近代美術館）、H26.1/5（日本橋高島屋）、2/8（名古屋松坂屋）、3/11（京都文化博物館）

## 3 調査研究活動

### 【館内外での調査・研究】

- ・年間を通じ、日本画を中心とした所蔵作品及び寄贈予定作品（船田玉樹、浜崎左髪子）の調査研究を継続的に実施

### 【館内出版物への執筆】

- ・「『平和』を軸に、美術の未来を探る」『【アート・アーチ・ひろしま2013】ピース・ミーツ・アート！』図録
- ・「児玉希望と戊辰会（二）－結成から解散までの軌跡－」『広島県立美術館研究紀要 第17号』

#### 【館外出版物への執筆】

- ・「日本画の未来を見据えて」『日本画の伝統と未来へ－星星會展』図録（企画・発行：星星會展実行委員会）
- ・「児玉希望の多彩な魅力」『児玉希望展：伝統に学び、伝統を超えて』図録（華鶴大塚美術館）

#### 4 社会貢献活動等

##### 【所属学会、外部委員等】

- ・広島芸術学会、大正イマジユリィ学会
- ・日経日本画大賞展推薦委員
- ・全国美術館会議教育普及部会

## ■ 藤崎 綾

---

#### 1 美術館内での業務等

##### 【担当展覧会】

- ・特別展「夏目漱石の美術世界展」（主担当）
- ・広島県美術展（副担当）
- ・特別展「平山郁夫展」（次年度・主担当：1月～）
- ・所蔵作品展Ⅲ期「紹介します。広島県立美術館の新しい仲間たち」（副担当）

##### 【教育支援（教育普及）】

- ・夏目漱石展：旅行団体向け解説会：4／1、4／2、4／4
- ・夏目漱石展ギャラリートーク：3／29、4／5、4／12、4／19、4／26、5／3
- ・夏目漱石展美術講座：4／28『『夏目漱石の美術世界』散策』
- ・夏目漱石展：展示プラン等解説・作品解説（4／19広島工業大学）
- ・博物館実習（作品取扱い）：8／23
- ・美術作品鑑賞教室・出張講座：10／17（大竹市立小方中学校）、1／28（呉市立音戸小学校）
- ・キュレーターズトーク：11／24「藤田 嗣治《婦人像（リオ）》を中心に」、2／2「《コミサ》とお話」
- ・所蔵作品展新収蔵品解説：11／30（岡山県立大学）
- ・友の会ギャラリーガイドレクチャー：12／14

##### 【広報活動】

- ・『毎日新聞』（備後版）：4／11（夏目漱石展）
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ投稿（4／16・4／23夏目漱石展、10／20「所蔵作品展から 鬨光《帽子をかむる自画像》」、11／20「所蔵作品展から 山路 商《自画像》」・メルマガ（4／16夏目漱石展、10／21所蔵作品展見どころ紹介 新収蔵品・山路 商《母の像》《自画像》、11／29所蔵作品展見どころ紹介 新収蔵品・曾我蕭白《伯顔図》、2／2所蔵作品展から 鬨光《コミサ（洋傘による少女）》）
- ・エフエムふくやま：4／4（夏目漱石展）
- ・鹿児島MBCラジオ：4／18（夏目漱石展）
- ・エフエムはつかいち：4／23（夏目漱石展）

#### 2 美術館外での業務等

- ・三原市主催『生誕90年 秦森康屯展』監修
- ・秦森康屯展ギャラリートーク：5／30、6／18（三原市立沼北小学校団体鑑賞対応）
- ・南薫造生誕130年記念事業・対談「よみがえる芸南文化 南薫造、永瀬義郎を囲む人々」：8／24（呉市安浦町）

#### 3 調査研究活動

##### 【館内外での調査・研究】

- ・広島ゆかり作家・作品調査：鬨光、入野忠芳、太田忠、高橋秀、殿敷侃、福井芳郎ら（4／3、4／5、4／28、5／17、6／19、7／26、8／17、10／7、11／13、11／21、11／28）

##### 【館内出版物への執筆】

- ・（作品解説）（作家解説）『ピース・ミーツ・アート展』図録
- ・（作品解説）『平山郁夫展』図録

##### 【館外出版物への執筆】

- ・広島芸術学会会報レポート

- ・「秦森康屯展に寄せて」『生誕90年 秦森康屯』展図録
- ・南 薫造画伯生誕130年記念事業対談「よみがえる芸南文化 南 薫造、永瀬義郎を囲む人々」講演概要及び講演録画DVD

#### 4 社会貢献活動等

- ・公益社団法人青少年育成広島県民会議「家庭の日」図画の部審査員

### ■ 山下 寿水

#### 1 美術館内での業務

##### 【担当展覧会】

- ・特別展「ピース・ミーツ・アート！」(主担当)
- ・アート・アーチ・ひろしま2013サテライト展示「後藤靖香、小西紀行、戸川幸一郎展 家族の肖像－親密性の美学」、「岡部昌生、柴川敏之展－未来の考古学」(主担当)
- ・特別展「第2回広島県ジュニア美術展」(主担当)
- ・特別展「印象派を超えて－点描の画家たち」(副担当)
- ・平成25年度ネットワーク美術館展「広島県立美術館名品選－平山郁夫と文化勲章受章者」(主担当)
- ・特別展「星屋會展－日本画の伝統と未来へ」(主/副担当・次年度準備)
- ・特別展「榮久庵憲司の世界展」(主/副担当・次年度準備)

##### 【教育支援(教育普及)】

- ・博物館実習(副担当)
- ・団体利用対応(副担当)：6/29、7/23
- ・「ピース・ミーツ・アート！」ギャラリートーク(一般向け)：7/25、8/8、8/22、9/5、9/19、10/3
- ・「ピース・ミーツ・アート！」ギャラリートーク(団体向け)：7/23、7/31、9/4、9/11、9/30
- ・「印象派を超えて－点描の画家たち」解説会(団体向け)：1/16、1/17、1/24、2/6
- ・美術作品鑑賞教室(副担当)：10/30(安芸太田町立加計小学校)、11/6(北広島町立大朝中学校)、1/9(県立尾道特別支援学校)
- ・美術作品鑑賞教室・出張講座「ダリって誰?」：12/5(広島市立落合東小学校)
- ・「広島県立美術館名品選－平山郁夫と文化勲章受章者」ギャラリートーク：1/11
- ・「大好きっ!学芸員が愛する作品たち」ギャラリートーク「Around Thirty－大好きっ!を語る」(当館指定管理者学芸員・山本 恵子と共同実施)：3/23
- ・リビング新聞主催 バックヤードツアー：8/20

##### 【広報活動】

- ・「展覧会の舞台裏 山本 基《迷宮》」『広島県立美術館友の会会報色絵馬』62号
- ・「所蔵作品紹介 パウル・クレー」『広島県立美術館友の会会報色絵馬』65号
- ・「ピース・ミーツ・アート!」：ラジオ出演(6/5、7/4、7/23、8/6、9/5)
- ・「印象派を超えて－点描の画家たち」：ラジオ出演(12/4、1/1、2/6)
- ・広島県立美術館ホームページ・ブログ執筆：「ピース・ミーツ・アート!」関連(7/25、8/12)
- ・広島県立美術館メールマガジン執筆：「ピース・ミーツ・アート!」関連(6/25、6/30、7/25)、「広島県ジュニア美術展」関連(12/16、12/21)、「大好きっ!学芸員が愛する作品たち」関連(1/19)、「印象派を超えて－点描の画家たち」関連(1/29)

#### 2 美術館外での業務等

##### 【講座・講演・シンポジウム等】

- ・「アート・アーチ・ひろしま2013」前夜祭(事業紹介)：7/19

#### 3 調査研究活動

##### 【館内外での調査・研究】

- ・展覧会出品作品訪問調査：4/7、4/13、4/14、5/8、6/23、12/2

##### 【館内出版物への執筆】

- ・「ピース・ミーツ・アート!」展図録 小論・作品解説執筆

【館外出版物への執筆】

- ・「VOCA展2014」図録 作品解説執筆

4 社会貢献活動等

【所属学会、外部委員、審査員など】

- ・広島芸術学会
- ・「VOCA展2014」推薦委員

■ 泰井 良

---

1 美術館内での業務

【担当展覧会】

- ・「印象派を超えて－点描の画家たち」展（主担当）
- ・「ピース・ミーツ・アート！」（副担当）

【その他の業務】

- ・著作権に関する業務（主担当）
- ・広島県美術館ネットワーク事業（主担当）
- ・美術館活性化事業見直し業務（副担当）

【教育支援】

- ・美術講座「ゴッホからモンドリアンまで－色彩の自立－」（2／9）
- ・ギャラリートーク「印象派を超えて」（1／10、1／24、2／7）

【広報活動】

- ・ケーブルテレビ ふれあいチャンネル「印象派を超えて」出演（会期中随時）
- ・NHK広島ひろもり出演（2／13）
- ・中国新聞「印象派を超えて」展事業ガイド執筆（1／24）
- ・中国新聞「印象派を超えて 色彩の自立」執筆（1／30）

2 美術館外での業務等

【講座・講演・シンポジウム等】

- ・広島修道中学校 講演会「ロダンを考える」（7／9）
- ・静岡県立美術館 シンポジウム「夏目漱石の美術世界」司会（7／21）
- ・静岡県立美術館 美術講座「夏目漱石『文展と芸術』について」（8／4）
- ・静岡大学生へのロダンギャラリー・トーク指導（4月～7月）

3 調査研究活動

【館外出版物への執筆】

- ・「印象派を超えて」展図録作品解説翻訳
- ・財団法人地域創造企画検討委員会作業部会における文化政策、美術館コレクション等に関する調査

【館内出版物への執筆】

- ・「平山郁夫展」図録 作品解説執筆

4 社会貢献活動

- ・財団法人地域創造企画検討委員会委員
- ・美術史学会会員
- ・明治美術学会会員
- ・日本ミュージアム・マネジメント学会会員
- ・日本文化政策学会会員

## Ⅵ 入館者数一覧

展 覧 会 名	所蔵作品展	特 別 展					
		夏目漱石の 美術世界	第1回新県美展 (第65回広島県美術展)	アート・アーチ・ひろしま2013 ピース・ミーツ・アート!	尊厳の芸術展	ゴッホ展	
開 催 期 日	H25.04.01 ～ H26.03.31	H25.03.26 ～ H25.05.06	H25.06.15 ～ H25.06.30	H25.07.20 ～ H25.10.14	H25.07.20 ～ H25.09.01	H25.07.22 ～ H25.09.23	
開 催 日 数	291 日	42 日	16 日	87 日	44 日	64 日	
個 人	一 般	1,539	2,837	4,047	2,503	—	43,545
	高・大学生	94	185	133	288	—	2,222
	小・中学生	—	125	100	—	—	—
	小 計	1,633	3,147	4,280	2,791	0	45,767
団 体	一 般	1,517	4,497	951	7,599	—	58,201
	高・大学生	106	128	44	486	—	1,694
	小・中学生	—	151	34	—	—	—
	小 計	1,623	4,776	1,029	8,085	0	59,895
有 料 入 館 者 数	3,256	7,923	5,309	10,876	0	105,662	
招 待 者 等	53,483	3,466	3,164	5,746	21,596	24,090	
合 計 (観 覧 者 総 数)	56,739	11,389	8,473	16,622	21,596	129,752	
一 日 あ た り 観 覧 者 数	195	271	530	191	491	2,027	

(注) 1日あたり観覧者数は、小数点以下第1位を四捨五入。

所蔵作品展団体人数には、所蔵作品展と縮景園の共通入館者を含む。

所蔵作品展の「高・大学生」欄は、平成14年度の条例改正の無料化により、高校生を含まない。

所蔵作品展の招待者等には、減免及び無料入館者を含む。(平成14年度の条例改正により無料化した小・中・高校生で内数。)

「第1回新県美展(第65回広島県美術展)」、「第2回広島県ジュニア美術展」以外は実行委員会主催。

団体人数には、前売り及び割引入館者を含む。

「尊厳の芸術展」、「江戸の広島をめぐる名品展」は無料とした。

「アート・アーチ・ひろしま2013」、「ゴッホ展」、「印象派を超えて展」、「伝統工芸展」は中学生以下を無料とした。

展 覧 会 名		特 別 展					合 計	総 計
		江戸の広島を めぐる名品展	シャガール展	第2回 広島県ジュニア美術展	印象派を超えて展	第60回 日本伝統工芸展		
開 催 期 日		H25.10.05 ～ H25.10.20	H25.11.03 ～ H25.12.25	H25.12.18 ～ H25.12.25	H26.01.02 ～ H26.02.16	H26.02.26 ～ H26.03.16		
開 催 日 数		16 日	53 日	8 日	46 日	19 日	395 日	686 日
個 人	一 般	—	14,947	—	6,333	2,942	77,154	78,693
	高・大学生	—	638	—	318	96	3,880	3,974
	小・中学生	—	974	—	—	—	1,199	1,199
	小 計	0	16,559	0	6,651	3,038	82,233	83,866
団 体	一 般	—	33,982	—	16,177	3,527	124,934	126,451
	高・大学生	—	617	—	186	34	3,189	3,295
	小・中学生	—	1,196	—	—	—	1,381	1,381
	小 計	0	35,795	0	16,363	3,561	129,504	131,127
有 料 入 館 者 数		0	52,354	0	23,014	6,599	211,737	214,993
招 待 者 等		1,479	8,120	4,705	5,804	1,800	79,970	133,453
合 計 (観 覧 者 総 数)		1,479	60,474	4,705	28,818	8,399	291,707	348,446
一 日 あ た り 観 覧 者 数		92	1,141	588	626	442	738	508

## Ⅶ 美術品等収集状況

### 分野別収集美術品数一覧

(平成26年3月31日現在)

種	目	一般購入	基金購入 (H2年度以降)	購入総数	寄 附	所管換	合 計	受 託
絵 画	日 本 画	46	60	106	227 (2)	3	336 (2)	11
	油 彩 画	230	62	292	484 (8)	4	780 (8)	200 (1-0)
	水 彩 画	89	4	93	148 (95)	0	241 (95)	1
	素 描	44	20	64	291	0	355	20
	パ ス テ ル 画 ア ク リ ル 画	1	0	1	6	0	7	0
	版 画	53	180	233	327 (122)	0	560 (122)	0
	拓 本	26	0	26	51	0	77	0
	平 面 造 形 ほか	3	56	59	2 (1)	0	61 (1)	0
彫 塑	8	23	31	65	0	96	2	
工 芸	112	1,184	1,296	263 (2)	4	1,563 (2)	5	
書	5	0	5	93	1	99	0	
美 術 資 料	2	2	4	666 (25)	0	670 (25)	2	
合 計	619	1,591	2,210	2,623 (255)	12	4,845 (255)	241 (1-0)	

※ ( ) 内は25年度の収集点数。受託欄は、左側が受託数、右側が返還数、合計欄は差引数。

収集美術品一覧

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
1	日本画	船田 玉樹	滝	不詳	57.8×45.4	絹本墨画金泥・軸装	寄附
2	日本画	船田 玉樹	山嶺	昭和61(1986)	46.3×54.3	絹本墨画・軸装	寄附
3	油彩画	巖 光	静物	昭和17(1942)	45.1×37.6	油彩・画布	寄附
4	油彩画	入野 忠芳	広島三菱のクレーン	昭和30(1955)	37.7×45.4	油彩・画布	寄附
5	油彩画	入野 忠芳	原爆ドームの内壁	昭和31(1956)	42.4×72.3	油彩・画布	寄附
6	油彩画	入野 忠芳	不確かな行方	昭和42(1967)	91.0×116.5×2面	油彩・画布	寄附
7	油彩画	入野 忠芳	不確かな行方-待つ-赤	昭和44(1969)	130.3×162.0	油彩・画布	寄附
8	油彩画	入野 忠芳	浮遊	昭和45(1970)	117.0×90.9	油彩・画布	寄附
9	油彩画	入野 忠芳	大地	昭和48(1973)	97.0×145.0	油彩・画布	寄附
10	油彩画	入野 忠芳	流形90-5	平成2(1990)	182.0×227.2	油彩・画布	寄附
11	版画	高橋 秀	サザエのある静物	昭和34(1959)頃	12.0×18.0	エッチング、紙	寄附
12	版画	高橋 秀	覗いた春	昭和45(1970)	64.0×48.0	リトグラフ、エンボス、紙	寄附
13	版画	高橋 秀	春	昭和45(1970)	63.8×47.6	シルクスクリーン、紙	寄附
14	版画	高橋 秀	連れあい(32種の版画)	昭和48(1973)	70.0×104.0	エンボス、手彩色、紙	寄附
15	版画	高橋 秀	少女(32種の版画)	昭和48(1973)	100.0×69.0	エンボス、手彩色、紙	寄附
16	版画	高橋 秀	女優(32種の版画)	昭和48(1973)	70.0×100.0	エンボス、手彩色、紙	寄附
17	版画	高橋 秀	フィンガー・ボール-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	70.0×85.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
18	版画	高橋 秀	フィンガー・ボール-青-(32種の版画)	昭和48(1973)	69.0×85.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
19	版画	高橋 秀	胚芽-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	104.0×70.0	リトグラフ、エンボス、紙	寄附
20	版画	高橋 秀	胚芽-黒-(32種の版画)	昭和48(1973)	100.0×70.0	リトグラフ、シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
21	版画	高橋 秀	艶熟-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	69.0×100.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
22	版画	高橋 秀	艶熟-黒-(32種の版画)	昭和48(1973)	68.0×100.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
23	版画	高橋 秀	神話-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	99.0×69.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
24	版画	高橋 秀	神話-ブルー-(32種の版画)	昭和48(1973)	100.0×69.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
25	版画	高橋 秀	泉(32種の版画)	昭和48(1973)	68.0×101.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
26	版画	高橋 秀	シニズモ-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	68.0×57.0	リトグラフ、シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
27	版画	高橋 秀	シニズモ-黒-(32種の版画)	昭和48(1973)	77.0×57.0	リトグラフ、シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
28	版画	高橋 秀	遁走曲-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	57.0×77.0	リトグラフ、エンボス、紙	寄附
29	版画	高橋 秀	遁走曲-ヴァイオレット-(32種の版画)	昭和48(1973)	57.0×77.0	リトグラフ、シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
30	版画	高橋 秀	アダムとエヴァ-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	76.0×57.0	リトグラフ、エンボス、紙	寄附
31	版画	高橋 秀	アダムとエヴァ-ブルー・グレー-(32種の版画)	昭和48(1973)	77.0×57.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
32	版画	高橋 秀	好奇心-オレンジ-(32種の版画)	昭和48(1973)	77.0×58.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
33	版画	高橋 秀	好奇心-黒-(32種の版画)	昭和48(1973)	77.0×58.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
34	版画	高橋 秀	虚栄心-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	52.0×49.0	リトグラフ、シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
35	版画	高橋 秀	虚栄心-黒-(32種の版画)	昭和48(1973)	52.0×49.0	リトグラフ、シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
36	版画	高橋 秀	涙-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	77.0×57.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
37	版画	高橋 秀	涙-ブルー-(32種の版画)	昭和48(1973)	77.0×57.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
38	版画	高橋 秀	レズボール-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	69.0×69.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
39	版画	高橋 秀	レズボール-ピンク-(32種の版画)	昭和48(1973)	69.0×69.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
40	版画	高橋 秀	愛のはじまり-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	77.0×57.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
41	版画	高橋 秀	愛のはじまり-オレンジ-(32種の版画)	昭和48(1973)	68.0×57.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
42	版画	高橋 秀	起源-オレンジ-(32種の版画)	昭和48(1973)	68.0×68.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
43	版画	高橋 秀	起源-白-(32種の版画)	昭和48(1973)	68.0×68.0	シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
44	版画	高橋 秀	海のノスタルジー(32種の版画)	昭和48(1973)	57.0×77.0	リトグラフ、シルクスクリーン、エンボス、紙	寄附
45	版画	高橋 秀	熟成(32種の版画)	昭和48(1973)	76.5×57.2	リトグラフ、エンボス、紙	寄附
46	版画	高橋 秀	ufu(空間の中の6つの形)	昭和49(1974)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	寄附
47	版画	高橋 秀	mo(空間の中の6つの形)	昭和49(1974)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	寄附
48	版画	高橋 秀	afu(空間の中の6つの形)	昭和49(1974)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	寄附
49	版画	高橋 秀	Qu(空間の中の6つの形)	昭和49(1974)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	寄附

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
50	版画	高橋 秀	e-e (空間の中の6つの形)	昭和49(1974)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	寄附
51	版画	高橋 秀	pau (空間の中の6つの形)	昭和49(1974)	80.0×80.0	シルクスクリーン、ステンレス	寄附
52	版画	高橋 秀	空間の中の6つの形のポスター	昭和49(1974)	70.0×50.0	シルクスクリーン、 透明プラスチックシート	寄附
53	版画	高橋 秀	追憶	昭和50(1975)	25.0×25.0	シルクスクリーン、アルミ板	寄附
54	版画	高橋 秀	乱	昭和51(1976)	76.0×56.0	リトグラフ、 シルクスクリーン、紙	寄附
55	版画	高橋 秀	黒い蝶	昭和51(1976)	76.0×56.0	リトグラフ、 シルクスクリーン、紙	寄附
56	版画	高橋 秀	白の瞑想	昭和55(1980)	65.0×46.2	シルクスクリーン、紙	寄附
57	版画	高橋 秀	赤のハート	昭和59(1984)	64.0×71.0	ドライポイント、 アクアチント、紙	寄附
58	版画	高橋 秀	白の誇張	昭和60(1985)	27.0×24.0	シルクスクリーン、紙	寄附
59	版画	高橋 秀	感応-母つる代17回忌記念	昭和60(1985)	15.0×15.0	シルクスクリーン、紙	寄附
60	版画	高橋 秀	はぐくむ (日本の神話)	昭和62(1987)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、 アクアチント	寄附
61	版画	高橋 秀	うずまき起源 (日本の神話)	昭和62(1987)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、 アクアチント	寄附
62	版画	高橋 秀	いわと (日本の神話)	昭和62(1987)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、 アクアチント	寄附
63	版画	高橋 秀	くにづくり (日本の神話)	昭和62(1987)	60.0×89.0	和紙のコラージュ、 アクアチント	寄附
64	版画	高橋 秀	耕	昭和62(1987)	72.0×110.0	アクアチント、 コラージュ、和紙	寄附
65	版画	高橋 秀	E94 (aからω)	昭和62(1987)	42.0×32.0	ドライポイント、紙	寄附
66	版画	高橋 秀	黄金の秋 (aからω)	昭和62(1987)	41.0×32.0	ドライポイント、紙	寄附
67	版画	高橋 秀	天真爛漫 (aからω)	昭和62(1987)	32.0×41.0	ドライポイント、紙	寄附
68	版画	高橋 秀	旅路 (aからω)	昭和62(1987)	32.0×41.0	ドライポイント、紙	寄附
69	版画	高橋 秀	青い溪谷 (aからω)	昭和62(1987)	42.0×32.0	ドライポイント、紙	寄附
70	版画	高橋 秀	禁断の多面体 (aからω)	昭和62(1987)	32.0×41.0	ドライポイント、紙	寄附
71	版画	高橋 秀	おたふく-黒-	昭和62(1987)	14.0×16.0	シルクスクリーン、紙	寄附
72	版画	高橋 秀	星のように 父・勇-50回忌法要記念	昭和62(1987)	27.0×24.0	シルクスクリーン、紙	寄附
73	版画	高橋 秀	むすばれ	平成3(1991)	12.0×15.8	シルクスクリーン、紙	寄附
74	版画	高橋 秀	宙	平成4(1992)	19.0×19.0	シルクスクリーン、紙	寄附
75	版画	高橋 秀	遊-黒-	平成7(1995)	19.0×19.0	シルクスクリーン、 銀箔、紙	寄附
76	版画	高橋 秀	ジョーカー	平成7(1995)	19.0×12.0	シルクスクリーン、紙	寄附
77	版画	高橋 秀	たまたばこ	平成7(1995)	10.0×15.0	シルクスクリーン、紙	寄附
78	版画	高橋 秀	芽生えのはじまり	平成9(1997)	27.0×24.0	シルクスクリーン、 コラージュ、紙	寄附
79	版画	高橋 秀	おめでとうサン	平成12(2000)	27.0×24.0	シルクスクリーン、紙	寄附
80	版画	高橋 秀	赤の構図	平成13(2001)	10.0×12.2	シルクスクリーン、紙	寄附
81	版画	高橋 秀	渚-あけぼの	平成14(2002)	10.0×12.4	シルクスクリーン、紙	寄附
82	版画	高橋 秀	少女	平成15(2003)	12.0×13.8	シルクスクリーン、紙	寄附
83	版画	高橋 秀	記憶の風景	平成16(2004)	10.0×13.0	シルクスクリーン、紙	寄附
84	版画	高橋 秀	無題	平成17(2005)	9.0×12.0	シルクスクリーン、紙	寄附
85	版画	高橋 秀	接近	平成17(2005)	19.0×22.0	シルクスクリーン、 銀箔、ニス、紙	寄附
86	版画	高橋 秀	山河	平成17(2005)	24.0×27.0	シルクスクリーン、紙	寄附
87	版画	高橋 秀	黄金の稜	平成18(2006)	24.0×46.0	シルクスクリーン、紙	寄附
88	版画	高橋 秀	早暁の船出	平成19(2007)	12.0×8.5	シルクスクリーン、 金箔、紙	寄附
89	版画	高橋 秀	赫照	平成19(2007)	16.0×14.0	シルクスクリーン、 金箔、紙	寄附
90	版画	高橋 秀	渚	平成19(2007)	9.0×6.5	シルクスクリーン、 錫箔、紙	寄附
91	版画	高橋 秀	黄金の樹	平成19(2007)	7.0×7.3	シルクスクリーン、 金箔、紙	寄附
92	版画	高橋 秀	蒼	平成20(2008)	24.0×46.0	シルクスクリーン、 真鍮箔、紙	寄附
93	版画	高橋 秀	赤不動 (悠久への回帰)	平成21(2009)	18.0×23.0	シルクスクリーン、紙	寄附
94	版画	高橋 秀	黒不動 (悠久への回帰)	平成21(2009)	18.0×23.0	シルクスクリーン、紙	寄附
95	版画	高橋 秀	黄金階段 (悠久への回帰)	平成21(2009)	18.0×23.0	シルクスクリーン、 金箔、紙	寄附
96	版画	高橋 秀	黄金階段 (悠久への回帰)	平成21(2009)	14.9×16.8	シルクスクリーン、 色紙	寄附
97	版画	高橋 秀	朝霧の陽光 (悠久への回帰)	平成21(2009)	18.0×23.0	シルクスクリーン、紙	寄附
98	版画	高橋 秀	天と地と (悠久への回帰)	平成21(2009)	18.0×23.0	シルクスクリーン、 金箔、紙	寄附

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
99	版画	高橋 秀	聖地（悠久への回帰）	平成21(2009)	18.0×23.0	シルクスクリーン、金箔、紙	寄附
100	版画	高橋 秀	好日	平成21(2009)	11.0×7.6	シルクスクリーン、紙	寄附
101	版画	高橋 秀	宙的	平成22(2010)	14.0×9.1	シルクスクリーン、 金箔、錫箔、紙	寄附
102	版画	高橋 秀	グリーンハート（艶やか）	平成22(2010)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	寄附
103	版画	高橋 秀	遙か（艶やか）	平成22(2010)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	寄附
104	版画	高橋 秀	白無垢（艶やか）	平成22(2010)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	寄附
105	版画	高橋 秀	祈り（艶やか）	平成22(2010)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	寄附
106	版画	高橋 秀	儀式（艶やか）	平成22(2010)	8.0×8.0	シルクスクリーン、紙	寄附
107	版画	高橋 秀	日月図・黄金の天	平成22(2010)	20.0×60.0	シルクスクリーン、 金箔平押し紙コラージュ、紙	寄附
108	版画	高橋 秀	日月図・黄丹の天	平成22(2010)	20.0×60.0	シルクスクリーン、 金箔平押し紙コラージュ、紙	寄附
109	版画	高橋 秀	輝月	平成22(2010)	20.0×60.0	シルクスクリーン、 金箔平押し紙コラージュ、紙	寄附
110	版画	高橋 秀	日月図 四季・春	平成22(2010)	20.0×60.0	シルクスクリーン、 金箔平押し紙コラージュ、紙	寄附
111	版画	高橋 秀	日月図 四季・秋	平成22(2010)	20.0×60.0	シルクスクリーン、 金箔平押し紙コラージュ、紙	寄附
112	版画	高橋 秀	黄天の雲	平成23(2011)	6.5×12.6	シルクスクリーン、紙	寄附
113	版画	高橋 秀	金波銀波	平成24(2012)	7.3×12.0	シルクスクリーン、紙	寄附
114	版画	高橋 秀	黄金の天	平成25(2013)	11.8×8.7	シルクスクリーン、紙	寄附
115	版画	高橋 秀	年賀状1976年	昭和50(1975)	16.0×12.2	シルクスクリーン、紙	寄附
116	版画	高橋 秀	年賀状1979年	昭和53(1978)	15.5×20.0	シルクスクリーン、紙	寄附
117	版画	高橋 秀	年賀状1980年	昭和55(1980)	16.0×13.6	シルクスクリーン、紙	寄附
118	版画	高橋 秀	年賀状1981年	昭和56(1981)	12.0×17.0	シルクスクリーン、紙	寄附
119	版画	高橋 秀	年賀状1983年	昭和57(1982)	11.0×16.0	エンボス、色鉛筆、紙	寄附
120	版画	高橋 秀	年賀状1985年	昭和59(1984)	15.0×11.6	シルクスクリーン、紙	寄附
121	版画	高橋 秀	年賀状1987年	昭和61(1986)	8.0×15.9	シルクスクリーン、紙	寄附
122	版画	高橋 秀	年賀状1988年	昭和63(1988)	6.0×17.0	シルクスクリーン、紙	寄附
123	版画	高橋 秀	年賀状1991年	平成 2 (1990)	8.0×17.1	シルクスクリーン、紙	寄附
124	版画	高橋 秀	年賀状1992年	平成 4 (1991)	6.0×18.2	シルクスクリーン、紙	寄附
125	版画	高橋 秀	年賀状1993年	平成 5 (1993)	8.0×18.5	シルクスクリーン、紙	寄附
126	版画	高橋 秀	年賀状1995年	平成 7 (1995)	7.0×18.5	シルクスクリーン、紙	寄附
127	版画	高橋 秀	年賀状1996年	平成 7 (1995)	6.0×6.2	シルクスクリーン、銀箔、紙	寄附
128	版画	高橋 秀	年賀状1997年	平成10(1998)	12.0×7.2	シルクスクリーン、紙	寄附
129	版画	高橋 秀	年賀状1998年	平成10(1998)	4.0×9.1	シルクスクリーン、紙	寄附
130	版画	高橋 秀	年賀状1999年	平成11(1999)	8.0×10.0	シルクスクリーン、紙	寄附
131	版画	高橋 秀	年賀状2000年	平成12(2000)	4.0×7.0	シルクスクリーン、金箔、紙	寄附
132	平面造形	岡部 昌生、港 千尋	私たちの過去に、未来はあるのか	平成14-25(2002-2013)	418.0×605.0 (※サイズ可変、映像含まず)	フロッタージュ、紙、 鉛筆(12点組)+映像	寄附
133	染織	インド、グジャラート、パタン	象虎文経緯絹緋（パトラ）	20世紀初頭	363.5×101	絹、経緯緋	寄附
134	染織	インド、グジャラート、パタン	花ハート文経緯絹緋（パトラ）	20世紀初頭	366×131	絹、経緯緋、金糸	寄附
135	水彩画	堀尾 貞治	八丁堀	1972(昭和47)年3月2日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
136	水彩画	堀尾 貞治	八丁堀	1972(昭和47)年3月2日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
137	水彩画	堀尾 貞治	八丁堀	1972(昭和47)年3月2日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
138	水彩画	堀尾 貞治	八丁堀	1972(昭和47)年3月2日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
139	水彩画	堀尾 貞治	稲荷町	1972(昭和47)年3月3日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
140	水彩画	堀尾 貞治	稲荷町	1972(昭和47)年3月3日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
141	水彩画	堀尾 貞治	紙屋町	1972(昭和47)年3月4日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
142	水彩画	堀尾 貞治	紙屋町	1972(昭和47)年3月4日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
143	水彩画	堀尾 貞治	女学院前	1972(昭和47)年3月5日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
144	水彩画	堀尾 貞治	縮景園	1972(昭和47)年3月5日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
145	水彩画	堀尾 貞治	家庭裁判所前	1972(昭和47)年3月5日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
146	水彩画	堀尾 貞治	広島駅前	1972(昭和47)年3月6日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
147	水彩画	堀尾 貞治	広島駅附近	1972(昭和47)年3月6日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
148	水彩画	堀尾 貞治	広島駅前	1972(昭和47)年3月6日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
149	水彩画	堀尾 貞治	の場町	1972(昭和47)年3月7日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
150	水彩画	堀尾 貞治	の場町	1972(昭和47)年3月7日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
151	水彩画	堀尾 貞治	銀山町	1972(昭和47)年3月8日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
152	水彩画	堀尾 貞治	宇品	1972(昭和47)年3月9日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
153	水彩画	堀尾 貞治	宇品	1972(昭和47)年3月9日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
154	水彩画	堀尾 貞治	宇品	1972(昭和47)年3月9日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
155	水彩画	堀尾 貞治	立町	1972(昭和47)年3月10日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
156	水彩画	堀尾 貞治	立町附近	1972(昭和47)年3月10日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
157	水彩画	堀尾 貞治	比治山橋附近	1972(昭和47)年3月11日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
158	水彩画	堀尾 貞治	比治山橋附近	1972(昭和47)年3月11日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
159	水彩画	堀尾 貞治	舟入本町	1972(昭和47)年3月12日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
160	水彩画	堀尾 貞治	江波附近	1972(昭和47)年3月12日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
161	水彩画	堀尾 貞治	中電前	1972(昭和47)年3月12日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
162	水彩画	堀尾 貞治	本通	1972(昭和47)年3月13日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
163	水彩画	堀尾 貞治	本通	1972(昭和47)年3月13日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
164	水彩画	堀尾 貞治	胡町	1972(昭和47)年3月14日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
165	水彩画	堀尾 貞治	胡町	1972(昭和47)年3月14日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
166	水彩画	堀尾 貞治	袋町	1972(昭和47)年3月15日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
167	水彩画	堀尾 貞治	袋町	1972(昭和47)年3月15日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
168	水彩画	堀尾 貞治	袋町	1972(昭和47)年3月15日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
169	水彩画	堀尾 貞治	袋町	1972(昭和47)年3月15日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
170	水彩画	堀尾 貞治	横川	1972(昭和47)年3月17日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
171	水彩画	堀尾 貞治	福島町	1972(昭和47)年3月19日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
172	水彩画	堀尾 貞治	己斐	1972(昭和47)年3月19日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
173	水彩画	堀尾 貞治	己斐附近	1972(昭和47)年3月19日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
174	水彩画	堀尾 貞治	己斐附近	1972(昭和47)年3月19日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
175	水彩画	堀尾 貞治	広島駅前	1972(昭和47)年3月19日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
176	水彩画	堀尾 貞治	十日市前	1972(昭和47)年3月20日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
177	水彩画	堀尾 貞治	寺町	1972(昭和47)年3月20日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
178	水彩画	堀尾 貞治	別院前	1972(昭和47)年3月20日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
179	水彩画	堀尾 貞治	皆実町6丁目	1972(昭和47)年3月21日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
180	水彩画	堀尾 貞治	皆実町6丁目	1972(昭和47)年3月21日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
181	水彩画	堀尾 貞治	皆実町	1972(昭和47)年3月21日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
182	水彩画	堀尾 貞治	の場町	1972(昭和47)年7月	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
183	水彩画	堀尾 貞治	無題	1972(昭和47)	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
184	水彩画	堀尾 貞治	無題	1972(昭和47)	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
185	水彩画	堀尾 貞治	無題	1972(昭和47)	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
186	水彩画	堀尾 貞治	広島大学前	1973(昭和48)年8月3日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
187	水彩画	堀尾 貞治	広島大学前	1973(昭和48)年8月3日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
188	水彩画	堀尾 貞治	広島大学前	1973(昭和48)年8月3日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
189	水彩画	堀尾 貞治	広島大学前	1973(昭和48)年8月3日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
190	水彩画	堀尾 貞治	広島大学前	1973(昭和48)年8月3日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
191	水彩画	堀尾 貞治	広島大学前	1973(昭和48)年8月3日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
192	水彩画	堀尾 貞治	広電本社前	1973(昭和48)年8月6日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
193	水彩画	堀尾 貞治	広電本社前	1973(昭和48)年8月6日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
194	水彩画	堀尾 貞治	八丁堀	1973(昭和48)年8月8日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
195	水彩画	堀尾 貞治	八丁堀	1973(昭和48)年8月8日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
196	水彩画	堀尾 貞治	八丁堀	1973(昭和48)年8月8日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附

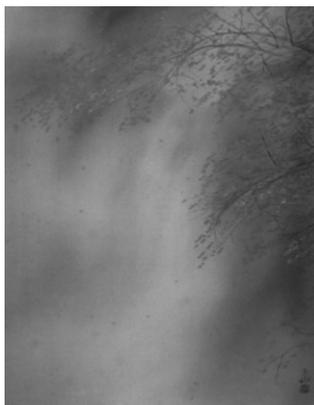
No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
197	水彩画	堀尾 貞治	舟入本町	1973(昭和48)年8月10日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
198	水彩画	堀尾 貞治	舟入本町	1973(昭和48)年8月10日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
199	水彩画	堀尾 貞治	舟入本町	1973(昭和48)年8月10日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
200	水彩画	堀尾 貞治	舟入本町	1973(昭和48)年8月10日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
201	水彩画	堀尾 貞治	鷹野橋	1973(昭和48)年8月11日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
202	水彩画	堀尾 貞治	鷹野橋	1973(昭和48)年8月11日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
203	水彩画	堀尾 貞治	舟入本町	1973(昭和48)年8月11日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
204	水彩画	堀尾 貞治	舟入本町	1973(昭和48)年8月11日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
205	水彩画	堀尾 貞治	住吉橋	1973(昭和48)年8月11日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
206	水彩画	堀尾 貞治	御幸橋	1973(昭和48)年8月11日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
207	水彩画	堀尾 貞治	鷹野橋	1973(昭和48)年8月13日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
208	水彩画	堀尾 貞治	鷹野橋	1973(昭和48)年8月13日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
209	水彩画	堀尾 貞治	西観音	1973(昭和48)年8月14日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
210	水彩画	堀尾 貞治	西観音	1973(昭和48)年8月14日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
211	水彩画	堀尾 貞治	己斐	1973(昭和48)年8月14日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
212	水彩画	堀尾 貞治	己斐	1973(昭和48)年8月14日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
213	水彩画	堀尾 貞治	福島町	1973(昭和48)年8月14日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
214	水彩画	堀尾 貞治	相生橋	1973(昭和48)年8月17日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
215	水彩画	堀尾 貞治	相生橋	1973(昭和48)年8月17日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
216	水彩画	堀尾 貞治	本通	1973(昭和48)年8月18日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
217	水彩画	堀尾 貞治	本通	1973(昭和48)年8月18日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
218	水彩画	堀尾 貞治	銀山町	1973(昭和48)年8月19日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
219	水彩画	堀尾 貞治	市役所前	1973(昭和48)年8月21日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
220	水彩画	堀尾 貞治	市役所前	1973(昭和48)年8月21日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
221	水彩画	堀尾 貞治	舟入町	1973(昭和48)年8月25日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
222	水彩画	堀尾 貞治	舟入町	1973(昭和48)年8月25日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
223	水彩画	堀尾 貞治	舟入町	1973(昭和48)年8月25日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
224	水彩画	堀尾 貞治	大手町5	1973(昭和48)年8月27日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
225	水彩画	堀尾 貞治	大手町5	1973(昭和48)年8月27日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
226	水彩画	堀尾 貞治	大手町4丁目バス停	1973(昭和48)年8月29日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
227	水彩画	堀尾 貞治	大手町4丁目バス停附近	1973(昭和48)年8月29日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
228	水彩画	堀尾 貞治	大手町4丁目バス停附近	1973(昭和48)年8月29日	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
229	水彩画	堀尾 貞治	無題	1973(昭和48)	27.0×38.3	水彩・紙	寄附
230	版画	レンブラント・ファン・レイン	羊飼いたちへの告知	1820年頃(オリジナル1634年)	26.2×21.8	エッチング・紙	寄附
231	絵画資料	船田 玉樹	山霊出雨	昭和54(1979)	27.0×23.8	紙本墨画・色紙	寄附
232	絵画資料	船田 玉樹	山霊出雨	昭和63(1988)	26.8×23.8	紙本墨画・色紙	寄附
233	絵画資料	船田 玉樹	山家	平成元(1989)	27.0×24.0	紙本墨画・色紙	寄附
234	絵画資料	船田 玉樹	深山幽屋	不詳	26.8×23.9	紙本墨画・色紙	寄附
235	絵画資料	船田 玉樹	松	不詳	27.0×23.8	紙本墨画・色紙	寄附
236	絵画資料	船田 玉樹	山嶺	不詳	26.8×23.8	紙本墨画・色紙	寄附
237	絵画資料	船田 玉樹	谷間の秋	不詳	26.8×23.8	紙本墨画彩色・色紙	寄附
238	絵画資料	船田 玉樹	雪	不詳	26.7×24.0	紙本墨画彩色・色紙	寄附
239	絵画資料	船田 玉樹	雪	不詳	27.0×23.8	紙本墨画・色紙	寄附
240	絵画資料	船田 玉樹	雪	不詳	23.7×27.0	紙本墨画・色紙	寄附
241	絵画資料	船田 玉樹	流水	不詳	36.0×5.6	紙本墨画・額装(短冊)	寄附
242	絵画資料	浜崎左鬘子	邪気退散 慶気招来	不詳	13.9×20.0	木・彩色	寄附
243	絵画資料	浜崎左鬘子	万事成功 百業成就	不詳	13.9×20.0	木・彩色	寄附
244	絵画資料	浜崎左鬘子	前に飛ばそか後え出そうか	不詳	13.9×20.0	木・彩色	寄附
245	絵画資料	浜崎左鬘子	出てこい出てこいおさん来い	不詳	13.9×20.0	木・彩色	寄附

No.	分類	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	取得区分
246	絵画資料	浜崎左髪子	夜の夜中に女が一人	不詳	13.9×20.0	木・彩色	寄附
247	絵画資料	浜崎左髪子	万事大成功	不詳	13.9×20.0	木・彩色	寄附
248	絵画資料	浜崎左髪子	江波のおさんにだまされて	不詳	13.9×20.0	木・彩色	寄附
249	絵画資料	浜崎左髪子	饒津の茶店の萩娘	不詳	13.9×20.0	木・彩色	寄附
250	絵画資料	巖 光	団扇（1）虫	不詳	22.3×22.8 全長32.7	紙本彩色	寄附
251	絵画資料	巖 光	団扇（2）植物	不詳	21.0×24.0 全長31.3	紙本彩色	寄附
252	絵画資料	南 薫造	天野進作宛書簡1	大正5（1916）	14.3×8.8	葉書(消印:1916年12月12日)	寄附
253	絵画資料	南 薫造	天野進作宛書簡2	大正5（1916）頃	13.5×8.8	葉書(消印:12月31日)	寄附
254	絵画資料	南 薫造	天野進作宛書簡3	大正7（1918）	14.2×8.8	葉書(消印:1918年1月1日)	寄附
255	工芸資料	河面 冬山	大楠公像乾漆額	昭和19-20(1944-45)頃	径31.2cm 厚2.0cm	乾漆	寄附
256	油彩画	巖 光	ばら	1930頃	14.2×21.0	油彩・画布	寄託

## ○新収蔵作品より

### 船田 玉樹《滝》《山嶺》

広島県呉市出身の船田玉樹（1912・大正元－1991・平成3）は、昭和初期に上京。はじめ速水御舟に、その没後は小林古徑に師事した。1938年には歷程美術協会を結成。翌年脱退するも、同郷の丸木位里との二人展や、岩橋永遠を交えての三人展等で前衛的な表現を追求。戦後の帰郷後も、花鳥画、水墨、ガラス絵等、幅広い分野で革新的な絵画を生み出した。広島を代表する日本画家の一人であり、生誕100年にあたる



滝



山嶺

る2012年度には、当館と練馬区立美術館の共同企画により、回顧展も開催している。

このたびの2点は、いずれも水墨表現を主としたもので、《滝》は、細かなしぶきを上げて流れ落ちる滝と、辺りに漂う清新な空気を表現。岩場に生える色づいたもみじが、金泥により繊細な彩りを添えている。《山嶺》は、折れ曲がった樹木を前景に、霧の立ちこめる山並みを表す。湿潤な大気に満ちた空間を無駄のない構成で表現し、画家の筆技と造形感覚を伝えている。

### 鬚光《静物》《団扇（1）虫》《団扇（2）植物》

鬚光（1907・明治40－1946・昭和21）は、広島県北広島町出身。大正末期から昭和戦中期にかけて東京を拠点に活躍。画業初期には主にフランスの近代絵画の影響を受けるが、1930年代半ばからは独自の画風を展開。東西両洋の絵画に学び、確かな描写力に裏付けられた精神性の高い作品を生み出し、近代日本を代表する画家として知られている。

このたびの3点は、いずれも鬚光の知人の旧蔵品。油彩画《静物》は、裏面の書込みから1942年の作と考えられる。鬚光は、1940年から1942年頃にかけて、植物や虫、鳥などをモチーフに一連の静物画を描いた。本作は、対象を近接的な視点で緻密に描き、しばしば宋元画風と称されるこの時期の画風の特徴をよく示している。統一感ある落ち着いた色彩や繊細な光の表現、生命の余韻とでもいふべき、動きや



静物

変化の名残をどこかに湛えた植物、描写の密度を違えた重層的な構成など、見どころの多い画面である。団扇2点は、虫と野菜のような対象を軽妙な筆遣いで描く。同時期に所蔵されたものかどうかは不明で、油絵よりも制作年が先行する可能性もある。3点とも、これまで図版等でも存在が全く知られていなかった新出作品であり、作品や関連資料が少ない鬚光においては、とくに貴重な新発見である。

### 入野 忠芳の油彩画

入野忠芳（1939・昭和14－2013・平成25）は、広島市出身。戦後の広島洋画壇の中心で活躍し、1975年の現代日本美術展で大賞を受賞した「裂罅（れっか）」のシリーズなど、自身の被爆体験や当時起因する崩壊感覚をもとにした作品で知られる。

新収蔵の《浮遊》（1970年）は、画家の戦争体験が直接的に絵画化されたという意味で、画業の原点ともいえる作品。画面上部に浮かぶクラゲ状の赤い物体は、被爆後の広島を燃やす炎の化身で、少

年期の作者に強い印象を残し、幻影となって長く作者を悩ませた。背後に見える襞や皺のような描写は、古布を画面に押しつけ、偶然生まれたかたちを活かして漂う人体を表現。行き場を失って彷徨うような揺らいだ人物像が、不安感をいっそう掻き立てる。



原爆ドームの内壁

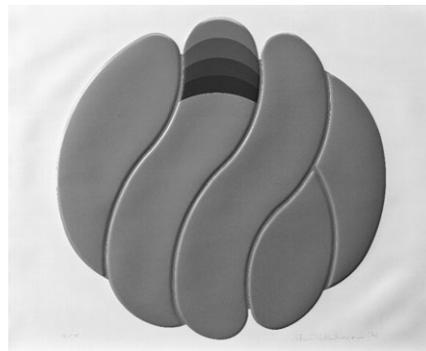


流形

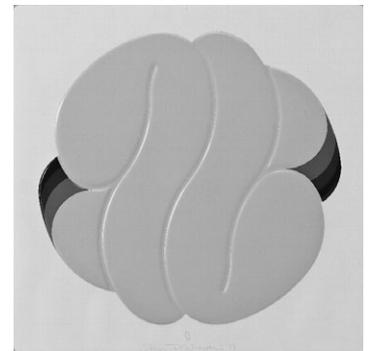
このたびの収蔵品は、油絵を始めて間もない《広島三菱のクレーン》(1955年)や、翌年の《原爆ドームの内壁》など初期作のほか、日本の学園紛争や中国の文化大革命などに代表される、先行きの不透明な社会を反映し、画風の特徴が発揮された1960年代後半の作品、さらには晩年の「流形」シリーズを含み、画業各期を代表するとともに、戦後日本の風景や、崩壊と生成とがせめぎ合う、作画の根幹につながる作品となっている。

### 高橋 秀の版画

広島県福山市出身の高橋秀(1930・昭和5-)は、日本を代表する画家、彫刻家であり、版画家としても活躍している。1956、57年頃に独学で銅版画を始め、渡伊後の1960年代末からはリトグラフやシルクスクリーンなどの技法を用いて多数の作品を制作した。このたびの収蔵品は、1970年代から2010年代までの作品に、1959年頃の作と考



フィンガー・ボールー青ー (32種の版画)



レズボールー白ー (32種の版画)

えられる初期銅版画を加えた121点。中心となるのは1970年代の作品で、この時代に作家が考案した、アクリル板を用いたエンボス技法が多く用いられている。シルクスクリーンやリトグラフにエンボスを併用した《32種の版画》(1973年)では、有機的な形態と明快な色彩が生む平明な構成の一方、手彩色の繊細な表現も織り交ぜ、変化に富んだシリーズとなっている。また、翌年の《空間の中の6つの形》は、紙という素材から離れ、鏡面仕上げのステンレス・スチールに特殊インクで刷られた意欲作。作品の向きは可変で、作家が生み出した形態の高い完成度を示すといえるだろう。

1980年代以降では、先行する色面構成による作品とは異なり、描画のニュアンスを活かし墨絵風に表現した《日本の神話》(1987年)などの大作のほか、「不動」や「日月図」といった伝統的な画題、また琳派を彷彿とさせる表現などに特色がある。

2013年の近作までを含むこのたびの収蔵品は、既蔵の《版画集8》(1971年)と《8つの作品》(1973年)の画業における位置づけを明確にしつつ、イタリアでの初期作をのぞき、版画家としての高橋の仕事を概観できる内容となっている。

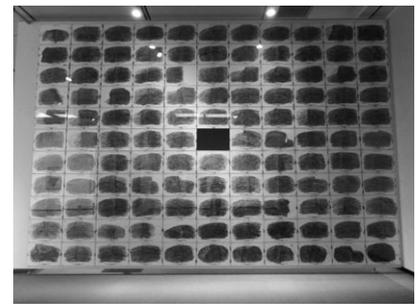
### 岡部 昌生、港 千尋《わたしたちの過去に、未来はあるのか》

本作は、岡部昌生(1942・昭和17-)と、港千尋(1960・昭和35-)による合作で、広島旧国鉄宇品駅プラットホームのテクスチャーを写し取った岡部のフロッタージュを軸に、港が映像を制作したものである。

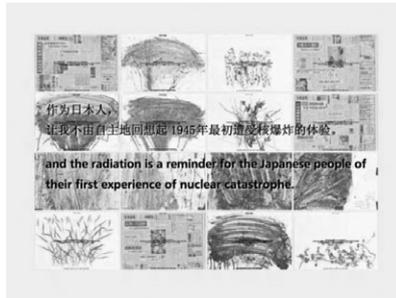
1986年、岡部昌生はこれまでの仕事が評価されて、広島市現代美術館開設準備室からテーマ「ヒロシマ」の制作委託の声が掛かり、それ以降、広島に通い続けて作品制作や市民との対話を続けている。本

作は、2007年のヴェネツィア・ビエンナーレにて港千尋がコミッションナーとなり、日本代表作品として展示された。

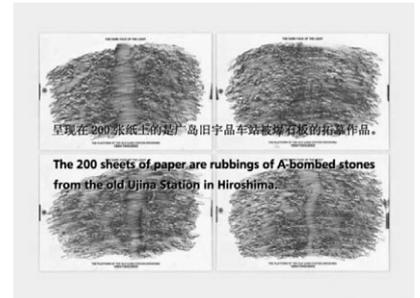
121点のフロタージュには、1894年、1945年、2004年という3つの年号が各々に記されている。1894年は日清戦争開戦の年であり、山陽鉄道から宇品港（現広島港）までの軍用鉄道が造られた年でもある。以来、第二次世界大戦集結まで、この駅から莫大な数の軍需物資と兵士がアジアへ向けて送り込まれた。しかし、こうしたある種の「加害者」としての広島の歴史は忘れられ、1945年の原爆投下による「被害者」としての側面が語られがちである。なお、2004は高速道路建設によって宇品のプラットホームが壊された年号である。再開発によって都市の記憶は完全に消滅してしまいかねないものであるが、岡部の手を介在し、作品には広島の記憶が浮かび上がっている。



フロタージュ



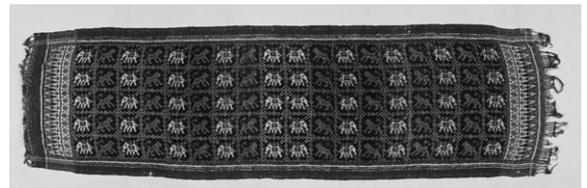
映像 1



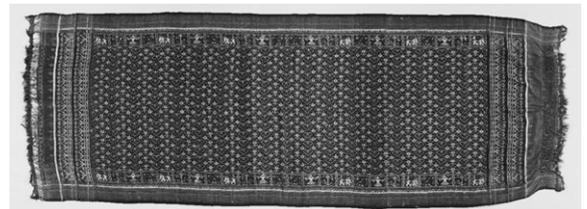
映像 2

### 《象虎文経緯絹緋（パトラ）》《花ハート文経緯絹緋（パトラ）》

パトラは、インド、グジャラート州パタンで作られてきた絹経緯緋である。経糸、緯糸の双方を緋に染め分け、文様を合わせながら織るという高度な染めと織りの技術を要する織物である。パトラは、インド染織の最高峰として憧憬を集めてきた。パトラは、インドにおいて王侯階級のみに着用が許され、また、インドネシアをはじめ世界へ輸出されてきた。パトラへの憧憬と熱愛により倣製品が各地で作られるなど、染織史的にも大きな影響を及ぼした。例えば、インドネシアのバリ島テンガナンではパトラの技術的および文様的影響により精緻な経緯緋が織られ、ジャワ島のバティックではパトラ文様がロウケツ染めによって描かれた。



象虎文経緯絹緋（パトラ）



花ハート文経緯絹緋（パトラ）

今回の2点のうち、象虎文パトラは、ボーダーに鋸歯文を、中央に象と虎の連続文を表しており、インドネシア輸出向けに制作されたものである。同地では聖性を持つ布として王侯貴族の間で珍重された。花ハート文パトラは、ボーダーをチューリップ文、耳を象、女性の姿、花、鸚鵡、中央部を葉連続文で埋め尽くし、端に金糸を織り込み、結婚式で花嫁がサリーとして着用する、インド国内向けパトラである。パトラ裂は数多く残存しているが、完形の古いパトラは稀少であり、2枚とも状態は比較的良好である。

### レンブラント・ファン・レイン 《羊飼いたちへの告知》

（刷師：アンリ・ルイ・バザン）

レンブラント（Rembrandt van Rijn, 1606–1669）は生涯に300点以上の銅版画作品を制作したと言われているが、そのうち版が現存しているものは80点程度である。本作の《羊飼いたちへの告知》（英：The Angel Appearing to the Shepherds）は、比較的早い時期に描かれたもので、ルカ福音書2章を基

に描かれており、夜中、羊の群れの番をしていた羊飼いたちのもとへ、光まばゆい天使たちが現われ、主イエスの誕生を伝えている場面である。ダイナミックに旋回する天使たちの姿にバロック期の特徴が大きく現われている。

レンブラントは、17世紀のオランダ絵画黄金期に活躍した巨匠で、スポットライトを当てたような強い光による明暗対比や、劇的な運動性、登場人物に示される深い精神性を帯びた表情などに大きな特徴がある。1634年、裕福な美術商の娘サスキアと結婚（1642年に死別）。以後、大規模な工房を構えて弟子たちと共に数多くの肖像画、宗教画、神話画など様々なジャンルの作品を手がける。本版画は、レンブラントの死後、版の所有者であったピエール・フランソワ・バザン（1723-1797）から所有権を継承した息子のアンリ・ルイ・バザンによって刷られたものと考えられる。



羊飼いたちへの告知

## Ⅷ 美術品等の貸出し

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
日本画	甲斐荘楠音	横櫛	独立行政法人国際交流基金 独立行政法人国立美術館 京都国立近代美術館	近代日本画と工芸の流れ 1868-1945	25.2.26~25.5.5(ローマ国立近代美術館) (会期の半期のみ展示)
日本画	清水 南山	扇面散し屏風	公益財団法人 平山郁夫美術館	大叔父 清水南山と平山郁夫	25.3.20~5.19(公益財団法人 平山郁夫美術館)
金 工	清水 南山	波に龍文水瓶			
金 工	清水 南山	猫金具付小児用手提			
金 工	清水 南山	獅子図目貫			
金 工	清水 南山	飛龍躍浪文硯屏			
工芸資料	清水 南山	金荘螺鈿御飾太刀之図			
油彩画	桂 ゆき	土 春	東京都現代美術館、 下関市立美術館、 読売新聞東京本社/ 美術館連絡協議会	生誕百年 桂ゆき展	25.4.6~6.9(東京都現代美術館) 25.6.21~8.4(下関市立美術館)
日本画	平山 郁夫	受胎靈夢	龍谷大学 龍谷ミュージアム、 日本経済新聞社、 京都新聞COM	平山郁夫 悠久のシルクロード	25.4.20~6.30(龍谷ミュージアム)
油彩画	武永 楨雄	鮭図 静物 脇侍仏群像 山の子供	公益財団法人 廿日市市 文化スポーツ振興事業団	生誕100年 武永楨雄展-郷愁-	25.4.26~6.2(はつかいち美術ギャラリー)
平面造形	マン・レイ	ローズ・セラヴィ (マルセル・デュシャン)	徳島県立近代美術館、 損保ジャパン 東郷青児美術館、 株式会社アートプラン ニングレイ	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	25.4.27~6.30(徳島県立近代美術館) 25.7.9~8.25(損保ジャパン 東郷青児美術館)
平面造形	マン・レイ	アンドレ・ブルトン/ ソラリゼーション			
平面造形	マン・レイ	カサッティ侯爵夫人/ わが魂の肖像			
平面造形	マン・レイ	シュルレアリスム展に おけるサルバドール・ ダリのオブジェ			
鑄造	マックス・エルンスト	オイディプスⅠ			
鑄造	マックス・エルンスト	オイディプスⅡ			
立体造形	ジョゼフ・コーネル	オブジェ(ポーリン・クック)			
油彩画	南 薫造	石割り	東京藝術大学大学美術館、 静岡県立美術館、 東京新聞	夏目漱石の美術世界	25.5.14~7.7(東京藝術大学大学美術館) 25.7.13~8.25(静岡県立美術館)
油彩画	秦森 康屯	立つ女	三原市	生誕90年 秦森康屯展	25.5.30~6.23(三原リージョンプラザ)
素描	鬨 光	末広一一氏の像	神奈川県立近代美術館	戦争/美術 1940-1950 -モダニズムの連鎖と変容	25.7.6~10.14(神奈川県立近代美術館 葉山)
素描	鬨 光	畠山雅介氏の像			
日本画	丸木 位里	牛			
日本画	丸木 位里	不動			

種別	作者名など	作品名	貸出先	目的(展覧会名)	会期・場所
陶磁	鈴木 治	ロッキングバード	独立行政法人国立美術館 京都国立近代美術館、 愛知県陶磁美術館、 東京ステーションギャ ラリー、 山口県立萩美術館・浦 上記念館	泥象 鈴木治の世界 - 「使う陶」から「観る陶」、 そして「詠む陶」へ-	25.7.12~8.25(京都国立近代美術館) 25.10.12~12.23(愛知県陶磁美術館) 26.7.26~8.31(東京ステーションギャラリー) 26.11.1~12.23(山口県立萩美術館・浦上記念館)
陶磁	鈴木 治	神経質な鳥			
陶磁	鈴木 治	土偶戦士	公益財団法人ひろしま美術館	アート・アーチ・ひろしま2013 「イサム・ノグチ~その創造の源流」展	25.7.20~10.14(ひろしま美術館)
陶磁	八木 一夫	ブラックエコー			
陶磁	八木 一夫	盲亀			
陶磁	山田 光	緑釉「塔」			
テラコッタ	アンリ・ローランス	イヤリングをつけた女の顔	国立西洋美術館	ル・コルビュジエと20世紀美術	25.7.22~11.18(国立西洋美術館)
素描	殿敷 侃	作品(顔)	公益財団法人 廿日市市文化スポーツ振興事業団	第17回平和美術展、 殿敷侃-現代社会への警鐘 (メッセージ)	25.8.1~9.1(はつかいち美術ギャラリー)
素描	殿敷 侃	作品(身体)			
素描	殿敷 侃	予告			
版画	殿敷 侃	作品(石)			
版画	殿敷 侃	とんぼ			
日本画	竹内 栖鳳	城址	独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館、 京都市美術館、 日本経済新聞社	竹内栖鳳展	25.9.3~10.14(東京国立近代美術館) 25.10.22~12.1(京都市美術館)
日本画	竹内 栖鳳	寒林帰牧図			
金工	清水 南山	飛龍躍浪文硯屏	佐久市立近代美術館	佐久市立近代美術館 開館30周年記念特別企画展 「平山郁夫-仏教伝来」	25.9.14~11.10(佐久市立近代美術館)
日本画	平山 郁夫	家路			
日本画	平山 郁夫	内海の春			
日本画	平山 郁夫	浅春			
日本画	平山 郁夫	ひととき			
日本画	平山 郁夫	ひととき(憩)			
日本画	平山 郁夫	群像			
日本画	平山 郁夫	母子			
日本画	平山 郁夫	みのり			
日本画	平山 郁夫	受胎霊夢			
油彩画	東郷 青児	AZAMI	鹿児島市立美術館	時代を魅了した男 東郷青児展	25.10.3~11.4(鹿児島市立美術館)
日本画	横山 大観	井筒	横浜美術館、 朝日新聞社	岡倉天心生誕150年記念、 没後100年 『國華』創刊125周年記念事業 横山大観展 良き師、良き友 -紫紅、未醒、芋銭、溪仙	25.10.5~11.24(横浜美術館)
日本画	児玉 希望	晩春	公益財団法人タカヤ文化財団 華鶴大塚美術館	特別展 児玉希望展 伝統に学び、伝統を超えて	25.10.12~11.24(華鶴大塚美術館)

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的（展覧会名）	会期・場所
日本画	児玉 希望	暮春			
日本画	児玉 希望	雨後			
日本画	児玉 希望	七面鳥			
日本画	児玉 希望	荊軻			
日本画	児玉 希望	空山春生			
日本画	児玉 希望	忠貞双絶			
日本画	児玉 希望	ひるさがり[日午]			
日本画	児玉 希望	驟雨来			
日本画	児玉 希望	静物（卓上のりんご）			
日本画	児玉 希望	春のバンガロー			
日本画	児玉 希望	烟雨			
日本画	児玉 希望	浦町の雑闇			
日本画	児玉 希望	奥多摩の家			
日本画	児玉 希望	山下橋付近			
日本画	児玉 希望	梵唄（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	海禾（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	緑塊（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	白崖（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	雲似（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	滴律（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	地紋（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	徑（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	銀漾（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	日午（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	金漾（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	円鎖（新水墨画十二題）			
日本画	児玉 希望	道			
日本画	児玉 希望	山			
日本画	児玉 希望	亭午			
日本画	児玉 希望	踊			
日本画	児玉 希望	涅槃			
日本画	児玉 希望	瀾			
素 描	児玉 希望	フォロ・ロマーノ 4	稲沢市荻須記念美術館、 笠岡市立竹喬美術館	日本画家が描いた西洋風景 －滞欧作を中心として－	25.10.26～12.8（稲沢市荻須記念美術館） 25.12.14～26.1.26（笠岡市立竹喬美術館）
素 描	児玉 希望	ベネチヤの家			

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的 (展覧会名)	会期・場所
素描	児玉 希望	ベニスにて3			
素描	児玉 希望	霧のベニスにて			
素描	児玉 希望	バンドールにて1			
素描	児玉 希望	バンドールにて3			
素描	児玉 希望	マルセイユ1			
素描	児玉 希望	ノートルダム寺院			
日本画	菱田 春草	高士望岳	福井県立美術館	生誕150年・没後100年記念 空前絶後の岡倉天心展 大観、春草、近代日本画の 名品を一堂に	25.11.1～12.1 (福井県立美術館)
油彩画	東郷 青児	テラス	兵庫県立美術館	昭和モダン 絵画と文学 1926-1936	25.11.2～12.29 (兵庫県立美術館)
日本画	里見 雲嶺	雨中山水図	公益財団法人 頼山陽記念文化財団	里見雲嶺の画風	25.11.21～26.2.2 (頼山陽史跡資料館) ※前後期で展示替え 前期：11.21～12.27 (紀貫之蟻通社之図) 後期：1.5～2.2 (他3点)
日本画	里見 雲嶺	紀貫之蟻通社之図			
日本画	里見 雲嶺	足柄山之月山姥之図			
日本画	里見 雲嶺	管絃祭之図			
水彩画	小林徳三郎	港	ふくやま美術館	再発見！小林徳三郎	25.12.21～26.2.9 (ふくやま美術館)
水彩画	小林徳三郎	岸辺の家			
水彩画	小林徳三郎	バイオリンのけいこ			
水彩画	小林徳三郎	語らう婦人			
水彩画	小林徳三郎	横たわる裸婦			
水彩画	小林徳三郎	観劇			
素描	小林徳三郎	婦人像			
版画	小林徳三郎	港のみえる風景			
版画	小林徳三郎	港			
油彩画	小林徳三郎	裸婦			
油彩画	小林徳三郎	裸児			
油彩画	小林徳三郎	金魚を見る子供			
油彩画	小林徳三郎	瓢箪			
油彩画	小林徳三郎	庭の一隅			
油彩画	小林徳三郎	江の浦			
油彩画	小林徳三郎	黄菊の束			
油彩画	小林徳三郎	婦人像			
油彩画	小林徳三郎	西瓜			
油彩画	小林徳三郎	こども			

種別	作者名など	作 品 名	貸 出 先	目的（展覧会名）	会期・場所
油彩画 絵画資料 絵画資料 絵画資料 絵画資料 絵画資料	小林徳三郎 小林徳三郎 小林徳三郎 小林徳三郎 小林徳三郎 小林徳三郎	部屋居の女 絵日記 (大正6年9月2日~28日) 関東大震災スケッチ 天徳帳(スケッチブック) 江の浦帖(スケッチブック) 春陽会絵葉書第1回~12回			
日本画	佐藤 太清	東大寺暮雪	生誕100年佐藤太清展 実行委員会、 NHKプロモーション	生誕100年 佐藤太清展	25.12.22~26.2.9(京都文化博物館) 26.3.1~4.13(茨城県天心記念五浦美術館) 26.4.19~6.8(新見美術館)
染 織	森口 邦彦	友禅訪問着「光波」	独立行政法人国立文化財 機構 東京国立博物館、 公益社団法人日本工芸会	特集陳列 人間国宝の現在(いま) (日本伝統工芸展60回記念 人間国宝展 生み出された美、 伝えゆくわざ-同時開催)	26.1.15~2.23 (東京国立博物館 平成館1階 企画展示室)
日本画	村上 華岳	菩薩図	笠岡市立竹喬美術館	霊と艶をもとめて 村上華岳展	26.2.1~3.16.(笠岡市立竹喬美術館)
日本画	三上 巴峽	城	姫路市立美術館	城 つわものどもが夢の跡	26.2.11~3.27(姫路市立美術館)

# Ⅸ 関係法規

## 広島県立美術館条例

(昭和43年3月26日)  
広島県条例第20号

全部改正 平成8年条例第16号

最終改正 平成26年3月26日

### (設置)

第1条 美術に関する県民の知識及び教養の向上に資するため、博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、広島県立美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

### (位置)

第2条 美術館の位置は、広島市中区上鞆町とする。

### (業務)

第3条 美術館は、次の業務を行う。

- (1) 美術品等を収集し、保管し、又は展示して、県民の利用に供すること。
- (2) 美術品等の展示施設（以下「展示施設」という。）その他の美術館の施設を美術品等の展示等のための利用に供すること。
- (3) 美術品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (4) その他県民の美術に関する知識、教養、調査研究等に資するために必要な事業を行うこと。

### (職員)

第4条 美術館に、館長その他必要な職員を置く。

2 館長は、前条第1号及び第3号に掲げる業務並びに同条第2号及び第4号に掲げる業務のうち次条第2項第1号に掲げる業務を除いたものを掌理し、所属職員を指揮監督する。

### (指定管理者による管理)

第5条 美術館の管理は、広島県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例（平成16年広島県条例第28号）の定めるところにより、教育委員会が指定した法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 第三条第二号及び第四号に掲げる業務のうち教育委員会規則で定めるものを行うこと。
- (2) 美術館の展示施設及び講堂（以下「展示施設等」という。）並びに駐車場の利用の許可に関すること。
- (3) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備の維持及び修繕に関すること。
- (4) 美術館が所蔵する美術品等の展示（以下「所蔵作品展」という。）の観覧並びに展示施設等及び駐車場の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）の収受に関すること。
- (5) 教育委員会が単独で開催する所蔵作品展以外の展示（以下「特別展」という。）の観覧に係る入館料（以下「入館料」という。）の徴収に関すること。
- (6) その他教育委員会が別に定める業務を行うこと。

### (開館時間等)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、金曜日は、午後7時まで開館時間を延長する。

2 講堂及び駐車場の利用時間は、次のとおりとする。

- (1) 講堂 午前9時から午後9時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後9時15分まで

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、第1項の開館時間又は前項の利用時間を変更することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

### (休館日等)

第7条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日に当たる場合を除く。）
- (2) 12月25日から翌年の1月1日までの日

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会又は指定管理者は、特に必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。この場合においては、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得なければならない。

### (利用の許可)

第8条 展示施設等及び駐車場を利用しようとする者は、教育委員会規則及び指定管理者の定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可（以下「利用許可」という。）をする場合においては、美術館の管理上必要な限度において条件を付することができる。

#### (利用許可の制限)

第9条 指定管理者は、展示施設等及び駐車場の利用の目的又は方法が、次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしてはならない。

- (1) 公益を害し、又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき、その他住民の福祉を増進する目的に照らし適当でないと認められるとき。
- (2) 展示施設等及び駐車場並びに附属設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (4) その他美術館の管理及び運営上支障があると認められるとき。

#### (展示施設等の利用期間)

第10条 展示施設等の利用期間は、引き続き7日を超えることはできない。ただし、指定管理者が必要と認めるときは、この限りでない。

#### (入館料の納付等)

第11条 美術館の特別展を観覧する者は、1人1回2,090円以内で知事が定める入館料を納付しなければならない。

- 2 入館料は、知事が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 既納の入館料は、返還しない。

#### (利用料金の納付等)

第12条 美術館の所蔵作品展を観覧する者並びに展示施設等及び駐車場を利用する者は、指定管理者が別表第1から別表第3までに定める金額の範囲内で教育委員会の承認を受けて定める利用料金を納付しなければならない。

- 2 所蔵作品展に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、前納とする。
- 3 展示施設等及び駐車場に係る利用料金は、教育委員会が別に定める場合を除き、利用許可を受ける際に納付しなければならない。
- 4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用できない場合その他教育委員会が別に定める場合には、指定管理者は、利用料金の全部又は一部を返還することができる。

#### (入館料の減免)

第13条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者が特別展を観覧するときは、入館料を減免することができる。

- (1) 祝日法第2条に規定するこどもの日に入館する小学校の児童又は中学校の生徒
- (2) 祝日法第2条に規定する文化の日に入館する者
- (3) ひろしま教育の日を定める条例（平成13年広島県条例第40号）第3条に規定するひろしま教育ウィークに入館する小学校の児童又は中学校若しくは高等学校の生徒
- (4) その他知事が別に定める者

#### (利用料金の減免)

第14条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者が所蔵作品展を観覧するときは、所蔵作品展に係る利用料金を減免することができる。

- (1) 身体障害者手帳の交付を受けている者
  - (2) 戦傷病者手帳の交付を受けている者
  - (3) 療育手帳の交付を受けている者
  - (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者
  - (5) 65歳以上の者
  - (6) 県内の大学に在学する外国人留学生
  - (7) 小学校（特別支援学校の小学部を含む。以下同じ。）、中学校（特別支援学校の中学部を含む。以下同じ。）又は高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）の校長が学校教育活動であることを証明した場合の小学校の児童又は中学校若しくは高等学校の生徒の引率者
  - (8) 祝日法第2条に規定するみどりの日又は文化の日に入館する者
  - (9) 特別展と併せて観覧する者
  - (10) その他教育委員会が別に定める者
- 2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、展示施設等の利用料金を減免することができる。
- (1) 教育委員会が、主催する事業のために展示施設等を利用するとき。
  - (2) 前項第1号から第4号までに掲げる者（以下「身体障害者等」という。）又は身体障害者等が主体となつて構成する団体が、美術活動として展示施設等を利用するとき。
  - (3) 国又は地方公共団体が、身体障害者等の美術の振興を図る行事のために展示施設等を利用するとき。

- (4) 社会福祉事業を推進する団体が当該団体の設立の目的のために利用するとき。
  - (5) 幼稚園（特別支援学校の幼稚部を含む。）の園長（特別支援学校の幼稚部にあつては、校長）又は小学校若しくは中学校の校長が学校教育活動であることを証明した場合において、当該幼稚園の幼児又は当該小学校の児童若しくは当該中学校の生徒が利用するとき。
  - (6) その他教育委員会が別に定める場合
- 3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、駐車場の利用料金を減免することができる。
- (1) 教育委員会が、主催する事業のために駐車場を利用するとき。
  - (2) 身体障害者等が、自ら車両を運転し、又は介護者の運転する車両に同乗して駐車場を利用するとき。

#### (利用料金の収入)

第15条 第12条第1項の規定により所蔵作品展を観覧する者並びに展示施設等及び駐車場を利用する者が納付する利用料金は、指定管理者の収入とする。

#### (利用許可の取消し等)

第16条 指定管理者は、利用許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可の全部若しくは一部を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じることができる。

- (1) 許可された利用目的以外に展示施設等を利用したとき。
- (2) 第九条各号のいずれかに該当するに至つたとき。
- (3) 偽りその他不正な手段により利用許可を受けたとき。
- (4) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則の規定又は第8条第2項の規定により付された条件に違反したとき。
- (5) 利用許可に基づく権利を譲渡し、又は他人に利用させたとき。

2 前項の規定により利用許可を取り消し、利用の方法を制限し、又は利用の停止を命じたことによつて、利用許可を受けた者に損失が生じることがあつても、県又は指定管理者は、これに対して補償する義務を負わない。

#### (遵守事項)

第17条 美術館においては、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設並びに附属設備をき損し、又は汚損しないこと。
- (2) 展示資料、展示設備等に触れないこと。
- (3) 許可を受けずに、展示資料の模写又は撮影をしないこと。
- (4) 館内においては、静粛にし、他人に迷惑を掛ける行為又は他人に嫌悪の情を催させる行為をしないこと。
- (5) 所定の場所以外の場所で喫煙し、又は飲食しないこと。
- (6) 指定管理者の指示に従うこと。
- (7) その他教育委員会が定める事項

#### (禁止行為)

第18条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。ただし、教育委員会の許可を受けた場合は、この限りでない。

- (1) 寄附の募集
- (2) 爆発物その他危険物等の持込み
- (3) 行商その他これに類する行為
- (4) 宣伝その他これに類する行為
- (5) 広告物等の掲示若しくは配布又は看板、立札類の設置

#### (入館の制限等)

第19条 教育委員会又は指定管理者は、前2条の規定に違反するおそれのある者又はこれらの規定に違反した者に対して、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退去を命じることができる。

#### (原状回復義務)

第20条 展示施設等の利用者は、その利用を終了したとき（利用許可を受けた者が第16条第1項の規定により利用許可を取り消されたときを含む。）は、直ちに利用場所を原状に復し、指定管理者の検査を受けなければならない。

#### (損害賠償義務)

第21条 展示施設等及び駐車場その他の美術館の施設、附属設備又は展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失した者は、これによつて生じた損害を賠償しなければならない。

#### (委任規定)

第22条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

#### 附 則

- 1 この条例は、昭和43年4月1日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、別表の通常の展示の場合に係る入館料は、この条例の施行の日後において知事その徴収を開始すべき日を定めて公示するまでの間は、これを徴収しないものとする。

附 則（平成19年3月15日条例第21号抄）

（施行期日）

1 この条例は、規則で定める日から施行する。（平成20年1月規則第2号で、平成20年4月1日から施行）

（経過措置）

3 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例（これに基づく規則その他の規程を含む。）の規定によってした処分、手続その他の行為であつて、この条例による改正後のそれぞれの条例（これに基づく規則その他の規程を含む。）中相当する規定があるものは、それぞれこれらの相当する規定によってした処分、手続その他の行為とみなす。

4 この条例の施行前にこの条例による改正前のそれぞれの条例（これに基づく規則その他の規程を含む。）の規定により利用の許可を受けている者に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成19年12月25日条例第56号）

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律（平成19年法律第96号）附則第1条本文に規定する政令で定める日から施行する。（定める日＝平成19年12月26日）

附 則（平成22年6月28日条例第31号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成23年7月11日条例第31号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月26日条例第23号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1（第12条関係）

所蔵作品展の利用料金の範囲

区 分	個 人	団体(20人以上の場合とする。)	広島県縮景園との 共通券による場合
大 学 生	1人1回につき410円以内	1人1回につき320円以内	1人1回につき320円以内
その他一五歳以上の者 (中学校及び高等学校の生徒を除く。)	1人1回につき670円以内	1人1回につき540円以内	1人1回につき540円以内

別表第2（第12条関係）

展示施設等の利用料金の範囲

利用区分	施設区分	第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室	第5展示室	講堂
		入場料有料の場合	1時間につき 1,750円以内	1時間につき 2,990円以内	1時間につき 2,990円以内	1時間につき 2,990円以内	1時間につき 3,190円以内
入場料無料の場合	1日につき	13,380円以内	23,870円以内	23,870円以内	23,870円以内	25,310円以内	
	1時間につき	930円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,550円以内	1,650円以内	2,470円以内
	1日につき	6,690円以内	11,940円以内	11,940円以内	11,940円以内	12,660円以内	
電気設備を利用する場合		実費を基準として教育委員会が定める範囲とする。					

備考

- この表において「1日」とは、美術館の開館時間とする。
- 日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日における入場料有料の場合の利用料金の額は、指定管理者が定める額の2割を加算する。
- 展示物の搬入及び撤去に係る利用料金の額は、指定管理者が定める額に2分の1を乗じて得た額とする。
- 利用料金の額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

別表第3（第12条関係）

駐車場の利用料金の範囲

駐車することができる自動車の範囲	単 位	利用料金の範囲
道路運送車両法（昭和26年法律第185号）第3条に規定する自動車のうち、普通自動車並びに2輪自動車以外の小型自動車及び軽自動車	1台につき	
	1時間まで	410円以内
	1時間を超える時間 30分までごとに	210円以内

# 広島県博物館協議会条例

(平成13年3月26日)  
広島県条例第3号

## (設置)

第1条 広島県教育委員会(以下「教育委員会」という。)に、広島県博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、広島県立美術館、広島県立歴史民俗資料館、広島県立歴史博物館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、教育委員会に対して意見を述べる機関とする。

## (組織)

第2条 協議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、教育委員会が任命する。

## (委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

## (会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

## (会議)

第5条 協議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が召集し、会長がその議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

## (庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

## (雑則)

第7条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

## 附 則

### (施行期日)

1 この条例は、平成13年4月1日から施行する。

### (広島県立美術館協議会条例の廃止)

2 広島県立美術館協議会条例(昭和43年広島県条例第38号)は、廃止する。

# 広島県立美術館管理運営規則

(昭和43年4月1日)  
教育委員会規則第1号

最終改正 平成25年2月18日教育委員会規則第1号

## (趣 旨)

第一条 この教育委員会規則は、広島県立美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

## (指定管理者が行う業務)

第二条 広島県立美術館条例(昭和四十三年広島県条例第二十号。以下「条例」という。)第五条第二項第一号の教育委員会規則で定める業務は、次に掲げる業務とする。

- 一 美術館の利用促進に関すること。
- 二 美術館の利用案内に関すること。
- 三 県民の美術に関する学習活動の支援に関すること。

## (開館時間等の周知)

第三条 条例第六条第三項又は第七条第二項の規定により、美術館の開館時間若しくは講堂若しくは駐車場の利用時間を変更し、又は美術館の全部若しくは一部を臨時に休館し、若しくは休館日に開館する場合は、あらかじめ、その旨を美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

## (展示施設等の利用の申込み等)

第四条 美術館の展示施設及び講堂(以下「展示施設等」という。)を利用しようとする者は、展示施設等利用申込書を指定管理者に提出し、条例第八条第一項の許可(以下「利用許可」という。)を受けなければならない。

2 前項の規定による利用の申込みは、次に掲げる期間内にしなければならない。ただし、特別の事情があると指定管理者が認める場合は、この限りでない。

- 一 展示施設 利用開始日の一年前から一月前まで
- 二 講堂 利用開始日の四月前から七日前まで

#### (展示施設等利用許可書の交付)

第五条 指定管理者は、利用許可をしたときは、展示施設等利用許可書を申込者に交付するものとする。

2 展示施設等利用許可書は、展示施設等を利用する際必ず携帯し、係員の請求があるときは、これを提示しなければならない。

#### (駐車場の利用手続)

第六条 駐車場を利用しようとする者（以下「駐車場利用者」という。）は、自動車を入庫させる際、駐車券の発給を受けるものとする。この場合においては、当該発給を受けたときに利用許可を受けたものとみなす。

2 駐車場利用者が自動車を出庫させようとする際は、駐車時間に応じた利用料金を納付しなければならない。

#### (利用料金の周知)

第七条 指定管理者は、条例第十二条第一項の規定により教育委員会の承認を受けて利用料金を定めたときは、美術館に掲示する等周知のために必要な措置を講じなければならない。

#### (利用料金の返還)

第八条 条例第十二条第四項ただし書の規定により、指定管理者は、利用許可を受けた者がその責めに帰することができない理由により利用することができない場合は、当該利用料金の全額を返還する。

2 前項の規定により利用料金の返還を受けようとする者は、利用料金返還申請書に第五条第一項の展示施設等利用許可書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

#### (利用料金の減免)

第九条 条例第十四条第一項第一号から第九号まで、同条第二項第一号又は同条第三項第一号若しくは第二号に該当する場合は、利用料金（条例別表第二に規定する電気設備を利用する場合の利用料金を除く。以下本条において同じ。）を免除する。

2 条例第十四条第二項第二号又は第三号に該当する場合は、利用料金の額の二分の一に相当する額を減額する。

3 条例第十四条第二項第四号又は第五号に該当する場合は、利用料金の額の五分の一に相当する額を減額する。

4 前二項の規定により算定した減額後の利用料金の額に十円未満の端数が生じたときは、その端数を切り捨てるものとする。

#### (利用料金の減免の申請)

第十条 前条第一項の規定により利用料金の免除を受けようとする者のうち条例第十四条第一項第一号から第七号まで又は同条第三項第二号に該当するものは、該当することを証する書類を指定管理者に提示しなければならない。

2 前条第二項又は第三項の規定により利用料金の減額を受けようとする者は、第四条第一項の展示施設等利用申込書の提出時に併せて利用料金減額申請書を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

#### (補 則)

第十一条 この教育委員会規則に定めるもののほか、美術館の管理及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

#### (施行期日)

1 この教育委員会規則は、広島県縮景園設置及び管理条例及び広島県立美術館条例の一部を改正する条例（平成十九年広島県条例第二十一号）の施行の日から施行する。（施行の日＝平成二〇年四月一日）

附 則（平成二十一年三月二四日教育委員会規則第三号）

この教育委員会規則は、平成二十一年四月一日から施行する。

附 則（平成二四年四月一日教育委員会規則第七号）

この教育委員会規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成二五年二月一八日教育委員会規則第一号）

この教育委員会規則は、平成二十五年四月一日から施行する。

## 広島県立美術館美術品等収集評価委員会設置要領

最終改正 平成12年2月1日

#### (設 置)

第1条 広島県立美術館（以下「美術館」という。）に広島県立美術館美術品等収集評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

#### (意見の聴取)

第2条 美術館長は、美術品等を収集しようとするときは、当該美術品等の収集及び評価についてあらかじめ委員会の意見を徴するものとする。但し、「文化財保護法」第27条の規定により指定された国宝・重要文化財及び「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」第3条の規定により登録された美術品並びに広島県文化財保護条例第3条の規定により指定された広島

県重要文化財はこの限りでない。

#### (委員の構成等)

第3条 委員会は、委員8人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから美術館長が委嘱する。

- (1) 美術館、博物館、大学、研究所等の職員
- (2) 美術評論家
- (3) その他、館長が適当と認める者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員は再任することができる。

#### (臨時委員)

第4条 美術館長が審議のため必要と認めた場合は、専門的知識を持つ者を臨時委員に委嘱できる。

#### (委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、委員会の会議を総理する。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

#### (会議)

第6条 委員会の会議は（以下「会議」という。）は、必要に応じ美術館長が召集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開くことができない。

#### (守秘義務)

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

#### (庶務)

第8条 委員会に関する庶務は、美術館において行う。

#### (雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、美術館長が別に定める。

#### 附 則

この要領は、平成元年7月11日から施行する。

## 広島県立美術館美術品等収集基本方針

(昭和63年12月9日)

広島県立美術館の美術品等収集に関する基本方針を次のとおり定める。

- 1 本県ゆかりの作家の美術品等については、次項に準拠しつつ、各作家ごとの体系的なコレクションの形成につとめる。
- 2 次に掲げる美術品等の収集に主眼を置き、日本美術の特質を味わうことのできる体系的なコレクションの形成につとめる。
  - (1) 近・現代作家の特色ある美術作品  
近代から現代にいたる絵画等の平面・立体造形作品のうち、時代の特徴と制作意図の明確な作品。
  - (2) 近代の工芸作品  
わが国工芸の特色を示す陶芸、染色、漆芸、金工等のうち、主として近代以降に制作された作品。
  - (3) 近代の彫塑作品  
近代以降のわが国の彫塑界で特に重要と認められる作家の作品。
  - (4) その他の美術作品  
上記(1)～(3)に掲げる美術作品のほか、美術館において収蔵するにふさわしいと認められる美術工芸作品。
  - (5) 美術資料  
収蔵する美術品等に関する作家並びに美術作品を理解するうえで必要な日記、書簡、下絵等の美術資料等。
  - (6) 補助的関連資料  
収集する美術品等に関する調査研究及び教育普及事業に必要な視聴覚教材、図書、複製品等の補助的関連資料
- 3 その他、美術館において所蔵するにふさわしい東洋・西洋の美術品等を収集する。

## 広島県立美術館美術品等特別収集基本方針

(平成3年3月8日 館長決裁)

- 1 本県ゆかりの作家の作品並びに本県にゆかりのある美術品等
  - (1) 本県ゆかりの作家の作品及び美術資料

- (2) 本県ゆかりの作家に関連する系譜的作品
- (3) 本県ゆかりの美術品等
- 2 近世から現代までの造形的に優れたわが国の美術作品及びこれらの作品を理解するために必要な外国作品
  - (1) 絵画作品
    - 1) 近世絵画の流れが理解できる作品のうち、主として花鳥画を主題とする作品及び近代日本画確立期の作品
    - 2) 油彩画等の受容と展開を示す明治・大正・昭和三代の代表的作家の作品戦後における国際的評価の高い作家の作品
  - (2) 工芸作品
    - 1) 東洋的伝統を受け継ぐわが国の代表的作家又は様式作品
    - 2) わが国と関係の深いアジア各国の工芸作品
    - 3) 近代工芸確立期（1920年代）及び戦後昂揚期（1960年代）の作品
    - 4) 収蔵作品を理解するために必要な外国作品及び特に注目される現代の工芸作品
- 3 国際的視野から特色をもった作品
 

1920-1930年代の両大戦間を中心とする世界美術の多様性が理解できる作品

  - 1) 欧米作家等の作品
  - 2) 日本人作家の作品
- 4 近代以降の彫刻（立体）作品
  - (1) 主として戦後期に活躍した作家の作品
  - (2) “手で見る彫刻”作品
  - (3) 新館及び街区等、周囲の環境に即した作品

## 県立美術館特別収集重点方針

- 1 本県ゆかりの作家の作品など
 

近代以降の美術界に大きな足跡をのこした作家の作品を中心に収集し、その系譜的作品も併せて収集する。
- 2 日本及びアジアの工芸作品など
 

わが国とアジア各国の優れた工芸作品（陶磁、染色、漆芸など）を収集する。
- 3 1920-1930年代（両大戦間）の美術作品など
 

現代美術に先行する両大戦間美術の多様性を示す作品を世界と日本との関連で収集する。

## 広島県立美術館美術品等取扱要綱

### （趣 旨）

第1条 広島県立美術館（以下「美術館」という。）で取り扱う美術品及び美術資料の管理、寄託、寄附及び貸付けについては、広島県物品管理規則（昭和39年規則第33号。）に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

### （定 義）

第2条 この要綱において「美術品等」とは、美術作品及び美術に関する資料をいう。

### （管 理）

第3条 美術館で管理する美術品等については、別表の美術品等分類表により区分するとともに、別記様式第1号による備品出納簿を備え付け、その出納及び保管の状況を記録管理しなければならない。

### （寄 託）

第4条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄託しようとする者は、広島県立美術館長（以下「館長」という。）に別記様式第2号による美術品等寄託申請書を提出し、寄託の承認を受けなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄託を承認した場合は、美術品等を寄託する者（以下「寄託者」という。）に対して別記様式第3号による受託証書を交付するものとする。

3 前項の規定により寄託を承認した美術品等（以下「寄託品」という。）の記録管理は、別記様式第4号による受託カードにより行うものとする。

### （寄託期間）

第5条 寄託期間は3年とする。ただし、館長が特別の理由があると認めた場合は、寄託者の承諾を得て寄託期間を変更することができる。

### （一時返還）

第6条 寄託者は、寄託品の一時返還を受けるときは、館長に別記様式第5号による寄託品一時返還願を提出しなければならない。

#### (返還の手続)

第7条 館長は、寄託者に寄託品を返還するとき、受託証書と引換えに返還するものとする。

2 寄託者の代理人が、寄託品の返還を受けようとするときは、館長に委任状その他これを証する書類を受託証書に添付して提出しなければならない。

#### (受託証書の記載事項変更)

第8条 寄託者は、受託証書の記載事項について、譲渡、相続その他の事情により変更があったときは、館長に記載事項の変更を証する書類を受託証書に添付して提出し、記載事項の書換えを受けなければならない。

#### (受託証書の再交付)

第9条 寄託者は、受託証書を破り、汚し、又は失ったときは、館長に別記様式第6号による受託証書再交付申請書を提出して、受託証書の再交付を受けなければならない。

#### (寄託品の保管)

第10条 館長は、寄託品を常に良好な状態で保管しなければならない。

#### (寄託品の修繕)

第11条 館長は、寄託品に修繕をする必要を認めるときは、寄託者に対して適正な指示を行うことができる。

#### (寄 附)

第12条 美術品等を、美術館に保管又は展示するために寄附をしようとする者は、館長に別記様式第7号による寄附申込書を提出しなければならない。

2 館長は、前項の規定により寄附申込書の提出があったときは、寄附を受けることについて適否を決定し、美術品等を寄附しようとする者に対して適否を通知するものとする。

#### (貸付け)

第13条 館長は、美術館の事業に支障を及ぼさないと認めるときは、美術品等を他の美術館又はこれに準ずる施設に無償で貸し付けることができる。

2 美術品等を、前項の規定により貸付けを受けようとする者は、館長に別記様式第8号による美術品等借受願又は別記様式第8号に準じた書面を提出しなければならない。ただし、貸付けを受けようとする美術品等が寄託品である場合は、寄託者の承諾書を美術品等借受願に添付するものとする。

3 館長は、第1項の規定により美術品等の貸し付けを決定したときは、貸付けを受けようとする者に対して貸し付けの通知をするものとする。

#### (借用書の提出)

第14条 前条第3項の規定により通知を受けた者は、館長に別記様式第9号による借用書又は別記様式第9号に準じた書面を提出しなければならない。

#### (貸付け期間)

第15条 貸付け期間は60日以内とする。ただし、館長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

#### (貸付けの条件)

第16条 第13条第1項の規定により美術品等を貸し付ける場合の条件は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 貸付けを受けた者（以下「借用者」という。）は、貸し付けを受けた美術品等（以下「借用美術品等」という。）を転貸し、又は貸し付けにより生じた権利を担保に供し、若しくは譲渡してはならない。
- (2) 借用者は、借用美術品等を常に良好な状態で保管しなければならない。
- (3) 借用者は、借用美術品等を失い、又は傷付けたときは、直ちにその損害を賠償しなければならない。
- (4) 美術品等の貸付けに必要な経費は、借用者が負担するものとする。
- (5) 館長は、前各号に定めるもののほか、美術品等の貸し付けに必要な条件を付することができる。

#### (報告義務)

第17条 館長は、第12条第2項の規定により美術品等の寄附受納を決定した場合及び第13条第3項の規定により美術品等の貸付けを決定した場合は、速やかに広島県環境県民局長（以下「局長」という。）に報告しなければならない。

#### (補 則)

第18条 館長は、前各条に規定する事務のうち、重要及び異例若しくは疑義のある事項については、あらかじめ局長に報告し、局長は広島県教育委員会に協議をして、その承認を受けなければならない。

#### 附 則

この要綱は、昭和58年7月1日から施行する。

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

# 広島県立美術館展示施設等運営要領

(平成8年7月24日 館長決裁)

この要領は、広島県立美術館管理運営規則（昭和43年4月1日教育委員会規則第1号）に基づき美術館の展示施設及び講堂の適正かつ効果的な運営を図るため、利用の形態及び許可の基準その他の必要な事項を定めるものとする。

## 1 利用形態

### ① 常設展示室（2階）

第1から第4展示室及び彫刻展示スペースは、所蔵作品による常設展示を行う。

### ② 企画展示室（3階）

北、東、西及び展示前室は、美術館が企画・主催し又は共催する展覧会事業に使用する。ただし、美術館が共催する展覧会は、国若しくは地方公共団体（その機関を含む。）又は公共性の高い機関が企画・主催する事業で、美術館が共催するにふさわしい、開催意義の高い事業に限る。

なお、これらの展覧会を実施しても、なお、空室が生じる場合は、「広島県教育委員会の共催・後援・協賛に関する基準について（昭和54年3月29日）」に基づき共催・後援に該当する展覧会に限り使用することができる。

### ③ 県民ギャラリー（地階）

条例第1条により、団体又は個人が美術に関する事業を目的として利用する場合に、これを許可する。

### ④ 講堂兼ハイビジョンギャラリー（地階）

通常はハイビジョンギャラリーとして入館者が自由に鑑賞できるように毎日一定時間使用する。また、団体又は個人が芸術に関する県民の知識及び教養の向上に資する目的で講演会などの催しのために利用する場合には、美術館が企画・主催する事業に支障のない範囲内でこれを許可する。

### ⑤ 図書館（1階）

美術に関する図書及び参考図書を公開し、利用者に提供する。また、室内にハイビジョン・データ・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するデータベースを提供して利用者の学習の便を図る。

### ⑥ 情報ギャラリー（1階）

ポスター、パンフレットなど、さまざまな広報媒体を掲示して、利用者に情報を提供するとともに、時機に応じて比較的小規模の企画展示を行う。また、一部にハイビジョン・ブースを設置し、美術館の所蔵品に関するオリジナル番組を提供して、利用者の作品理解の一助とする。

## 2 利用の申込み

県民ギャラリーの利用の申込みは、原則として年度を前・後期に分け、前期については、前年度の9月1日から9月30日まで、後期については、前年度の3月1日から3月31日までの間に受け付けるものとする。講堂の利用の申込みは、利用日の2ヶ月前から随時行うものとする。

## 3 利用の期間及び回数

県民ギャラリーの利用期間は原則2週間をこえないこととし、利用回数は同一の団体又は個人につき原則年1回とする。

# 広島県立美術館評価委員会設置要項

## (設置)

第1条 広島県立美術館（以下「美術館」という。）の業務の実績を評価し改善策を提示するとともに、美術館運営に関して助言を行うため、美術館に広島県立美術館評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (組織)

第2条 委員会は、委員8名をもって組織する。

2 委員は、美術館の運営及び事業に関係する分野に見識を有する者のうちから、美術館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年間とする。ただし再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合は、美術館長は新たに委員を委嘱することができる。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (委員長)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、美術館長が指名する委員をもって充てる。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

## (会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の半数以上の出席を必要とする。

3 委員会は次の事項について審議する。

- (1) 美術館の評価方法に関すること
- (2) 美術館の事業計画の評価に関すること
- (3) 美術館の事業実績の評価に関すること
- (4) その他、美術館運営に関する助言・指導に関すること

4 委員長が必要と認めるときは、会議に必要な経験・知識を有する者を招き、意見を聴取することができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、美術館において行う。

(その他の事項)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に際し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成23年6月29日から施行する。

# X 名 簿

## 美術品等収集評価委員会委員

委員長	内山 武夫	元京都国立近代美術館館長
委員	山梨 俊夫	国立国際美術館館長
〃	菅村 亨	広島大学教授
〃	白石 和己	山梨県立美術館館長
〃	井関 和代	大阪芸術大学芸術学部教授
〃	中林 和雄	独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館企画課長
〃	谷 新	宇都宮美術館館長

## 広島県立美術館評価委員会委員

委員長	蓑 豊	兵庫県立美術館館長
委員	青木 尚二	(社)日本旅行業協会中四国支部長
〃	河野 高信	己斐商事(株)代表取締役
〃	柴川 敏之	美術作家・就実短期大学教授
〃	竹内 泰彦	広島県立美術館友の会会長
〃	永野 正雄	(株)テレビ新広島代表取締役社長
〃	水沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
〃	山下 治子	雑誌ミュゼ編集長

## 職員

館長	越智 裕二郎
副館長	下村 節子
総務課長兼 学芸課長	西川 秀敏
専門員	西岡 賢一
専門員	三浦 緑
専門員	寶 諸 亜希子
主任学芸員	宮本 真希子
〃	角田 新 (静岡県立美術館へ派遣)
〃	福田 浩子
〃	石川 哲子
〃	永井 明生
〃	藤崎 綾
〃	周々木 朝香
〃	泰井 良 (静岡県立美術館から派遣)
学芸員	山下 寿水

---

平成25年度

## 広島県立美術館年報

平成27年1月31日発行

発行者 **広島県立美術館**

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

電話 (082) 221-6246

印刷者 **大成印刷株式会社**

〒731-0138 広島市安佐南区祇園三丁目24-17

電話 (082) 875-3232

---

(人名については、敬称略)